

第 1 課

たのむ

- 水曜日の午後にかえていただけませんでしょうか。
- これにふりがなをつけいただけないでしょうか。

会 話

会話 1 研究室で

リード： 先生，来週の火曜日のことなんですが。

先生： はい。何か……。

リード： あのう，水曜日の午後にかえていただけませんかでしょうか。

先生： ええと，ちょっと待ってください。水曜日，水曜日は……，いいですよ。あいています。

リード： あ，そうですか。ご迷惑じゃありませんか。

先生： いいえ。別にかまいません。

リード： すみません。じつは，国へ帰る友だちが⁽¹⁾いまして，空港まで送っていくことになったんです。

先生： あ，そう。時間は同じでいいんですね。

リード： はい。

先生： はい，わかりました。

リード： すみません。よろしくお願いします。

会話 2 研究室で

木下： リードの先輩

リード： あのう、木下さん、ちょっといいでしょうか。

木下： うん、何。

リード： これにふりがなをつけていただけないでしょうか。

木下： いいよ。

リード： 今週中に読まなければならないんですけど、漢字が多すぎて……。

木下： そう。どれ。

えっ、こんなにあるの。今すぐ。

リード： いいえ。あしたでもいいんです。

木下： じゃ、あずかっておいていいかなあ。あしたまでにやっつくから。

リード： すみません。おいそがしいところを。

会話ノート

1. Vocabulary list

It should be noted that the English equivalents given in the list refer only to the meaning of the Japanese word or phrase in each context.

たのむ	ask (someone to do something)
-----	-------------------------------

<会話 1>

あいている		be free, nothing scheduled
迷惑	めいわく	trouble, bother
別にかまいません。	べつにかまいません	I don't mind at all.
空港	くうこう	airport
送っていく	おくっていく	take (someone) to (someplace)

<会話 2>

先輩	せんぱい	senior
木下	きのした	(family name)
ふりがなをつける		write the Hiragana reading beside the Kanji
あずかる		keep
やっつく		(「やっておく」の contracted form)
おいそがしいところを (すみません)。		(sorry to ask you) when you are busy.

2. Expression

(1) じつは (actually, as a matter of fact)

It is used when the speaker gives the reason after asking some questions or asking for permission.

3. Aspects of the discourse

Polite speech and familiar speech

Two levels of speech are used in daily conversation : polite speech and familiar speech.

The two levels are distinguished mainly by different sentence endings.

In polite speech, sentences usually end in a polite form.

(例) A : きょうは図書館へ行きますか。

B : いいえ, 行きません。

In familiar speech, sentences end in a non-polite form.

(例) A : きょう, 図書館へ行く。

B : ううん, 行かない。

A. The differences between polite forms and non-polite forms are shown below.

	Polite form	Non-polite form
verbs	行きます 行きません 行きました 行きませんでした	行く 行かない 行った 行かなかった
-i adjectives	さむいです さむくありません さむかったです さむくありませんでした	さむい さむくない さむかった さむくなかった
-na adjectives	ひまです ひまじゃありません ひまでした ひまじゃありませんでした	ひまだ ひまじゃない ひまだった ひまじゃなかった
noun + da / desu	学生です 学生じゃありません 学生でした 学生じゃありませんでした	学生だ 学生じゃない 学生だった 学生じゃなかった

B. Selection of the polite or non-polite form depends upon the relationship between the speaker and the listener.

1. Polite form : when the speaker addresses an acquaintance

(例) 1. A : さむくなってきましたね。

B : ええ, そうですね。

2. A : いい天気ですね。

B : ええ, そうですね。

2. Polite form : when the speaker addresses a stranger

(例) 1. A : すみません。つぎの電車は何時ですか。

B : 10時48分です。

2. A : すみません。このバスは駅に行きますか。

B : いいえ, 行きません。

3. Polite form : when the speaker addresses a superior

(例) 1. A : さむくなってきましたね。

B : うん, そうだね。

2. A : いい天気だね。

B : ええ, そうですね。

4. Non-polite form : when the speaker addresses a close friend

(例) 1. A : さむくなってきたね。

B : うん, そうね。

2. A : いい天気ね。

B : うん, そうだね。

5. Non-polite form : when the speaker addresses a family member

(例) 1. A : おいしい。

B : うん。とてもおいしい。

2. A : それ, なに。

B : やきゅうのきつぶ。

文法

I . Simple sentences in Japanese

There are four types of simple sentences in Japanese.

1. Verbal sentence (例) 学生が日本語を話します。
2. Adjectival sentence (1) (例) 漢字がむずかしいです。
3. Adjectival sentence (2) (例) 目がきれいです。
4. Nominal sentence (例) 友だちが外国人です。

Explanation of verbal sentences

- A. The sentence is composed of one or more nominal phrases and a verb. A nominal phrase is composed of a noun and a particle. It always precedes the verb. The verb comes at the end of the sentence. A verb is conjugated according to politeness, tense, mood, voice, etc. But it is never conjugated in terms of person, number, or gender.

- (例) 1. 雨がふりました。
2. 山田さんは本を読んでいます。
3. ルインさんにしかったです。
4. もっと日本語を勉強しろ。

- B. Negative sentences are formed by using the negative form of a verb.

- (例) 1. 山田さんは本を読みません。
2. 雨はふりませんでした。

- C. Questions are formed by adding the particle “か” to the end of sentences. There are two types of question sentences. One is a Yes-No question, and the other, a question with an interrogative word.

- (例) 1. ルイン： きのう雨がふりましたか。
 アリス： はい、ふりました。

2. ルイン： きのう雨がふりましたか。
アリス： いいえ，ふりませんでした。
3. ルイン： だれが電話をしましたか。
アリス： 山田さんです。
4. ルイン： どうやって行きましたか。
アリス： タクシーで行きました。

“か” in a question is often omitted in daily conversation. In order to make a question without “か” the final vowel of a predicate should be pronounced with rising intonation.

II. Subject, object and predicate

The following are typical transitive sentence patterns in Japanese.

The first noun is the subject of a sentence and the second is the object.

1. [Noun - が Noun - を Predicate]

- (例) 1. 学生が日本語を勉強する。
2. 友だちがテレビを見る。
3. 山田さんがスペイン語を話す。

2. [Noun - が Noun - に Predicate]

- (例) 1. 山田さんが友だちに会う。
2. 中村さんが山田さんのおじにあたる。
3. 私が母ににている。

3. [Noun - に Noun - が Predicate]

- (例) 1. 山田さんにテニスができる。
2. 中村さんにプログラムがわかる。
3. 山田さんにきれいな奥さんがいる。

4. [Noun - が Noun - が Predicate]

- (例) いもうとがリンゴが好きだ。

III. Verb conjugation : Group 1 verbs, Group 2 verbs and irregular verbs

Japanese verbs are classified into three groups in terms of their conjugation : Group 1 verbs, Group 2 verbs, and Irregular verbs. All of them end in “-u” in their dictionary forms. Group 1 verbs almost always end in “-iru” or “-eru” in their dictionary forms. Group 2 verbs are conjugated by changing only the final “-u” of their dictionary forms. Verbs like 来る and する are called Irregular verbs.

Note how verbs are conjugated in the following tables.

Group 1 verbs

見る	みます	みた	みない	みなかった	みて
いる	います	いた	いない	いなかった	いて
変える	かえます	かえた	かえない	かえなかった	かえて
着る	きます	きた	きない	きなかった	きて
かける	かけます	かけた	かけない	かけなかった	かけて

Group 2 verbs

聞く	ききます	きいた	きかない	きかなかった	きいて
ぬぐ	ぬぎます	ぬいだ	ぬがない	ぬがなかった	ぬいで
読む	よみます	よんだ	よまない	よまなかった	よんで
死ぬ	しにます	しんだ	しなない	しななかった	しんで
呼ぶ	よびます	よんだ	よばない	よばなかった	よんで
帰る	かえります	かえった	かえらない	かえらなかった	かえって
切る	きります	きった	きらない	きらなかった	きって
使う	つかいます	つかった	つかわない	つかわなかった	つかって
返す	かえします	かえした	かえさない	かえさなかった	かえして
行く	いきます	いった	いかない	いかなかった	いって

Irregular verbs

来る	きます	きた	こない	こなかった	きて
する	します	した	しない	しなかった	して
なさる	なさいます	なさった	なさらない	なさらなかった	なさって
くださる	くださいます	くださった	くださらない	くださらなかった	くださって

IV. Tense : Perfective and imperfective

Tense is a grammatical category which shows the time of the event being described by the verb. There are only two ways to indicate tense in Japanese : “-ru” or “-u” , or and “-ta” or “-da” The former denotes present or future tense, and the latter, past tense, in a simple sentence.

- (例) 1. 作ります。 “Someone* makes it or will make it.”
2. あした作ります。 “Someone* will make it tomorrow.”
3. 毎日作ります。 “Someone* makes it everyday.”
4.きのう作りました。 “Someone* made it yesterday.”
(* “Someone” may be the speaker.)

However, it is not the same in a subordinate clause. The two kinds of verb endings denote the completion or incompleteness of an action. The verb endings “-ta” “-da” are related to the completion of an action, and the verb endings “-ru” “-u” signify an incomplete action.

Note how they differ in the following examples.

- (例) 1. a. うちを出た時に電話がありました。
“When I got out of the house, the telephone rang.”
b. うちを出る時に電話がありました。
“Before I went out, the telephone rang.”
2. a. あした来た人にあげます。
“I’ll give it tomorrow to those who have come tomorrow.”
b. あした来る人にあげます。
“I’ll give it now to those who are sure to come tomorrow.”

In this book, the terms “present” “past” , and “future” are never used ; instead the term “perfective” refers to “-ta” “-da,” and “imperfective” , to “-ru” “-u.”

A. Usage of Imperfective

The imperfective form expresses

1. The truth, or the habitual conditions

- (例) 1. $3+2$ は 5 になります。
2. わたしは毎朝 7 時に起きます。

2. A present condition or state

- (例) 1. 今日は大学は休みです。
2. 図書館の左に白い建物があります。

3. A future action or state.

- (例) 1. あした図書館へ行きます。
2. 来週国へ帰ります。

B. Usage of Perfective

The perfective form expresses

1. An action in the past

- (例) 1.きのう仕事が終わりました。
2. 先日中村さんに会いました。

2. A state in the past ; only inactive verbs are used.

- (例) 1. きのうはカバンの中にありましたけど……。
2. 先週東京にいました。

練習

1. 用法練習

<1> 「～ていただけませんか」

会話の「～てくださいますでしょうか」を「～ていただけませんか」にかえなさい。そして下線のある部分を、下の 1～5 のことばにかえて練習しなさい。

かえる

[A… 学生 (女性) B… 先生 (男性)]

A: あのう、この間、お願いしたことなんですが。

B: はい。

A: 水曜日の午後に……。

B: うん。

A: かえてくださいますでしょうか。

B: ええと……、いいですよ。

1. 見る
2. 連れていく
3. 見学させる
4. 使わせる
5. うかがわせる

連れていく

つれていく

take (a person to someplace)

見学する

けんがくする

observe (for one's study)

うかがう

visit

<2> 「～てくださいますか」

会話の下線のある部分を、下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

ボタンを押す

[A… 学生 (女性) B… A の先輩 (男性)]

A: すみません。ちょっとそのボタンを押してくださいますか。

B: どの。

A: そこです。その。

B: ああ、これ。

A: そうです。すみません。

1. まどをしめる
2. 辞書をとる
3. ノートをとる
4. スイッチを入れる
5. 箱をうごかす

とる		get
入れる	いれる	turn on, put on
箱	はこ	a box
うごかす		move

<3> 「～てくれない」

会話の下線の部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

調べに行く，行ってくる

[A…学生（男性） B… 学生（女性）]

A： これなんだけどね。

B： うん。

A： やっぱりぼくが調べに行かなきゃいけないの。

B： うん，ちょっと行ってきくてくれない。

- | | |
|------------|-------|
| 1. 取りに行く | 行ってくる |
| 2. 説明する | する |
| 3. 買ってくる | 行ってくる |
| 4. ことわりに行く | 行く |
| 5. 電話する | そうする |

調べる	しらべる	check, study
説明する	せつめいする	explain
ことわる		notify, tell

<4>場面適用練習

写真 1

ある学生がスピーチコンテストに出ることにしました。応募用紙の記入のしかたやスピーチの内容について見てもらうために先生のところに来ました。発音も直してもらいたいと思っています。

あなたはこの学生になり、いままでに勉強したいろいろな言い方を使って、先生にお願いする練習をしましょう。

場面適用	ばめんてきよう	adaptation / application for a situation
ある学生	あるがくせい	one student
スピーチコンテスト		speech contest
応募用紙	おうぼようし	application form
記入	きにゅう	to fill in
内容	ないよう	content
見る	みる	check
発音	はつおん	pronunciation
言い方	いいかた	way of saying

写真 2

友だち同士で海へ行くところです。スーパーで飲物や食べ物を買ってきました。ほかの荷物も車のそばに運んできました。車のうしろには、いろいろな物が入っています。サーフボードも持っていくつもりですが、まだここに持ってきていません。アイスボックスは助手席にあります。

学生ふたりが助け合って、車に荷物をつみこみます。いままでに勉強したいろいろな言い方を使って、ふたりの会話を作りましょう。

友だち同士	ともだちどうし	with friends (as a group)
海	うみ	the sea
スーパー		supermarket
荷物	にもつ	bag, baggage, things
運ぶ	はこぶ	bring, carry
サーフボード		surfboard
アイスボックス		icebox

助手席	じょしゅせき	the assistant driver's seat
助け合う	たすけあう	help each other
積みこむ		put in, load

2. 談話練習

場面練習

AとBのかんけいとその場面を考えながら、次の<1>～<4>の会話を練習しなさい。

<1> A: 「留学生の見た日本」、買いましたか。

B: ええ、買いました。

A: もう読みましたか。

B: ええ、とてもおもしろかったです。

<2> A: 「留学生の見た日本」という本、ありますか。

B: はい、あります。ええと……、これですね。

A: あ、そうです。いくらですか。

B: 980 円です。

<3> A: 「留学生の見た日本」、買った。

B: うん、買った。

A: もう読んだ。

B: うん、とてもおもしろかった。

<4> A: 「留学生の見た日本」、買った。

B: ええ、買いました。

A: もう読んだ。

B: ええ、とてもおもしろかったです。

場面	ばめん	situation
かんけい		relationship

練習

次の会話を練習しなさい。

<1>1) A: さむいですね。

B: ええ、きのうは、そんなにさむくありませんでしたけど。

A: ええ、きゅうにさむくなりましたね。

B: ええ、そうですね。

2) A: 元気ですか。

B: はい、おかげさまで。

A: ところで、夏やすみはどこかへ行きますか。

B: ええ、行きたいんですが、まだどこへ行くかきめていません。

A: ああ、そうですね。

<2>1) A: すみません。このバスは大学前を通りますか。

B: いいえ、通りません。次に来るバスは通ると思いますけど。

A: ああ、そうですね。どうもありがとうございました。

B: いいえ。

2) A: すみません。工学部のたてものはどれですか。

B: あの白いたてものだと思いますけど。

A: あの左のですか。

B: ええ、そうです。

<3>1) A: きょう、ひま。

B: うん、ひまだけど、どうして。

A: やきゅう、好き。

B: うん。

A: きっぷ、2枚あるんだけど。

B: 行く、行く。

2) A: これ、食べる。

B: チョコレート。

A: うん、おいしいよ。

B: そう。じゃ、ちょっとだけもらう。

<4>1) A: さむいね。

B: ええ。きのうは、そんなにさむくありませんでしたけど。

A: うん、きゅうにさむくなったね。

B: ええ、そうですね。

2) A: 元気。

B: はい、おかげさまで。

A: ところで、夏やすみはどこか行くの。

B: ええ、行きたいんですが、まだどこへ行くかきめていません。

A: あ、そう。

3. 文法練習

<1> “Noun - が Noun - に Predicate” の練習 (Ⅱ - 2)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

あの人，キムタク

[A… 女性 B…男性]

A： ねえ，あの人，似てると思わない。

B： だれに。

A： キムタクに。

B： ええっ。ぜんぜん似てないよ。

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 山田さん | あなたのお兄さん |
| 2. あそこで本を読んでいる人 | 本田さん |
| 3. あの人の話し方 | 仲間由紀恵 |
| 4. きのうスピーチした人 | 事務の大津さん |
| 5. あの人の声 | 佐藤先生 |

キムタク

Kimutaku (nickname of the actor
Kimura Takuya)

似て (い) る にて (い) る look alike, resemble
山田 やまだ (family name)

仲間由紀恵 なかまゆきえ Nakama Yukie (name of an actress)

事務 (室) じむ (しつ) office

声 こえ voice

<2> “Noun - に Noun - が Predicate” の練習 (Ⅱ - 3)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

テレビの音，となり，聞こえてる

[A…女性 B…女性]

A： ねえ，テレビの音，となりに聞こえてると思う。

B： となりに。さあ。

A： だいじょうぶよね。

B： うん，たぶん……。

1. このプログラム	鈴木さん	わかる
2. このセーター	アリスさん	似合う
3. こんな小さな字	一番うしろの人	見える
4. 駐車場	あそこ	ある
5. あの人	うち	いる

だいじょうぶな		no need to worry
プログラム		(computer) program
鈴木	すずき	(family name)
似合う	にあう	look good on, becoming to
駐車場	ちゅうしゃじょう	parking place

<3> 語形練習

例にならって動詞 (verb) の形を練習しなさい。

例：食べる たべない たべた たべなかった たべて たべます

聞く	来る	会う	する
読む	行く	呼ぶ	買う
見る	死ぬ	取る	いる (need)
使う	わかる	通る	いる (be)
貸す	切る	変える	言う
借りる	着る	帰る	待つ
返す	習う		

語形	ごけい	form (of a word)
----	-----	------------------

貸す	かす	lend, rent
借りる	かりる	borrow, rent
返す	かえす	return, give back
着る	きる	wear, put on
切る	きる	cut
変える	かえる	change
帰る	かえる	go home, come home
習う	ならう	learn, take a lesson

第 2 課

さそう・うける

○「留学生のタベ」っていうのがあるんですけど、よかったらいっしょに行きませんか。

○うちで食事でもどうかと思って……。

(アリスさん,) どう。

○でもご迷惑じゃありませんか。

○ありがとうございます。 じゃ、遠慮なく……。

会 話

会話 1 研究室で

木下： リードの先輩

リード： 来週の土曜日、「留学生の夕べ」っていうのがあるんですけど。

木下： うん。

リード： よかったらいっしょに行きませんか。(チケットを見せる)

木下： ふうん。「留学生の夕べ」……。

リード： あのう、留学生が集まって歌ったりおどったりして、けっこう⁽¹⁾おもしろいんです。

木下： へえ。文化会館か。

リード： ええ。タンさんって知ってますか、生物の。

木下： あ、中国の。

リード： ええ。

木下： 知ってる。知ってる。

リード： あの人が今年は司会するんです。

木下： へえ。おもしろそうだねえ。うーん、アルバイトがね……。でも 6 時半までには行けるかなあ。

リード： ぜひ。

木下： うん、そうだね。いくら。

リード： あ、いいえ。いいんです。いいんです。

木下： そう。

リード： ええ。いつもお世話になってますから。

木下： いいの。ありがとう。

会話 2 研究室で

中山： アリスの先輩

先生： あ、アリスさん、ちょっと。

アリス： はい。あのう、何か……。

先生： うん、今、中山くんと話してたところだけどね。

アリス： はい。

先生： アリスさんもこの研究室の仲間として勉強していくわけだからね。

アリス： はあ。

先生： うちで食事でもどうかと思って。

アリス： はあ。

中山： アリスさんの歓迎コンパってことですよね、先生。

先生： うん、そうだな。どう。

アリス： でも、ご迷惑じゃありませんか。

先生： いや、気にすることはないよ。たいしたことしないから⁽³⁾。

アリス： そうですか。ありがとうございます。じゃ、遠慮なく……。

先生： うん。じゃ、中山くん、いつがいいか決めといてくれないか。

中山： はい。あのう、先生のご都合は。

先生： ぼくはできれば土曜がいいね。ただ、今週はちょっと学会があるから⁽⁴⁾。

中山： そうですか。じゃ、みんなで相談してあとで報告します。

会話ノート

1. Vocabulary list

さそう	invite, ask
うける	accept

<会話 1>

～の夕べ	～のゆうべ	evening for ～
チケット		ticket
集まる	あつまる	get together
歌う	うたう	sing
おどる		dance
けっこう		fairly, pretty (See “Expressions (1)”) (name of an auditorium)
文化会館	ぶんかかいかん	
生物 (学)	せいぶつ (がく)	biology
中国	ちゅうごく	China
司会する	しかいする	act as a master of ceremonies
アルバイト		a part-time job
ぜひ		be sure, by all means
世話になる	せわになる	be helped

<会話 2>

中山	なかやま	(family name)
～くん		Mr. ～ (usually used by superiors)
ところ		=ところ, just
～の仲間	～のなかま	a member of ～
～として		as ～
歓迎コンパ	かんげいこんぱ	welcome party
気にする	きにする	worry
たいした～ない		nothing much, not so much
遠慮	えんりょ	hesitation
遠慮なく	えんりょなく	I'll be happy to ～
都合つごう		schedule, 都合がいい=convenient, all right

できれば		if possible
ただ		but, however
学会	がっかい	academic conference
みんなで		all of us, with all
報告する	ほうこくする	tell

2. Expressions

- (1) けっこう (fairly, pretty, better than one expected)

けっこう used here is an adverb which shows unexpected feeling.

- (2) (～する) ことはない (There is no need (for someone) to ～, you need not ～)

Only the imperfective positive form of a verb is used.

- (3) たいした～ない (nothing much, not so much)

たいした modifies a noun and is usually used in a negative predicate.

- (4) ただ (but, however)

ただ is used at the beginning of a statement to indicate that the previous statement is not completely true.

3. Aspects of the discourse

Expressions of respect

Respectful expressions are used when the speaker politely refers to others or describes their condition or actions. Expressions of respect can be divided into the following three groups.

1. expressions showing respect toward a person's actions
2. expressions showing respect toward a person's condition
3. expressions showing respect toward a person's belongings

The use of expressions of respect is limited to cases where the speaker has personal relations with that person or personal feelings toward him/her. One usually does not use expressions of respect when referring to contemporaries like well-known writers, actors or actresses, and so on, unless one has special feelings of respect toward them.

A. Respect toward a person's actions

The honorific form of a verb is used to respectfully refer to a person's actions.

1. Irregular honorific verbs

Non-polite form	Honorific form
する	なさる
いる	いらっしゃる, おいでになる
来る	いらっしゃる, おいでになる
行く	いらっしゃる, おいでになる
言う	おっしゃる
見る	ごらんになる
食べる	めしあがる
飲む	めしあがる
着る	おめしになる
している	ごぞんじだ (です)

2. Regular honorific verb formation (1) : お+verb base+になる

Non-polite form	Honorific form
読む	およみになる
書く	おかきになる
ある	おあるきになる
買う	おかいになる

3. Regular honorific verb formation (2) : お+verb base+です

This form is often used in place of “お+verb base+になる”; it sounds more indirect and reserved. Namely, saying “何時ごろおかえりですか” sounds more reserved than saying “何時ごろおかえりになりますか.” This form is possible only with verbs having a base form of more than two syllables.

Non-polite form	Honorific form (1)	Honorific form (2)
帰る	おかえりになる	おかえりです
つかう	おつかいになる	おつかいです
いそぐ	おいそぎになる	おいそぎです
よぶ	およびになる	およびです

4. Regular honorific verb formation (3) : use of a passive form

The passive form of a verb can be used to show respect. This way of expressing respect is rather formal and reserved-sounding ; it is most often used in official announcements or in public speech. In daily conversation men use this more often than women ; women more frequently use the “お+verb base+になる” pattern.

(例) A : 大学で何を教えられていますか。

B : 日本語を教えています。

B. Respect toward a person's condition

1. Prefix “お” or “ご” attached to adjectives

Not all adjectives are used with “お” or “ご” . Usually adjectives having good implications are used in this way.

わかい	→	おわかい
はやい	→	おはやい
うつくしい	→	おうつくしい
きれいだ	→	おきれいだ
じょうずだ	→	おじょうずだ
しんせつだ	→	ごしんせつだ

2. “お” or “い” + - te form of adjectives, followed by “いらっしゃる”

わかい	→	おわかていらっしゃる
はやい	→	おはやていらっしゃる
うつくしい	→	おうつくしくていらっしゃる
きれいだ	→	おきれいでいらっしゃる
じょうずだ	→	おじょうずでいらっしゃる
しんせつだ	→	ごしんせつでいらっしゃる

(例) 1. A : おじょうさんはごしんせつでいらっしゃいますね。

B : いいえ, そんなことはありません。

2. A : 先生, お元気でいらっしゃいましたか。

B : ええ, おかげさまで。

C. Respect toward a person's belongings

The prefix “お” or “ご” is attached to some nouns which refer to a respected person's belongings. “お” is generally attached to words of native Japanese origin, and “ご” to Sino-Japanese words.

すまい	→	おすまい
名前	→	お名前
仕事	→	お仕事
せんこう	→	ごせんこう
きょうだい	→	ごきょうだい
びょうき	→	ごびょうき

D. Usage

1. Expressions of respect are used with the polite form when addressing someone with whom one is not familiar, or when addressing a superior, when, at the same time, the subject of conversation is someone deserving respect.

- (例) 1. 学生： 先生は、きょうは何時までいらっしゃいますか。
先生： 6時までいるよ。
2. 学生： 山田先生は、今日は何時までいらっしゃいますか。
先生： 6時までいらっしゃるはずです。
3. 先生： 山田くんはきょうは来ますか。
学生： はい、来るはずです。

2. Expressions of respect are used with the non-polite form when the subject of the conversation is an unfamiliar person or a superior, and the listener is a friend.

- (例) 1. 学生 A： 山田先生は、きょう何時までいらっしゃる。
学生 B： 6時までいらっしゃるはず。
2. 学生 A： 山田先生、もうおかえりになった。
学生 B： ううん。まだいらっしゃった。

文法

I. Verbs and particles

A. Verbs of movement : 「出る」「入る」「通る」 etc.

1. A place from which someone begins to move is indicated by を.

- (例) 1. 次の駅で電車をおりてください。
2. この春大学を出ました。
3. 9時ごろ家を出るつもりです。
4. 先月会社をやめました。

2. A place into which someone or something moves is indicated by に.

- (例) 1. バスに乗って、デパートに行きました。
2. あの店に入りましょう。
3. ポストに手紙を入れました。
4. 3時に大学につきました。

3. A place through which someone or something moves is indicated by を.

- (例) 1. このバスは駅前を通りますか。
2. この道をまっすぐ行ってください。
3. 次の角を左に曲がると、スーパーがあります。

B. Verbs of reciprocal action : 「結婚 (けっこん) する」「別 (わか) れる」 etc.

Reciprocal action is expressed in the following pattern.

[Noun 1 - が Noun 2 - と Reciprocal Verb]

- (例) 1. 中村さんが外国の女性と結婚したそうです。
2. お茶を飲んだあと、友だちと別れました。
3. 山田さんが知らない人とけんかしていますよ。
4. きみの言ったことは私の考えていることとちがいます。

C. Verbs of saying or thinking : 「言う」「思う」 etc.

A speaker's statement or thought is indicated by と.

- (例) 1.きのう学校で「ばか」と言われました。
2. ちょっとむずかしすぎると思います。
3. もっといいやり方はないだろうかと考えました。
4. 「私はおこる」と言わないで、「私のはらが立つ」と言います。

D. Verbs of existence

The idea of existence is expressed in the following pattern.

[Noun 1 - に Noun 2 - が Verb of Existence]

- (例) 1. 図書館にたくさん本があります。
2. エレベーターの前に中村さんがいるでしょう。
3. ここにはいろいろな人がいます。
4. 私にいい考えがあります。

II. Pairs of intransitive and transitive verbs

A. Intransitive verb

A verb that does not require a direct object is called an intransitive verb. The action or state identified by the intransitive verb is related only to the subject of a sentence.

B. Transitive verb

A verb that requires a direct object is called a transitive verb. It usually expresses an action in which the activity is directed towards someone or something indicated by the direct object.

C. Note in the following how an intransitive verb is changed to a corresponding transitive verb, and vice versa.

Intransitive verb		Transitive verb	
- aru		- eru	
上がる (あがる)	rise	上げる (あげる)	raise
止まる (とまる)	stop	止める (とめる)	stop
見つかる (みつかる)	be found	見つける (みつける)	find
助かる (たすかる)	be saved	助ける (たすける)	save
閉まる (しまる)	close	閉める (しめる)	close
始まる (はじまる)	begin	始める (はじめる)	begin
変わる (かわる)	change	変える (かえる)	change
- u		- eru	
開く (あく)	open	開ける (あける)	open
届く (とどく)	reach	届ける (とどける)	deliver
立つ (たつ)	stand	立てる (たてる)	stand
- ru		- seru	
乗る (のる)	get on	乗せる (のせる)	put on
寄る (よる)	approach	寄せる (よせる)	bring close to
- eru		- asu	
出る (でる)	get out	出す (だす)	take out
冷める (さめる)	cool	冷ます (さます)	cool
ぬれる	wet	ぬらす	wet
- eru		- yasu	
冷える (ひえる)	become cold	冷やす (ひやす)	make cold
増える (ふえる)	increase	増やす (ふやす)	increase
- iru		- osu	
起きる (おきる)	get/wake up	起こす (おこす)	get/wake up
降りる (おりる)	get off	降ろす (おろす)	take/bring down
落ちる (おちる)	drop	落とす (おとす)	drop
- ru		- su	
帰る (かえる)	go back	帰す (かえす)	make ~ go back
通る (とおる)	pass	通す (とおす)	pass
- reru		- su	
倒れる (たおれる)	fall down	倒す (たおす)	push/knock down
よごれる	get dirty	よごす	make dirty
現れる (あらわれる)	appear	現す (あらわす)	show
こわれる	break	こわす	break
- eru		- u	
売れる (うれる)	sell	売る (うる)	sell
とれる	come off	とる	take
切れる (きれる)	cut	切る (きる)	cut

III. Particles for nouns in sequence

- A. The particle “と” is used to list two or more items ; it implies that all the necessary items are included and there are none which have not been mentioned.

(例) A : きのうだれが来たんですか。

 B : アリスさんとルインさんとローラさんが来ました。

- B. The particle “か” denotes an alternative.

(例) A : この仕事はいつまでにすればいいんでしょうか。

 B : あしたかあさってまでにはおねがいします。

- C. The particle “や” is used to list two or more items as representative examples ; it implies that there are some more items which have not been mentioned.

(例) A : 日本のたべものはどうですか。

 B : はい, とうふやなつとうがあまり好きじゃありません。

- D. “とか” is used to list two or more items as possible examples.

(例) A : どこか行ってみたいところがありますか。

 B : そうですね。京都とか奈良なんかへ行ってみたいですね。

練習

1. 用法練習

<1> 「もしよろしかったら……」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

コンパをする

[A…学生 B…先生]

A: 先生，今度の土曜日おいそがしいでしょうか。

B: いや，別に。何か。

A: じつは，コンパをすることになりまして……。

B: へえ，そう。

A: で……，もしよろしかったら……。

B: うん，いいよ。何時ごろから。

A: あのう……。

1. みんなで飲む
2. ビデオを見る会をする
3. ギョーザを作る
4. カラオケに行く
5. アリスさんの送別会をする

コンパ

students' party

(lit. company)

もしよろしかったら

If it is all right with you,

別に（～ない） べつに（～ない）

(not) especially

飲む のむ

drink (some alcoholic drinks)

ビデオ

video tape

ギョーザ

(a kind of Chinese food)

カラオケ

Karaoke

送別会 そうべつかい

farewell party

<2> 「よかったら～ませんか」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

お茶（を）飲みに行く

[A…ルインの同僚 B…ルイン]

A: ルインさん。

B: はい。

A: よかったらこれからお茶飲みに行きませんか。

B: あ，いいですよ。

1. 「デニーズ」に寄っていく
2. 次の実験方法を考える
3. コンパのこと，決めておく
4. いっしょにごはんを食べる
5. あのこと（を）先生に話してみる

お茶（を）飲みに行く おちゃ（を）のみにいく go to a coffee shop

同僚 どうりょう colleague

よかったら～ If it is O.K.,～

デニーズ (name of a restaurant)

寄る よる drop in, stop by

実験 じっけん experiment

方法 ほうほう means, way to (do something)

ごはん dinner, meal

<3> 「いっしょにどうぞ」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

今晚飲みに行く，みんな

[A…学生（女性） B…学生（女性）]

A： 今晚飲みに行くんだけど，いっしょにどうぞ。

B： えっ，迷惑じゃない。

A： そんなことないわよ。みんなも喜ぶと思うから。

B： ほんとう。

A： そうよ。ねえ，行こう。

B： うん。じゃあ……。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. 来週海へ行く | 子供 |
| 2. 来週いなかへ帰る | 両親 |
| 3. あしたパーティーがある | 主人 |
| 4. 今晚ビリヤード（を）やる | みんな |
| 5. キャンプに行く | ほかの人たち |

迷惑じゃない	めいわくじゃない	Don't you mind?
		Wouldn't I bother you?
喜ぶ	よろこぶ	be happy, be glad
いなか		hometown
両親	りょうしん	parents
主人	しゅじん	(my) husband
ビリヤード		billiards, pool
キャンプ		camping
ほかの人たち	ほかのひとたち	other people

2. 談話練習

場面練習

次の会話を練習しなさい。

<1> A: 学生 B: 先生

A: あっ、先生おいそぎですか。

B: ううん。

A: ちょっとよろしいでしょうか。

B: ええ。どうぞ。

A: あのう、来週の土曜日にゼミのコンパがあるんですが……。

B: ええ。

A: いらっしゃっていただけないでしょうか。

B: ええと、土曜日……。あ、いいですよ。

A: あ、いらっしゃっていただけますか。

B: ええ。よろこんで。ええと、ばしょは。

A: あのう、ピザのロッソごぞんじですか。

B: ええ、もちろん。

A: そこで6時からですので……。

B: あ、そう。わかりました。じゃあ。

A: どうもありがとうございました。

コンパ	こんぱ	students' party
ばしょ		place
ピザ	ぴざ	pizza
ロッソ	ろっそ	(name of a pizza restaurant)

<2> A: 学生 B: 山田先生

A: あっ、山田先生。

B: はい。

A: あのう、和田先生は今いらっしゃるでしょうか。

B: あ、さきほど研究室をお出になりましたよ。

A: もう、おかえりになったんでしょうか。

B: おかえりになったか、おもどりになるかはちょっと……。

A: ああ、そうですか。

<3> A: 学生 B: 学生

A: 山田先生，コンパにいらっしゃるって。

B: あ，そう。でも，ピザ好きかなあ。

A: うーん……，でもまだおわかいから……。

B: そうかなあ。まあ，おきらいでも，先生，ビールめしあがるから……。

A: そうね。

練習

次の会話を練習しなさい。

<1> A: 学生 B: 先生

A: 先生，この論文ごらんになりましたか。

B: どれ。ああ，これ，このまえ読んだ。

A: あ，もうごぞんじでしたか。

B: うん。

<2> A: 学生 B: 山田先生

A: 山田先生，さきほど小林先生からお電話がありましたけど。

B: あ，そう。ええと，何時ごろ。

A: 先生がお出になったあと，すぐです。

B: あ，そう。わかりました。

<3> A: 学生 B: 先生

A: きのう何時ごろおたくに帰られましたか。

B: けさの2時。

A: ええっ，2時。

B: うん。鈴木先生とまた飲んで。

A: また飲まれたんですか。

B: あのかた好きだから。

<4> A: 学生 B: 学生

A: 山田先生，まだいらっしゃった。

B: ううん。もうおかえりになった。

A: いつもよりおはやいね。

B: うん。おくさまがご病気だって。

A: あ，そう。

3. 文法練習

<1> “Intransitive verb と Transitive verbs” の練習（Ⅱ）

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

ビデオ（が） ついている，つける，次の授業で使う

[A…女性 B…女性]

A： あれ，ビデオ，ついでるわよ。つけたの。

B： ううん。

A： そう。

B： じゃあ，きっと次の授業で使うんでしょ。

- | | | |
|-----------------|-----|------------|
| 1. かぎ（が） かかっている | かける | きょうはもう使わない |
| 2. 資料（が） 出ている | 出す | だれかが忘れる |
| 3. 窓（が） あいている | あける | まだ授業がある |
| 4. テレビ（が） ついている | つける | だれかが見る |
| 5. 電気（が） 消えている | 消す | きょうはもう使わない |

つく		be turned on
かぎ		key
かかる		be locked
資料	しりょう	material
出る	でる	be taken out
忘れる	わすれる	forget
窓	まど	window
あく		open
電気	でんき	light
消える	きえる	be turned off

<2> “Particle for nouns in sequence” の練習 (Ⅲ - D)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 のことばにかえて練習しなさい。

スポーツ，バレーボール，サッカー

A： どんなスポーツがお好きですか。

B： そうですね，バレーボールとか，サッカーなんかですね。

- | | | |
|---------|------|--------|
| 1. 食べ物 | おすし | 湯どうふ |
| 2. お酒 | ワイン | 日本酒 |
| 3. 映画 | SF | ミュージカル |
| 4. 番組 | ニュース | ドラマ |
| 5. くだもの | みかん | いちご |

スポーツ		sports
バレーボール		volleyball
サッカー		soccer
おすし		(a kind of Japanese food)
湯どうふ	ゆどうふ	(a kind of Japanese food)
ワイン		wine
日本酒	にほんしゅ	Japanese Sake
映画	えいが	movie
SF	えすえふ	Science Fiction
ミュージカル		musical
番組	ばんぐみ	program
くだもの		fruit
みかん		tangerine (a kind of orange)
いちご		strawberry

第3課

さそう・ことわる

- そのへんでお茶でも飲んでかない。
- パソコンフェアやってるんだけど，行かない。
- いっしょに行こうよ。
- ちょっときょうは……。5時に約束があるもんですから。残念
ですけど……。
- 1時までに出さなきゃいけないから……，やめとく。

会 話

会話 1 駅で

加藤： カーン先輩。カーンは半年前まで佐々木研究室で加藤といっしょに研究していたが、他の大学の大学院に入学した。

カーン： あのう、失礼ですが、加藤さんじゃ……。

加藤： あれ、カーンさんじゃない。ひさしぶりだな。元気。

カーン： ええ、おかげさまで。加藤さんも元気そうで。

加藤： うん、相変わらずだよ。いそがしくてね。

カーン： あ、そろそろ論文の締切ですね。

加藤： うん、だいたい終わってるんだけどね。

カーン： そうですか。

加藤： うん。カーンさん、あつちはどう。

カーン： まあ、何とか。論文はまだ来年ですから。

加藤： あ、そうか。カーンさん帰り、急ぐ。

カーン： え。

加藤： いや、そのへんでお茶でも飲んでかない。

カーン： ちょっときょうは……。

加藤： いそがしいの。

カーン： ええ、5時に約束があるもんですから⁽¹⁾。

加藤： じゃ、しかたがないね。

カーン： ええ、残念ですけど……。

加藤： ひまがあつたら、研究室のほうにも遊びに来てよ。

カーン： ええ、ぜひ。佐々木先生にもお会いしたいし。

会話 2 研究室で

山口： アリスの友だち

アリス： 生協でパソコンフェアやってるんだけど，行かない。

山口： 今。

アリス： うん。ノートパソコンが安くなってるって書いてあったから見てこようと思って。

山口： あ，そういえば，ぼくも新しく出たソフト，必要なんだけど……。

アリス： じゃ，いっしょに行こうよ。

山口： うん。でも，これ1時までに出さなくちゃいけないから……，やめとく。

アリス： 宿題。

山口： そう。

アリス： あ，そう。じゃ。

山口： うん。また。

会話ノート

1. Vocabulary list

ことわる

not accept, turn down, refuse

<会話 1>

佐々木

ささき

(family name)

加藤

かとう

(family name)

半年

はんとし

half a year, six months

ひさしぶり

haven't seen (you) for a long time

相変わらず

あいかわらず

no change, the same as ever

論文

ろんぶん

thesis

締切

しめきり

deadline

だいたい

almost, roughly

あっちはどう。

How about over there?

何とか

なんとか

somehow

帰り

かえり

going home

いや

well

そのへん

near here, nearby

飲んでかない

のんでかない

(「飲んでいかない」の contracted form)

じゃ、しかたがない。

Well then, I can't ask you.

ええ、残念ですけど。ええ、ざんねんですけど

No, I'm sorry.

遊びに来る

あそびにくる

come and see, visit

<会話 2>

山口

やまぐち

(family name)

生協

せいきょう

co-op

パソコンフェア

personal computer fair

やって (い) る

be held

ノートパソコン

laptop computer

新しく出たソフト

あたらしくでたソフト

recently released software

必要な

ひつよう

necessary

～なくちゃいけない

(「～なくてはいけない」の contracted form)

やめとく

(「やめておく」の contracted form)

2. Expressions

(1) ～ もんですから (because)

This is usually used at the end of a statement when someone tries to explain the reason why he/she can't accept an invitation or why he/she has done something.

(2) そういえば (that reminds me)

This is used at the beginning of a statement when something or someone's words remind the speaker of something.

3. Aspects of the discourse

Expressions of humility

Humble expressions are used to refer to oneself, persons or things associated with oneself, one's condition, and one's actions when speaking politely.

A. Humble expressions about actions related to others

There are two types of the humble form of a verb : irregular humble form and regular humble form.

1. Irregular humble verbs

Non-polite form	Humble form
する	いたす
行く	まいる
行く	うかがう, おじゃまする
言う	もうしあげる
見る	はいけんする
会う	お目にかかる
聞く	うかがう
かりる	はいしゃくする
しっている (もの)	ぞんじている
しっている (人)	ぞんじあげている
もらう	いただく

- (例) 1. 学生： 山田先生にお目にかかりたいんですが。
 助手： ちょっとおまちください。
 2. 先生： 山田先生，しっている。
 学生： はい，ぞんじあげています。

2. Regular humble form : お+verb base+する

Non-polite form	Humble form
持つ	おもちする
待つ	おまちする
送る	おおくりする
電話する	おでんわする

- (例) 1. 学生： 先生，へやでおまちしていますから。
 先生： はい。わかりました。
 2. 先生： 山田先生に電話した。
 学生： はい。さきほどお電話しました。

B. Humble expressions about actions independent of others

In polite speech, one sometimes uses humble expressions even when talking about one's own actions which are unrelated to other persons. Two verbs in particular are used for this purpose : おる and いたす.

1. おる

The verb おる (to be) is used in place of いる.

- (例) 先生： あしたは学校に……。
 学生： いいえ。うちにおります。

2. いたす

The verb いたす (to do) is often used in place of する.

- (例) 先生： もうしらせた。
 学生： ええ，電話いたしました。

3. Other verbs

There are several other humble verbs commonly used in the same way : まいる, いただく, もうす, etc.

- (例) 1. 先生 : 山田くん。
山田 : はい。ただ今まいります。
2. 先生 : おにいさんはきょうは来ますか。
学生 : いいえ。来ないともうしておりました。

C. Humble forms of です and あります

1. Humble form of です : でございます

- (例) 1. A : もしもし, 山田さんのおたくですか。
B : はい, 山田でございます。
2. A : くつうりばは何がいですか。
B : 5かいでございます。

[Note] In the case of - i adjectives, the form is made as follows.

やすいです	→	やすうございます	(- ui → uu)
あかいです	→	あこうございます	(- ai → oo)
おいしいです	→	おいしゅうございます	(- ii → - uu)
ひろいです	→	ひろうございます	(- oi → - oo)
いいです	→	ようございます	(irregular)

2. Humble form of あります : ございます

- (例) 1. A : くつうりばは何がいですか。
B : 5かいにございます。
2. おそくなってもうしわけございません。

文 法

I . Usage of other particles

A. The place where the action takes place is indicated by で.

- (例) 1. 図書館で本を読んでいます。
2. 今年から新しい会社で働いています。

B. The specific time when the action takes place is indicated by に.

- (例) 1. 4 月 10 日に帰ります。
2. あした 9 時に来ます。

[Note] Some time expressions are not followed by に : きょう, 来週, etc.

- (例) 1. きょうもう一度やりましょう。
2. 来週うちに来ませんか。

C. から and まで are equivalent to English “from” and “to, till” respectively, when they are used together in a sentence.

- (例) 1. 毎日 9 時から 5 時まで仕事をします。
2. 日本から中国まで何時間ぐらいかかりますか。

D. The direction toward which someone or something moves is indicated by へ.

- (例) 1. とおくへ行っはいけません。
2. このかばんをあちらへ持って行ってください。

[Note] The difference between まで and へ : まで indicates a destination of the action and it means “as far as,” whereas へ simply shows a direction.

E. The destination is indicated by に.

- (例) 1. 3 時にこちらに来てください。

2. はやく国に帰りたいと思います。

F. までに indicates a time limit.

- (例) 1. 6時までに出示してください。
2. 来週の水曜日までにこの仕事を終わろうと思います。

G. The way or means is indicated by で.

- (例) 1. 日本語で話すのは、たいへんなことです。
2. バスで行きましょうか。歩いて行きましょうか。

II. Structure of a noun phrase (1)

In “Noun 1 の Noun 2,” the first noun modifies the second noun.

- (例) 1. 日本語の本
2. 中村さんの車
3. 山田さんの説明 (せつめい)

The particle の itself doesn't have any special meaning in this pattern, but it functions as a connector of two nouns. The meaning comes from a semantic relationship between the first noun and the second noun after they have been connected. Some examples are shown below.

1. The first noun is an attribute of the second noun.

- (例) 1. ちゃいろの車
2. みどりいろのスカート

2. The first noun is a subject of the second noun which is derived from the verb as shown in the parenthesis.

- (例) 1. 中村さんの説明 (中村さんが説明をする)
2. 山田さんの話し方 (山田さんが話す)

3. The first noun is an object of the second noun which is derived from the verb as shown in the parenthesis.

(例) 1. 漢字の説明 (漢字を説明する)
2. はしの使い方 (はしを使う)

4. The first noun indicates the possessor of the second noun.

(例) 1. わたしの辞書
2. 佐藤さんの家

5. The first noun indicates the relationship between the speaker and the second noun or explains something about the second noun.

(例) 1. 先生の中村さん
2. 友だちの山田さん

6. The first noun indicates the place where the second noun is located.

(例) 1. 東京の大学
2. フィリピンのマニラ

“Noun 1 の Noun 2” can be interpreted in several ways. The exact meaning is determined by the context.

III. Aspect of the - て form of a verb+いる いる／います or ある／あります

“Aspect” is defined as “a category of the verb indicating primarily the relation of an action to the passage of time, especially in reference to completion, duration, repetition, etc...” Japanese has several ways to show the aspect of an action. Here, note how the - て form of a verb+いる, and - て form of a verb+ある work.

- A. The - て form of a verb+いる ; both intransitive verbs and transitive verbs can be followed by いる. It is used to indicate

1. Continuous progressive action

- (例) 1. 雨が降っています。
2. おとうとは今、勉強しています。

2. Habitual repeated action

- (例) 1. わたしは毎朝ジョギングをしています。
2. ときどき気をつけて見ていますが、まだ見つかりません。

3. Existence of the result of some actions which have been done in the past

- (例) 1. 先生は結婚しています。
2. わたしは東京に住んでいます。

4. A state or condition of a person or a thing

- (例) 1. 窓があいています。
2. この道は曲がっています。

5. Confirmation of an experience

- (例) 1. その話なら、わたしももう聞いています。
2. 京都にはもう 3 回行っています。

B. The - て form of a verb + ある ; only transitive verbs can be followed by ある . It is used to indicate

1. Resultant state of an action which somebody has purposely done in the past

- (例) 1. 窓があけてあります。
2. A : となりの部屋のストーブはきえていますか。
B : はい。けしてあります。

2. A passive structure in which the subject of a verb is not mentioned

- (例) この本には、2 時間かかると書いてあります。

練習

1. 用法練習

<1>イントネーションに気をつけて，下の会話を練習しなさい。

[A…先生 B…学生]

⋮

- A: まあ，こういうことなんだけど。
B: はあ……。あのう，2，3日考えて……。
A: うん，じゃあ，考えてみて。
B: はい。

◇

◇

◇

- B: あのう，先生。
A: うん。
B: この間のお話なんですが……。
A: うん。
B: よく考えてみたんですが……。
A: うん。
B: どうしても……。
A: そう…… やっぱりね……。
B: はあ。大変勝手を申しましてすみません。
A: いやいや。ま，しかたがないか……。

この間	このあいだ	the other day
話	はなし	matter (we talked about)
勝手な	かってな	selfish, self-centered
申す	もうす	say, speak, tell
勝手を言う	かってをいう	speak selfishly

<2>会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

みんなでテニス（を）する，スポーツ

[A…B の先輩（女性） B…学生（女性）]

A： 今度の日曜，あいてる。

B： ええ。何か。

A： うん， じつは，みんなでテニスするんだけど，いっしょにどう。

B： ああ，わたし，スポーツはあんまり……。

A： あ，そうなの。

B： ええ。すみません。

A： 残念だなあ……。

- | | |
|----------------|-----|
| 1. ピカソ展（を）やってる | 絵 |
| 2. みんなで海に行く | 海 |
| 3. ロックコンサートがある | ロック |
| 4. みんなでドライブする | 車 |
| 5. おすし（を）食べに行く | 魚 |

あく		be free, nothing scheduled
ピカソ展	ピカソてん	Picasso exhibition
絵	え	paintings
ロック		Rock'n roll
ドライブする		go for a drive

<3>会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

さっき約束したところだ

[A…学生（男性） B…学生（女性）]

A： 今晚，ひま。

B： うん，なに。

A： ナイターの切符，あるんだけど。

B： ああ。さっき約束したところなの。

A： そうか。じゃ，山下さんでもさそうか。

B： うん，そうして。残念だけど。

1. あしたテストだ
2. きょうはアルバイトがある
3. いま，両親が来ている
4. 友だちが来ることになっている
5. 今晚は家にいなくちゃいけない

ひまな

free

ナイター

night game

約束する

やくそくする

make an appointment

さそう

invite, ask

残念だけど

ざんねんだけど

It's too bad, but ～.

アルバイト

part-time job

2. 談話練習

場面練習

次の会話を練習しなさい。

<1> A: 学生 B: 先生

A: 先生, ちょっとおじゃましてよろしいでしょうか。

B: どうぞ。

A: このまえおかりした本をおかえしにまいりました。

B: ああ, これ。

A: どうもありがとうございました。

B: いいえ。おもしろかった。

A: ええ。それで, あのう, ちょっとこの本についてお話ししたいんですが。

B: ああ, いいですよ。

<2> A: アパートの大家さん B: アパートにすんでいる学生

A: ご兄弟は何人いらっしゃるんですか。

B: 兄と妹がおります。

A: ああ, そうですか。いま, おにいさんは。

B: 昨年, 東京のほうへまいりまして, ソニーにつとめております。

A: はあ, そうですか。妹さんは。

B: 妹も東京の大学におります。

A: ああ, そうですか。

大家

おおや

landlord

練習

次の会話を練習しなさい。

<1> 1) A: 先生 B: 先生

A: こんどのかいぎはいつ。

B: きのもうしあげましたとおり, 月曜日の3時からです。

A: あっ, そうそう。

2) A: アパートの大家さん B: アパートにすんでいる学生

A: あした、うちのパーティーに妹さんは来るの。

B: はい、おじゃましたいと…………。

A: あ、そう。それはよかった。

3) A: アパートお大家さん B: アパートにすんでいる学生

A: 弟さんは中村さんに会えましたか。

B: ええ。先週の土曜日にお会いして、いろいろかがったそうです。

A: ああ、そう。それはよかった。

<2> 1) A: 先生 B: 学生

A: ゼミのコンパはいつだった。

B: まだきめておりませんが…………。

A: そう。きまったら、知らせて。

B: はい。

2) A: 先生 B: 学生

A: きょうは中村さんは来ないの。

B: あれ。さっきまで図書館におりましたけど。

A: じゃ、もうすこしまちましよう。

B: はい。

3) A: 先生 B: 学生

A: もっと食べてください。

B: はい、おいしくいただいております。

<3> A: 先生 B: 学生 (研究室で)

A: 今日うちあわせあった。

B: ええ、ございますけど。

うちあわせ meeting

3. 文法練習

<1> “The - て form of a verb+いる” の練習 (Ⅲ - A - 5)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

宿題，すごい量だ

A： ね，宿題のこと，聞いている。

B： うん，おととい聞いた。すごい量なんだってね。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 夏休み | 20 日からだ |
| 2. 試験 | やっぱりやる |
| 3. 修了式 | パーティーもある |
| 4. 本田先生 | ご病気だ |
| 5. 旅行 | 延期だ |

すごい		a lot of, terrible
量	りょう	amount
夏休み	なつやすみ	summer vacation
やっぱり		after all, as one expected
修了式	しゅうりょうしき	closing ceremony
延期 (する)	えんき (する)	postpone, put off

<2> “The - て form of a verb+ある” の練習 (Ⅲ - B - 1)

会話の下線のある部分を, 下の 1~5 の言い方にかえて練習しなさい。

レジメ (を) 打つ

[A…B の先輩 (女性) B…学生 (男性)]

A: きのうたのんだレジメ, もう, 打ってある。

B: ええ, 打ちました。

A: ああ助かった。じゃあ, 使えるわね。

B: はい。

1. データ (を) 出す
2. 資料 (を) コピーする
3. ウォークマン (を) 直す
4. 原稿用紙 (を) 買う
5. CD プレイヤー (を) 借りる

レジメ

résumé

打つ

うつ

type

助かった。

たすかった。

It's a great help.

データ

data

資料

しりょう

material

ウォークマン

Walkman (Brand name of a
cassette recorder)

原稿用紙

げんこうようし

manuscript paper

第 4 課

許可をもらう・許可する

○来週のレポーター，山口さんにかわってもらってもいいで
しょうか。

○あれは出なくてもいいよ。

○となりの部屋のコンピューター，使ってもいいから。

会話

会話 1 研究室で

山口 : アリスの友だち

アリス : 困っちゃったなあ。来週のゼミ。

山口 : どうして。

アリス : わたし、レポーターなんだけどね。

山口 : うん。

アリス : その日、急に国から父が来るの。

山口 : ああ、そう。

アリス : うん。で、悪いけど、かわってくれない、レポーター。

山口 : え。うーん。かわってもいいけど……。どこだった。

アリス : 第3章。

山口 : ああ、おれ、その次があたってるんだ。

アリス : あ、そう。じゃ、それはわたしがするから。

山口 : そう。じゃ、いいけど、先生にちゃんとことわ⁽¹⁾ってよ。

アリス : うん。サンキュー。悪いわね。

◇

◇

◇

アリス : 先生。来週のレポーター、わたしがあたっているんですけど、山口さんにかわってもらってもいいでしょうか。

先生 : あ、そう。どうしたの。

アリス : 国から急に父が来ることになってしまいまして……。すみません。

先生 : 出られないの。

アリス : ええ。申し訳ありません。山口さんがやってもいいと言ってくれましたので。

先生 : あ、そう。

アリス : その次はわたしがします。

先生 : うん。じゃあ。まあ……。

アリス : すみません。

会話 2 研究室で

助手 : あの、例の原稿ね、先生に目を通してもらおうと思うんだけど、今日中にリードさんの分、できないかなあ。

リード : え、今日中なんて⁽²⁾、そんな、無理ですよ。午後の講演会にも出なくちゃいけないし……。

助手 : あ、あれは出なくてもいいよ。

リード : そうですか。

助手 : うん。アリスさんが行けるらしいから、代表で録音してきてもらおうと思ってるんだ。

リード : そうですか。じゃ、できるかもしれません。

助手 : じゃ、たのむよ。

リード : はい。

助手 : と隣の部屋のコンピューター、使ってもいいから。

リード : はい。じゃ。

会話ノート

1. Vocabulary list

許可	きよか	permission
許可する	きよかする	permit, allow
<会話 1>		
レポーター		(reporter), discussion leader
急に	きゅうに	unexpectedly
悪いけど～	わるいけど	I'm sorry, but ～
かわる		substitute, fill in for someone
第～章	だい～しょう	Chapter ～
おれ		I (usually used by men)
あたっている		be assigned
ちゃんと		be sure to (See “Expressions (1)”)
ことわる		tell, report
サンキュー。		Thank you.
悪いわね。	わるいわね	I'm sorry.
<会話 2>		
助手	じょしゅ	assistant
例の	れいの	=あの
原稿	げんこう	manuscript, paper
目を通す	めをとおす	read over
分	ぶん	part
そんな		that matter
無理な	むりな	impossible
講演会	こうえんかい	lecture
～なくちゃ		(「～なくては」の contracted form)
代表で	だいひょうで	as a representative (of all of us)
録音する	ろくおんする	record
じゃ、たのむよ。		Well, I'd like you to.

2. Expressions

(1) ちゃんと (be sure to)

This word is used in conversation. Some other meanings are : duly, well, neatly, perfectly and properly.

(2) ～なんて (something like that)

It is equal to ～などというのは and indicates an unpleasant feeling on the part of the speaker.

3. Aspects of the discourse

「ね」について

(例) A : さむくなりましたね。

B : ええ, そうですね。

A : ところで, あしたはテストですね。

B : ええ, そうです。

When ね is used with a sentence expressing the speaker's impression of something, it indicates the speaker's expectation of agreement or request for agreement from the listener. ね is pronounced with falling intonation.

(例) A : さむくなりましたね。

B : ええ, そうですね。

ね of agreement becomes ねえ if the speaker wants to show his impression strongly.

(例) A : さむくなりましたねえ。

B : ええ, ほんとですねえ。

ね also indicates the speaker's request for confirmation from the listener. ね as a request for confirmation from the listener is pronounced with rising intonation.

(例) A : ところで, あしたはテストですね。

B : ええ, そうです。

ね implies something like “I am assuming X but can you confirm it?” If the speaker A in the above-mentioned dialogue pronounces ねえ with falling intonation, as in

A: ところで、あしたはテストですねえ。

he/she shows some of his/her impressions of “あしたのテスト.” So the listener B might respond as follows :

B: そうですねえ。いやですねえ。

ね is sometimes used in a non- sentence- final position, as well as at the end of a sentence, as in the following :

A: きょうね,
B: うん。
A: 大学行ったらね,
B: うん。
A: 山田と会ったよ。
B: へえ、めずらしいね。
A: それでね,
B: うん。
A: きみのこと話したらね,
B: うん。
A: きみにもあいたっていったよ。
B: あ、そう。

This repeated use of ね shows that the speaker wants to draw the listener's attention to something or to confirm that the listener has understood what has been said up to that point. This usage is primarily seen in familiar conversation.

文 法

I. Adjectives : - い adjectives and - な adjectives

In Japanese, there are two types of adjectives : - い adjectives such as おいしい, ふるい, and - な adjectives such as きれいな, しずかな. These names come from their noun-modifying forms which have - い and - な at their endings respectively.

A. Conjugation

The conjugation of the two adjectives is illustrated in the following.

The forms shown below are the conjugated part of the adjectives + auxiliary.

Their base forms such as おいし or きれい are not given in the table.

		- い adjective	- な adjective
Polite	imperfective affirmative	- いです	- です
	negative	- ありません	- じゃありません
	perfective affirmative	- かったです	- でした
	negative	- ありませんでした	- じゃありませんでした
Non-polite	imperfective affirmative	- い	- だ
	negative	- くない	- じゃない
	perfective affirmative	- かった	- だった
	negative	- くなかった	- じゃなかった
Adverbial		- く	- に
Conjunctive		- くて	- で
Conditional		- ければ	- なら

Note that the base form of the adjective “いい” meaning “good” is い - or よ - ;
よ - precedes - く, - ければ, - かった, etc.

- (例) 1. このサラダはとてもおいしいです。
 2. 漢字はむずかしくありません。
 3. テストはあまりむずかしくなかったと言っていました。
 4. よくあそび, よく勉強しましょう。
 5. 頭が痛くて, 勉強できません。
 6. きょういそがしければ, あしたにしましょう。

B. Usage

Adjectives are classified into two groups in terms of their functions. Some adjectives have one noun as a subject in the sentence. Others have two nouns as a subject and an object. The former type will be called one- place adjectives, and the latter, two- place adjectives.

1. One- place adjectives

These adjectives express the character of a thing or a person, as in “This flower is beautiful.”; “That building is very high.” These adjectives are used in the following way.

[Noun - が Adjective]

- (例) 1. 頭が痛いです。
2. 目が悪くて、よく見えません。
3. 中村さんの車はとても高かったそうです。
4. テストはあまりむずかしくありませんでした。

2. Two- place adjectives

Some of these adjectives express how someone feels or judges, and some express the relationship between someone and a thing or two things.

Both of them are used either in the form of [Noun 1 - が／は Noun 2 - が Adjective], or [Noun 1 - が／は Noun 2 - に Adjective] .

- a. [Noun 1 - が／は Noun 2 - が Adjective] : うれしい, にくい, ほしい, こわい, いやだ, じょうずだ, へただ, 好きだ, きらいだ, etc.

- (例) 1. ぼくはこの話がとてもうれしい。
2. わたしはお金がほしいんです。
3. 中村さんはこの仕事がいやだそうです。
4. 山田さんはテニスがじょうずです。
5. 佐藤さんはすもうがきらいだそうです。

- b. [Noun 1 - が／は Noun 2 - に Adjective] : つよい, よわい, いい, わるい, てきとうだ, ひつようだ, etc.

- (例) 1. 中村さんがテニスにつよいことはだれでも知っています。
2. たばこは体に悪いと言われています。
3. 漢字が少ないほうが彼にはてきとうだと思います。
4. パスポートには写真がひつようです。

II. Structure of a noun phrase (2) : adjective + noun

An adjective precedes the noun it modifies. - い adjectives are used in their non-polite forms as a modifier. - な adjectives are also used in their non-polite forms before the noun they modify, but - だ changes to - な before the modified noun.

- (例) 1. 黒い花を見ました。
2. しずかな人が好きです。
3. たのしかったころを思い出します。
4. あまりむずかしくない本をさがしています。
5. テニスにつよい中村さんといっしょだから, だいじょうぶです。
6. ピクニックにひつようなものはもう買いましたか。

III. Aspect of the - て form of a verb + おく／おきます

A. The - て form of a verb + おく basically means “do something for future use.”

- (例) 1. お客様が来るから, ケーキを買っておきました。
2. あしたテストがあるので, よく勉強しておきましょう。

B. This pattern also means “leave something as it is, or undone.”

- (例) 1. A: このノートパソコン, どうしましょうか。
B: そこにおいておいてください。
2. A: ルインさん, おこっているんですが……。
B: いまはそっとしておきましょう。

IV. Aspect of the - て form of a verb+しまう／しまいます

A. It indicates a completed action and means “finish doing something.”

- (例) 1.きのう借りた本はもう読んでしまいました。
2.この仕事は、6時までに終わってしまいました。

B. It indicates a speaker's unintentional action.

- (例) 1.教科書をわすれてきてしまいました。
2.とてもおいしかったので、食べすぎてしまいました。

C. The contracted form of the - て form of a verb+しまう is ちゃう or じゃう.

- (例) 1.もう食べちゃいました。
2.もう読んじやった。

V. Special usage of the perfective form

Besides the usage explained in Lesson 1, the perfective form is used to describe a speaker's mentality. It indicates

1. Recollection of some matters of which the speaker has once been informed

- (例) 1.あしたのパーティーは何時からでしたか。
2.わすれていました。来週の月曜日はテストがあったんです。
3.ルインさんは今年 35 才でしたよね。

2. Strong informal suggestion or request

- (例) 1.(お店の人が) さあ、買った、買った。
2.(おとながこどもに) さあ、帰った、帰った。

3. Realization of a speaker's expectation.

- (例) 1.(さがしていたものを見つけた時) あっ、この中にあった。
2.(さがしている人を見つけた時) トイレにいました。

練習

1. 用法練習

<1> 「～させていただきたいんですが」「～させていただけないでしょうか」

下のような場面で先生に許可をもらう表現を考え、練習しなさい。

1. 研究室のドアにポスターをはりたい
2. 研究室の電話を私用で使いたい
3. ゼミの話し合いがあるが、頭が痛いので先に帰りたい
4. 研究発表の資料をコピーしたい
5. パーティーで先生といっしょに写真をとりたい

ポスター		poster
はる		put on
私用	しよう	private use
ゼミ		seminar
話し合い	はなしあい	talk, discussion
発表	はっぴょう	presentation
資料	しりょう	material

<2> 「～でもいいでしょうか」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

(で) 猫をかう

[A…学生 B…大家さん アパートの部屋を見ながら話している]

⋮

A: ああ，そうですか。わかりました。あつ，それから，もうひとつ。

B: はい，何でしょうか。

A: あのう，ここで，猫をかってもいいでしょうか。

B: ああ，それは，ちょっと……。

A: そうですか。だめですか。

B: ええ。

1. ここでスペイン語を教える
2. ここでガスストーブを使う
3. ここに友だちを泊める
4. ここにかべ紙をはる
5. ここに棚をつける

猫	ねこ	cat
かう		keep, have
スペイン語	スペインご	Spanish
ガスストーブ		gas heater
泊める	とめる	let (someone) stay at
かべ紙	かべがみ	wallpaper
はる		put on
棚	たな	shelf
つける		make

<3> 「～でもいい」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

急がない

[A…学生（女性） B…学生（男性）]

A： これ，ちょっと，いい。

B： どうぞ。

A： ありがとう。すぐ返すから。

B： あ，急がなくてもいいよ。

A： ほんと。

B： うん。

1. きょうじゃない
2. 使っている
3. すぐじゃない
4. 持って帰る
5. いつだ

急ぐ	いそぐ	be in a hurry
すぐ		right away, at once
返す	かえす	return, give back
持って帰る	もってかえる	take (something) home

2. 談話練習

場面練習

次の会話を練習しなさい。

<1>A: きょうは、さむいですね。

B: ええ、ほんとうにさむいですね。

<2>A: きょうは、さむいですねえ。

B: ええ、ほんとうにさむいですねえ。

<3>A: ここでは、たばこはすえないんですね。

B: ええ。

A: じゃあ、ちょっとそとで……。

B: あ、どうぞ。

<4>A: ここでは、たばこはすえないんですねえ。

B: えっ、ほんとうですか。

A: うん。こまったなあ。

B: うーん。

練習

次の会話を練習しなさい。

<1> 1) A: きょうは、すいていますね。

B: ええ。ほんとにしずかですね。

A: ねえ。いつもこうだといいですね。

B: ねえ。

2) A: 日本語は、おもしろいね。

B: うん……。でも、むずかしいね。

A: うん、ちょっとね。

B: うん、とくに漢字が……。

A: ああ、漢字がね。

B: うん。

- 3) A: きのうの映画, よかったですね。
B: ええ, よかったですね。
A: あのしゅえんがとくによかったなあ。
B: ええ, それにえいぞうも……。
A: きれいでしたね。
B: ええ。もう一度見たいですね。
A: ねえ。

しゅえん	leading actor
えいぞう	photography in a movie

- <2> 1) A: こんでるねえ。
B: うわあ, すごい人ねえ。
A: いやになるねえ。
B: ねえ。
- 2) A: いいですねえ, この絵。
B: あ, ほんと。
A: ねえ。この青がねえ, とくに。
B: うん。
- 3) A: おそいですねえ。
B: ねえ。
A: もう, 30 分すぎていますねえ。
B: ええ。
A: いらいらしますねえ。
B: もうすぐ来ると思いますけど……。

いらいらする	be irritated
--------	--------------

- <3> 1) A: あの人は, お酒が飲めないんですね。
B: ええ。
A: じゃあ, ジュースかなにか買っておかなくちや。
B: そうですね。

2) A : 来週, またテストがあるんですね。

B : ええ。

A : じゃあ, こんどはがんばろう。

3) A : きのうの教室できょうもするんですね。

B : ええ。

A : じゃあ, さきに行っています。

B : あ, どうぞ。

<4> 1) A : あの人は, お酒は飲めないんですねえ。

B : えっ, あの人が。

A : ええ。

B : 飲めそうなのにね。

A : ねえ。

2) A : 来週またテストがあるんですねえ。

B : うん。いやですねえ。

A : ねえ。なんにも勉強していないし……。

B : うん。

3) A : きのうの教室できょうもするんですねえ。

B : えっ。どうして。

A : うーん。ちょっと小さすぎるんじゃないかなあ。

B : そうねえ。

3. 文法練習

<1> “Noun - が／は Noun - に Adjective” の練習 (I - B - 2 - b)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

中村さん，数学，強い

A： 中村さんは，本当に数学に強いですね。

B： そうですねえ。

- | | | |
|-------------|--------|------|
| 1. アリスさん | 映画 | くわしい |
| 2. ストレス | 体 | よくない |
| 3. 和田先生 | お子さん | 甘い |
| 4. くりかえしの練習 | ことばの勉強 | 必要だ |
| 5. テレビの見すぎ | 目 | 悪い |

中村	なかむら	(family name)
数学	すうがく	mathematics
くわしい		know well (lit. detailed)
体	からだ	health
甘い	あまい	(be) easy on
くりかえし		repetition
必要な	ひつような	necessary
見すぎ	みすぎ	watching too much

<2> “The - て form of a verb + おく” の練習 (Ⅲ)

(a) 会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

レジメ (を) コピーする，する

[A…B の先輩 (女性) B…学生]

A： レジメ，コピーしてあったかしら。

B： あ，さっきしておきました。

A： わあ，ありがとう。

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 辞書 (を) 注文する | 注文する |
| 2. ストーブ (を) つける | つける |
| 3. 部屋 (を) かたづける | かたづける |

4. 切符（を）たのむ たのむ
5. 教室の机（を）並べる 並べる

かたづける		straighten up, clean
ストーブ		heater
たのむ		ask for
並べる	ならべる	put in order

(b) () の中の動詞を「～ておく」の形にして下線のところに入れなさい。

1. (連絡する)

A: スケジュール, 変わったこと, みんな知ってる。

B: さあ。でもあとでわたしから_____わ。

2. (する)

A: これ, かたづける。

B: ううん, あとで使うから, そのままに_____て。

3. (おく)

A: このメロン, まだちょっと早いかな。

B: もう少し_____たらどう。

4. (飲む)

A: ああ, 食べすぎちゃった。

B: 薬, _____たほうがいいんじゃない。

5. (予習する)

A: きょう, テレビで「釣りバカ日誌」やるよ。

B: へえ。じゃ, 今のうちに_____こう。

連絡する	れんらくする	tell, inform
おく		leave (as it is)
釣りバカ日誌	つりばかにつし	(title of a movie)
今のうちに	いまのうちに	now, before something happens

<3> “The - て form of a verb+しまう” の練習 (IV)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

(a) 車（を）ぶつける

[A… 女性 B…男性]

A: どうしたの，そんな顔して。頭でも痛いのだ。

B: ううん。車，ぶつけちゃったんだ。

A: あーあ。

1. 自転車（を）とられる
2. 大事なデータ（を）消す
3. 部屋のかぎ（を）おとす
4. アリスさんにもらった腕時計（が）こわれる
5. このあいだ買ったカメラ（を）なくす

そんな顔する	そんなかおする	make such a face
ぶつける		bump into (something)
とる		steal
大事なデータ	だいじなデータ	precious data
消す	けす	destroy
おとす		lose, drop
腕時計	うでどけい	wristwatch
こわれる		be broken
なくす		lose

(b) 中村さん（が）きょうもまた遅刻した，あきれる

[A… 女性 B…女性]

A: ねえ，聞いた。

B: え，なに。

A: 中村さん，きょうもまた遅刻したんだって。

B: えっ。あきれちゃうわね。

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. バス代（が）あがる | いやになる |
| 2. あしたのピクニック（が）急に中止になった | がっかりする |
| 3. 奨学金（が）おくれる | 困る |
| 4. 中村さん（が）1年で100万円もためた | びっくりする |
| 5. ルインさん（が）国へ帰る | さびしくなる |

遅刻する	ちこくする	be late
あきれる		be speechless
バス代	バスだい	bus fare
いやな		dislike
ピクニック		picnic
急に	きゅうに	suddenly
中止になる	ちゅうしになる	be called off
奨学金	しょうがくきん	scholarship
ためる		save
びっくりする		be surprised
さびしい		lonesome (lit. miss someone)

<4> “Usage of the perfective form” の練習 (V - 1)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

試験，来週の月曜日からだ，15 日からだ

[A… 女性 B…男性]

A： ね，ルインさん。

B： うん。

A： 試験は来週の月曜日からだった。

B： さあ……。たしか，15 日からだったと思うけど。

A： あっ，そう。

B： うん。

- | | |
|------------------|----------|
| 1. あの人，インドネシアの人だ | マレーシアの人だ |
| 2. 安田研究室の内線，何番だ | 1495 だ |
| 3. カーリンさん，今日来るんだ | あしただ |
| 4. レポート，金曜日に出すんだ | 今週中だ |
| 5. これ，どうやって入れるんだ | こうだ |

試験	しけん	examination
内線	ないせん	extension
(レポートを) 出す	(レポートを) だす	hand in (a paper), submit (a paper)
今週	こんしゅう	this week
入れる	いれる	put in, insert

第 5 課

ことづける

○失礼すると，お伝えいたきたいんですが。

○おことづけをお願いしたいんですが……。

会 話

会話 1 事務室で

バンバン： あもう、すみません。こちらに佐々木先生いらっしゃいませんか。

事務の人： 今いらっしゃいませんけど。

バンバン： あ、そうですか。あもう、じつは、きょう 4 時からのゼミにわたしも出るように言われていたんですが。

事務の人： はあ。

バンバン： 急に用事ができて、出られなくなりましたので、失礼するとお伝えいただきたいんですが。

事務の人： はい。ゼミに欠席するということですね。

バンバン： はい。

事務の人： わかりました。お伝えします。

バンバン： お願いします。

失礼します。

会話 2 電話で

田村： バンバンの友だち

田村： 田村でございます。

バンバン： もしもし。あのう、洋さんと同じ研究室のバンバンと申しますが、洋さん、いらっしゃいますか。

田村： あ、今ちょっと出かけておりますが……。

バンバン： あ、そうですか。じゃ、おことづけをお願いしたいんですが……。

田村： はい、どうぞ。

バンバン： あのう、あした1時からゼミの打ち合わせをすることになって⁽¹⁾いたんですが、10時からになったとお伝えいただきたいんですが。

田村： はい。ゼミの打ちあわせが10時になったということですね。

バンバン： はい。

田村： わかりました。伝えておきます。

バンバン： すみません。じゃ、よろしくお願いします。

田村： はい。

バンバン： 失礼します。

田村： ごめんください。

会話ノート

1. Vocabulary list

ことづける	leave a message, (ask someone to) give a message to someone
-------	---

<会話 1>

事務室	じむしつ	administration office
ゼミ		seminar
出る	でる	attend
急に	きゅうに	suddenly, unexpectedly
用事	ようじ	business, something to do
失礼する	しつれいする	be absent
伝える	つたえる	tell, convey
欠席する	けっせきする	be absent

<会話 2>

田村	たむら	(family name)
洋	ひろし	(first name)
出かける	でかける	go out
出かけている	でかけている	be out
ことづけ		message
打ち合わせ	うちあわせ	meeting to make arrangements

2. Expression

(1) Non-polite imperfective form of a verb + ことになっていた

The set phrase means “it had been decided that ～,” or “it had been scheduled that ～.”

3. Aspects of the discourse

「よ」と「よね」について

「よ」

- (例) A: あした、ボーリングに行かない。
B: うん、そうね。あつ、あしたは水曜日だよ。
A: あ、そうだ。やすみだ。

よ is often used to give someone information he/she should know.

- (例) A: きょうのテスト、あまりむずかしくなかったね。
B: そんなことないよ。むずかしかったよ。
A: そう。

よ is also used to indicate the speaker's conviction or assertion about something that is assumed to be known only to him/her.

It would be better to avoid using よ when speaking to superiors, and to avoid overusing よ even when speaking to friends, since the speakers overusing よ might strike others as an aggressive, patronizing speaker.

However, よ used to encourage the listener by denying his/her uneasiness or his/her lack of confidence might promote good relations with the listener, as follows :

- (例) A: 日本語がぜんぜんうまにならないな。
B: そんなことないよ。

In this usage also, よ should not be used too much when speaking to superiors.

「よね」

- (例) A: ぎんこうのやすみは土曜日ですよね。
B: ええ、そうです。
A: じゃあ、あさってにしよう。

よね means “I assert that……, but don't you agree?／am I right?” ね is pronounced with rising intonation. よね is used when the speaker wants to soften the force of his/her assertion by talking as if the content of his/her statement were also known to the listener.

- (例) A: ぎんこうのやすみはいつでした。
 B: ええと、土曜日ですよ、ねえ山田さん。
 C: ええ、そうです。

よ, ね (え) can also be used when the speaker is addressing someone who does not know about the fact he/she asserted and there is another person nearby who is assumed to know it.

The following chart shows the use of f in informal male and female speech.

Male	Female
行くよ	いくわよ
言ったよ	いったわよ
いいよ	いいわよ
よかったよ	よかったわよ
きれいだよ	きれい (だわ) よ
きれいだったよ	きれいだったわよ
学生だよ	学生 (だわ) よ
学生だったよ	学生だったわよ
行くだよ	いくのよ
言ったんだよ	いったのよ
いいんだよ	いいのよ
よかったんだよ	よかったのよ
きれいなんだよ	きれいなよ
きれいだったんだよ	きれいだったのよ
学生なんだよ	学生なのよ
学生だったんだよ	学生だったのよ

文 法

I . Types of sentences

A. Imperative sentences

There are some sentences in Japanese which show that the speaker orders, commands or requests the hearer to do something.

1. The imperative form of the verb can be used when the speaker orders someone to do something. The formation is as follows.

Group 1 verbs	Group 2 verbs	Irregular verbs
見る — みろ／みよ	聞く — きけ	来る — こい
いる — いろ／いよ	行く — いけ	する — しろ／せよ
起きる — おきろ／おきよ	帰る — かえれ	
降りる — おりろ／おりよ	あそぶ — あそべ	

The following are imperative sentences.

- (例) 1. やる前によく考えろ。
2. 授業におくれないようにしろ。

2. The negative imperative form of a verb can be made by adding “な” to the dictionary form of the verb.

- (例) 1. ここにごみをすてるな。
2. 窓からかおを出すな。

3. These forms are used, only when talking with very close friends, or when giving a command. So they should not be used to talk to superiors. But they are often used in the quoted part of a sentence.

- (例) 1. はやく起きろと言われました。
2. この部屋でたばこをすうなと言われました。

They are often used in giving directions.

- (例) 1. () の中に助詞（じょし：particle）を入れよ。
2. 次の文のまちがいをなおせ。

B. Request sentences

Since the imperative expressions are so direct, request forms are often used instead in daily conversation.

1. The - て form of a verb + ください is the form used most often.

- (例) 1. 名前はローマ字で書いてください。
2. このボタンを押してください。

2. Negative requests are as follows.

- (例) 1. ここにかばんをおかないでください。
2. 英語で話さないでください。

3. There are some other ways of expressing requests which vary according to the degree of politeness and formality.

Non-polite form	Polite form
書いて	書いてください
書いてくれ	書いてくれませんか
書いてくれない	書いてもらえませんか
書いてもらえない	書いてくださいますか
	書いてくださいますか
	書いていただけませんか
	書いていただけないでしょうか

4. お + verb base + ください

This expression is used to ask an unspecified person or unfamiliar person to do something.

- (例) 1. どうぞご自由にお持ちください。
2. おかけになってお待ちください。

C. Suggestions

1. The following sentences are used when suggesting that someone do something.

- (例) 1. そろそろ出かけましょうか。
2. 食事に行きましょうか。

2. The following are the non-polite forms of the examples given in “1.”

- (例) 1. そろそろ出かけようか。
2. 食事に行こうか。

The formation is as follows.

Group 1 verbs	Group 2 verbs	Irregular verbs
見る — みよう	聞く — きこう	来る — こよう
いる — いよう	行く — いこう	する — しよう
起きる — おきよう	帰る — かえろう	
降りる — おりよう	あそぶ — あそぼう	

II. Indirect speech

Indirect speech is a nominal clause which is embedded in a sentence and functions as a modifier of the verb. It is made up of :

- 1) what one thinks or has thought
- 2) what one has heard from someone else
- 3) what one has learned by reading or observation

A. Indirect declarative sentences

A declarative statement embedded in a sentence precedes the main or final verb of the sentence, and is indicated by the particle と. The verb used in an embedded sentence, in most cases, takes the non-polite form.

- (例) 1. とてもむずかしいと思います。
2. 中村さんはもう帰っただろうと思います。
3. あしたもう一度電話すると言っていました。
4. 何もわからないと書いてありました。

B. Indirect interrogative sentences

A question embedded in a sentence also precedes the main or final verb of the sentence. An interrogative sentence with a question word is indicated by the particle か, and the interrogative sentence without a question word by かどうか.

- (例) 1. どこへ行ったかわかりません。
2. アリスさんが話したかどうかわかりません。
3. 何が悪かったか聞いてみてください。
4. おいしいかどうか確かめました。

か is followed by the particle と which indicates an indirect declarative sentence.

- (例) 1. どこへ行ったのかと思いました。
2. 病気なのかと言われました。
3. むずかしくないかと聞かれました。

C. Indirect imperative sentences

An imperative embedded in a sentence also precedes the main or final verb of the sentence. It ends with :

1. imperative form of a verb + と
2. non-polite imperfective form of a verb + ように.

For example, when someone was told “来てください,” and he/she tells this to someone else, he/she says :

1. 来いと言われました。
 2. 来るように言われました。
- (例) 1. 午後 3 時に始めるように言われました。
2. もっと勉強しろと言いました。
3. がんばれと言ってやりました。

III. Structure of a noun phrase (3) : Number (numeral+counter) +の+noun

A. Numerals

We have two types of numerals : Type A and Type B. Type A numerals are of Chinese origin and Type B are of Japanese origin.

B. Numbers

Numbers are shown by a numeral + a counter like - まい, - さつ, - こ, etc.

A number precedes the noun it modifies. But when a noun phrase composed of “ a number+の+noun” is followed by the particle が or を, the number comes after noun - が or noun - を.

[Number の Noun - が Verb] → [Noun - が Number Verb]

[Number の Noun - を Verb] → [Noun - を Number Verb]

- (例) 1. 3 さつの本を読みました。 → 本を 3 さつ読みました。
2. 5 人の学生が来ました。 → 学生が 5 人来ました。

The sentences on the left side of the arrow are grammatically correct, but the sentences on the right side sound more natural. However an attributive number does not move from its original position.

- (例) 1. 200 ページの本を読みました。(The book itself has 200 pages.)
2. 200 グラムの肉を食べました。(A 200 gram piece of meat)

練習

1. 用法練習

<1>「お伝えいたきたいんですが」

会話の下線のある部分を、下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

電話があった

[A…カーリン（女性） B…山田研究室の人（女性）]

A: もしもし。

B: はい。

A: わたし、カーリンと申しますが、山田先生いらっしゃいますか。

B: ああ、今ちょっと……。

A: あ、そうですか。では、すみませんが、

B: はい。

A: 電話があったとお伝えいたきたいんですが。

B: はい、わかりました。カーリンさんでしたね。

A: はい。よろしく願いいたします。

B: はい。

1. あしたはよろしく
2. あとでもう一度お電話する
3. あしたの朝お宅へうかがう
4. お約束の時間に少しおくれそうだ
5. カーリンがお目にかかりたいと言っていた

電話がある	でんわがある	there is a phone call
よろしく		(In this case よろしく means “Thank you in advance.”)
うかがう		visit
約束	やくそく	appointment
お目にかかる	おめにかかる	meet

<2> 「伝えてくださいますか」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

今日中に電話してほしい，今日中に電話してくれ

[A…女性 B…A の先輩 (男性)]

A: あっ，先輩。

B: うん，何。

A: 山口さんに，ことづけ，お願いできますか。

B: あ，いいよ。

A: あの，今日中に電話してほしいって伝えてくださいますか。

B: あ，そう。今日中に電話してくれってことね。

A: ええ，よろしくお願いします。

B: O.K.

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 旅行は 20 日からに決まった | 旅行は 20 日からだ |
| 2. さがしていた本が見つかった | 本があった |
| 3. 4 時までには行けないかもしれない | ちょっとおくれる |
| 4. 熱があるからゼミには出られない | きょうはもう帰る |
| 5. 図書館に先に行っている | 図書館にいる |

今日中	きょうじゅう	(within) today
電話してほしい	でんわしてほしい	want (someone) to call
決まる	きまる	be decided
見つかる	みつかる	be found
熱	ねつ	fever

<3> 「言っというて」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

パーティーに少しおくれるかもしれない

[A…女性 B…男性]

A: ルインさん，いる。

B: ううん。

A: 悪いんだけど，ルインさんが来たらね，

B: うん。

A: パーティーに少しおくれるかもしれないって言っというて。

B: あ，いいよ。

A: よろしく。

B: うん。

1. あしたはやっぱりだめだ
2. たのまれたのはまだできてない
3. 生協のバーゲンはまだ終わっちゃった
4. 先に行ってる
5. コンパのことは中村さんに話しといた

悪いんだけど	～わるいんだけど	～I'm sorry to ask you, but～
～かもしれない		may ～
言っというて	いっというて	tell (someone) in advance
たのむ		ask
まだ～ない		not ～ yet
できる		be ready
生協	せいきょう	co-op
バーゲン		bargain sale
先に	さきに	ahead (of ～)
コンパ		party (lit. company)

<4>場面適用練習

下の 1～5 の場面で、用件を伝えたい相手がいません。ことづける練習をなさ
い。

1. おなかが痛くて大学に行けない。電話で安田先生にたのんで、和田先生に伝えてもら
う。
2. おなかが痛くて大学に行けない。電話で友だちにたのんで、和田先生に伝えてもら
う。
3. ルインさんと 4 時に会う約束をしたが、3 時半にかえたい。アリスさんにたのんで、
伝えてもらう。
4. 和田先生の研究室に本を借りに行った。先輩の佐藤さんがいた。
5. パーティーのことで、ルインさんに電話をした。電話にでた人にことづけをたのん
だ。

伝える	つたえる	tell
約束	やくそく	appointment
借りる	かりる	borrow
電話に出る	でんわにでる	answer the phone

2. 談話練習

場面練習

次の会話を練習しなさい。

<1>A: これ, おいしいですよ。ひとつどうぞ。

B: はい。いただきます。

<2>A: こんなもの, おめしあがりにならないでしょうね。

B: いいえ, 好きですよ。

A: あ, じゃあ, どうぞ。

<3>A: たばこ, すったでしょう。

B: いいえ。すいませんよ。

<4>A: ええと, きノウ, ここを出たのは, 6時, 過ぎてましたよね。

B: ええ, そうでしたね。

<5>A: あの店, しずかでいいですね。

B: ええ。このあいだ行ったときは, けっこううるさかったですよ。ねえ, 山田さん。

C: そうでしたね。

練習

次の会話を練習しなさい。

<1>1) A: きノウ, 映画に行ったんですって。

B: ええ。なかなかよかったですよ。

A: ああ, そうですか。

2) A: うちあわせはあしたにしよう。

B: えっ, あしたは日曜日ですよ。

<2>1) A: 鈴木さんはマンガなんて読まないでしょう。

B: いいえ, よく読みますよ。

2) A: 山田さんはお酒なんか飲まないだろうね。

B: そう見える。

A: うん。

B: そんなことないわよ。飲むわよ。

<3> 1) A: お酒，飲んできたでしょう。

B: とんでもない。飲んでなんかいませんよ。

2) A: ゆうべ，練習してこなかったでしょう。

B: いいえ，そんなことはありません。ちゃんとやりましたよ。

<4> 1) A: あの人，なかなかしんせつですよ。

B: ええ，そうですね。

2) A: こんど出た SMAP のしんきょく，けっこういいよね。

B: うん。そうね。

SMAP

(name of a pop group)

しんきょく

new song

<5> 1) A: たばこぐらいすわせてよ。

B: すいたい人はそとですうべきよ。ねえ，おにいさん。

C: そうだよ。

2) A: このあじ，ちょっとへんじゃない。

B: そうかなあ。そんなことないよ。ねえ。

C: うーん。そう言えば，わたしもちょっと……。

あじ

taste

3. 文法練習

<1> “Imperative sentences” の練習 (I - A)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 のことばにかえて練習しなさい。

飲む

[A…男性 B…女性]

A: どうぞ，飲んでくださいって言われた時ね。

B: うん。

A: 困ることない。

B: うーん。

A: いくら，飲め，飲め，って言われても，飲みたくない時もあるし。

B: そうねえ，でも，そんな時なんて言うの。

A: うーん。むずかしいよねえ。

1. 歌う
2. 食べる
3. 話す
4. 寄る
5. 来る (行く)

歌う

うたう

sing

寄る

よる

drop in, stop by

<2> “Indirect interrogative sentences” の練習 (Ⅱ - B)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

あしたのゼミに出る

[A…女性 B…男性]

A: レポートのしめきりいつだった。

B: さあ，ぼくもはっきりとは……。

A: じゃ，ルインさんに聞いてみるわ。

B: うん。あつ，そうだ。

A: なに。

B: ついでにあしたのゼミに出るかどうか聞いといて。

A: いいわよ。

1. アリスさんに電話したか
2. ゼミの資料（を）もらったか
3. 日曜日（は）どうするか
4. いつからコンピューターが使えるか
5. コンパ（は）どこでやることになったか

しめきり

deadline

はっきりと

clearly, definitely

ついでに

at that time

コンパ

student party (lit. company)

<3> 語形練習

例にならって動詞の形を練習しなさい。

例：食べる たべろ たべるな たべよう たべて たべないで

聞く

来る

会う

する

読む

行く

呼ぶ

買う

見る

死ぬ

取る

使う

作る

通る

習う

いる (be)

貸す

切る

変える

言う

借りる

着る

帰る

待つ

返す

第 6 課

たのまれたことを伝える

○安田先生にこの間の調査の結果，出たかどうか聞いてくるよう
に言われたんですが……。

○佐々木先生がね，今晚うちに電話してくれっておっしゃってた
よ。

会 話

会話 1 佐藤先生の研究室で

アリス： あのう、佐藤先生いらっしゃいますか。

佐藤： はい。あ、アリスさん。どうぞ。

アリス： はい。

先生、あの、安田先生にこの間の調査の結果、出たかどうか聞いてくるように
言われたんですが……。

佐藤： ああ、あれね。出ていますよ。そこのつくえの上に置いてありますよ。

アリス： あ、そうですか。じゃ、いただいています。

佐藤： どうぞ。

アリス： これですね。

佐藤： え、そうです。

アリス： どうもありがとうございました。

会話 2 研究室で

田村： バンバンの友だち。他の大学での共同実験からもどってきた。

田村： あーあ，つかれた。

バンバン： どうだった。

田村： うーん，長びいちゃってね。なかなか思うような結果が出なくて……。

バンバン： 大変だね。お茶でもいれようか。

田村： ありがとう。

バンバン： あ，佐々木先生がね。

田村： うん。

バンバン： 今晚うちに電話してくれっておっしゃってたよ。

田村： あ，そう。

バンバン： それから，東都大学とやる共同研究ね，あれ，引き受けることにしたって。

田村： へえ，またいそがしくなるなあ。

バンバン： でも，今度のはおもしろそうだね。

田村： まあね。

会話ノート

1. Vocabulary list

<会話 1>

調査	ちょうさ	survey, investigation
結果	けっか	result
結果が出る	けっかがでる	obtain the result, get the result

<会話 2>

共同	きょうどう	joint
実験	じっけん	experiment
もどる		return, come back
つかれる		get tired
長びく	ながびく	take time
～ちゃう		(「～てしまう」の contracted form)
思うような	おもうような	as (we) wanted (See “Expression (1)”)
(お) 茶	(お) ちゃ	tea
お茶をいれる	おちゃをいれる	make tea
東都大学	とうとだいがく	(name of a university)
引き受ける	ひきうける	accept

2. Expression

(1) ～よう (as ～, as ～ as, something like ～)

～よう introduced here is used when telling something in a roundabout way or expressing something indirectly to make it sound softer.

3. Aspects of the discourse

非直接的表現（ひちよくせつてきひょうげん）（1）

「そうですね」

（例）A： この論文， どうでしたか。

B： そうですね。とてもわかりやすく， おもしろかったです。

A： ああ， そうですか。

When one is urged to state his/her opinion, he/she does not immediately start stating it, but shows hesitation, as B did in saying *そうですね*. Even when one feels quite definite about his/her opinion, one may start with *そうですね*. *そうですね* means “That's right,” but when used in the above-mentioned situation, rather than indicating agreement, it shows hesitation, and thus reserve. In this usage it should be said with dangling intonation as in

so
o ne
de su e--.

This expression is also used in familiar conversation or by seniors toward juniors, but in the form *そうだね* (male) or *そうね* (male or female) instead of *そうですね*.

「さあ」

（例）A： どちらの辞書がつかいやすいですか。

B： さあ……， よくわかりませんが， こちらのほうがわたしにはつかいやすいですね。

A： ああ， そうですか。

さあ is also used when giving one's opinion. This is very often used with such expressions as *わかりません* or *しりません* to show one's reserve about expressing an opinion. When used in this way, *さあ……* is pronounced with a low tone and dangling intonation.

さあ is slightly different from そうですね, さあ…… is used to imply negation, so さあ…… actually conveys the meaning “I’m afraid I don’t have any idea,” or “I’m not sure of my opinion.” On the other hand, そうですね conveys the meaning “Let me think,” or “Let me see.”

「あのう」

あのう…… is used not only when stating one’s opinion, but also when addressing someone, making a request, etc. あのう…… has three functions as follow : (1) as a signal to start a conversation, (2) as a stop-gap phrase when looking for the proper words, and (3) to indicate hesitancy about troubling someone. In polite speech, あのう…… should be pronounced slowly to show hesitancy.

ええと also has three functions as follows : (1) as a signal to start a conversation, (2) as a stop-gap phrase to indicate that the speaker is still thinking, and (3) as a sign to indicate that the speaker is trying to recollect or to count something. As regards functions (1) and (2) , あのう and ええと can be used interchangeably. ええと, however, can’t be used to indicate the speaker’s hesitancy about troubling someone as in function (3) above. In addition, あのう is not used when the speaker is attempting to recollect or to count something.

(例) A : こんどのテストいつだった。

 B : ええと…… (×あのう……) 来週の金曜日だったと思うけど。

 A : ああ, そう。

文 法

I . Verbs of giving and receiving

As introduced in the previous book (C. M. J. II) , there are three types of verbs of giving and receiving in Japanese : あげる, くれる and もらう .

The differences in usage among these three are decided from the viewpoint of who receives or received something from whom.

- A. When a giver is the first person and a receiver is the second or third person, あげる is used.

- (例) 1. 子供に切手をあげました。
2. これ, 友だちにあげてもいいでしょうか。

When a speaker asks a hearer about the hearer's action of giving someone something, あげる is also used.

- (例) 1. あのコンサートの切符, だれにあげたんですか。
2. アリスさんにあげた本って, 何でしたか。

- B. When a giver is the second or third person and a receiver is the first person, くれる or もらう is used in the following sentence patterns.

[Giver - が Receiver - に くれる]

[Receiver - が Giver - に もらう]

- (例) 1. 友だちがくれた辞書を使っています。
2. 友だちに辞書をもらいました。

When a speaker asks a hearer about the hearer's action of receiving something from someone else, the same verbs are used in the same patterns as mentioned above.

- (例) 1. (あなたは) 中村さんにコピーをもらいましたか。
2. その時計は山田さんが (あなたに) くれたんですか。

C. When a speaker talks about a third person giving something to or receiving something from someone else, あげる or もらう is used as in the following patterns.

〔Giver - が Receiver - に あげる〕

〔Receiver - が Giver - に もらう〕

- (例) 1. 山田さんはアリスさんにケーキをあげたそうです。
2. この本は和田さんがバンバンさんにあげたものです。
3. ルインさんは中村さんにこの手紙をもらったんですか。

In addition, when a receiver is a member of the speaker's group, the patterns mentioned in “B” are used.

- (例) 1. 中村さんはおとうとにチョコレートをくれました。
2. いもうとはアリスさんにペンをもらいました。
3. よく知らない人がルインさんにてがみをくれたそうです。

D. あげる, くれる and もらう have their polite forms. When the giver is a superior, くれる and もらう should be changed to くださる and いただく, respectively. When the receiver is a superior, あげる should be changed to さしあげる. Also あげる can be changed to やる, when the receiver is an inferior or a plant or an animal.

- (例) 1. きょう, 先生が辞書をくださいました。
2. となりのおくさんにケーキをいただきました。
3. 国から送ってきたおかしを大家さんにさしあげました。
4. 毎朝, 花に水をやります。

II. The - て form of a verb + auxiliary verb “もらう,” “くれる” and “あげる”

あげる, もらう or くれる are used as auxiliary verbs preceded by the - て form of verbs. This pattern is used to describe “do someone a favor by doing something” or “receive some benefit from someone's action.” The difference in usage among あげる, もらう and くれる is the same as explained above.

- A. When a benefactor is the first person and the recipient is a second or third person who is equal to the hearer, ～てあげる is used.

〔Benefactor - が Recipient - に V - て あげる〕

- (例) 1. 山田さんに本をかしてあげました。
2. きのうルインさんのおくさんにセーターを買ってあげました。

- B. When a benefactor is a second or third person and the recipient is the first person, ～てくれる or ～てもらう is used in the following sentence pattern.

〔Benefactor - が Recipient - に V - てくれる〕

〔Recipient - が Benefactor - に V - てもらう〕

- (例) 1. 山田さんが本をかしてくれました。
2. 山田さんに本をかしてもらいました。

- C. When a speaker talks about a third person, ～てあげる or ～てもらう is used as in the following patterns.

〔Benefactor - が Recipient - に V - てあげる〕

〔Recipient - が Benefactor - に V - てもらう〕

- (例) 1. 山田さんがアリスさんに手紙を書いてあげたそうです。
2. アリスさんが山田さんに手紙を書いてもらったそうです。

In addition, when a recipient is a member of the speaker's family or group, the patterns mentioned in “B” are used.

- (例) 1. 山田さんがおとうとにテニスのやり方を教えてくれました。
2. おとうとが山田さんにテニスのやり方を教えてもらいました。

- D. ～てあげる, ～てくれる and ～てもらう have their polite forms. When a benefactor is a superior, ～てくれる and ～てもらう should be changed to ～てくださる and ～ていただく, respectively.

- (例) 1. 先生が本をかしてくださいました。
2. 先生に本をかしていただきました。

When the person who receives benefit is a superior, ～てあげる can be changed to ～てさしあげる. But when the benefactor is the speaker himself/herself, using ～てさしあげる should not be used. It would be better to use a humble form “お+verb base+する”

- (例) 1. 山田さんが先生に写真を見せてさしあげました。
2. 先生に写真をお見せしました。

III. Structure of a noun phrase (4) : Rentaishi (nominal) + noun

Rentaishi is an uninflected word which always precedes the noun that it modifies.

1. この 本	this book
その	that
あの	that ～ over there,
どの	which
2. こんな 時	this kind of occasion
そんな	the kind of ～which has been talked about
あんな	that kind of
どんな	what kind of
3. ある 日	one day
来たる (きたる) 8 月 15 日	coming August 15th (lit.)
去る (さる) 6 月	last June
4. 各人 (かくじん)	each person
本人 (ほんにん)	the person oneself
5. たった 1 つ	only one
ほんの 少し	just a little bit
あらゆる 人びと	all the people, everybody

IV. Aspects of the - て form of a verb+くる and いく

A. “The - て form of a verb+くる” means “come to be” or “come about.”

- (例) 1. 雨が降ってきました。
2. 日本語が話せるようになってきました。

3. 9月にはすずしくなってきます。

B. “The - て form of a verb+くる” is also used to express the continuation of an action from the past to the present.

- (例) 1. いろいろ話してきましたが、これで終わります。
2. 2年間勉強してきましたが、まだよくわかりません。
3. いろいろなところを見てきましたが、ここが一番いいです。

C. “The - て form of a verb+いく” is used to express the continuation of a state or an action from now on.

- (例) 1. これからもっと勉強していくつもりです。
2. もっと暑くなっていくだろうと思います。
3. これからはひとりでがんばっていこうと思います。

練習

1. 用法練習

<1> 「～ていただけないかとおっしゃっていました」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

(に) 少し早く来る

[A…学生 B…和田先生 (男性)]

A: 和田先生。

B: うん。

A: あのう，さっき，本田先生がいらして，

B: うん。

A: できれば，あしたの会議に少し早く来ていただけないかとおっしゃってました。

B: ああ，そう。わかった。どうもありがとうございます。

A: いいえ。

1. あしたの会議にかわりに入る
2. あしたの会議に資料を持ってくる
3. あしたの会議で旅行について話をする
4. あしたの会議で今度の計画を説明する
5. あしたの会議をあさってにする

できれば

if possible

会議

かいぎ

conference, meeting

(～ の) かわりに

instead of～

出る でる

attend

資料

しりょう

materials

あさって

the day after tomorrow

<2> 「～ように言われたんですが」

会話 A を聞いて，例の会話 B のような会話を作りなさい。

例 [木下はローラの先輩，木下と中山は友だち]

(会話 A) 木 下: ローラさん，悪いけど中山君とこのノートパソコン借りてきてくれない。

ローラ: はい。

(会話 B) ローラ： あのう、木下さんにノートパソコンを借りてくるように言われたんですが。

中山： あ、そう。となりの部屋の棚にあるから、持ってって。

ローラ： はい。じゃ、お借りします。

中山： はい。

悪いけど	わるいけど	I'm sorry to bother you, but～
君	くん	Mr. (usually used by superiors)
借りる	かりる	borrow
棚	たな	shelf

<3> 「～てって」

会話の下線の部分を、下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

辞書（を）返す

[A…学生（女性） B…ルイン]

A： ルインさん。

B： うん。

A： アリスさんがね、辞書返してって。

B： えっ、何のことかなあ。

A： さあ、そう言ってくれってたのまleただけだから……。

B： そう。じゃ、電話してみるよ。

1. たのんだ本（を）早く持ってくる
2. 人数（を）数える
3. 使ったものはもとにもどす
4. 来られないときは電話する
5. だまって持っていかない

人数	にんずう	number of people
もと		place where something was before
もどす		put (something) back
だまって		without asking (telling)

2. 談話練習

場面練習

次の会話を練習しなさい。

<1>A： あの人のかんがえ， どう思いますか。

B： そうですねえ。わたしはちょっと……。

A： あ， そうですか。ほかの人はどうでしょうか。

B： さあ……。

<2>A： あのう，

B： はい。

A： さっきおっしゃったことなんですけど……。

B： はい。

A： あのう， ……わたしにはむずかしすぎて……。

B： ああ， そうですか。

A： ええ， それで， あのう， もう一度説明していただけないでしょうか。

B： はい， わかりました。

<3>A： あの人のかんがえ， どう思いますか。

B： そうですね。あのう， なかなかおもしろいと思うんですけど……。

A： ええ。

B： りろんとげんじつはちがいますから……。

A： あ， そうですか。

りろん

theory

げんじつ

reality

<4>A： 先週ゼミで話したのはだれだった。

B： ええと， たしか……山田さんだったと思います。

A： あ， そうでしたね。

B： ええ。

練習

<1>次の下線(かせん)のところに、まず「そうですね」、を入れて練習し、次に「さあ」を入れて練習しなさい。

1. A: このはこのなかみ, なんだと思います。
B: _____, ちょっと, わかりませんねえ。
2. A: そのコンピューターは, つかいやすいですか。
B: _____, ちょっとつかってみないと……。
3. A: 山田さんは, どうしてきょう来なかったんでしょう。
B: _____, なぜでしょうねえ。

かせん

underline

なかみ

content

<2>次の会話を練習しなさい。

1. A: あのう, ちょっとすみませんが……。
B: はい, 为什么呢。
A: あのう, このへんに病院はないでしょうか。
B: さあ, わたしもこのへんはよく知らないんですよ。
A: あ, そうですか。
B: すみません。
2. A: あ, いま 2 時ですね。いそげば 2 時 20 分の電車にまにあいますから, しつれい。
B: あのう……,
A: はい, なにか。
B: あのう……, あの時計, こわれてるんですけど。
A: はあ。

<3>次の会話を練習しなさい。

1. A: あの人の名前, なんていいました。
B: ええと, たしか……やま……。
A: そう, 山下さん。
B: うん。
2. A: これ, ぜんぶでいくらですか。
B: ええと, ちょっとまってください。けいさんしますから, ええと……4500
円になります。

けいさんする

sum up

<4>次の下線のところに「そうですね」・「さあ」・「あのう」・「ええと」のどれかを入れて練習しなさい。

1. A: _____, ちょっといいですか。
B: はい。
A: この絵は, どこにかけましょうか。
B: _____, このへやじゃ, せますぎますね。
A: ここよりひろいのは_____, 12番と21番でしたねえ。
B: ええ。でも, どちらももう絵はかけてありますよ。
A: そうですか。
B: ええ, ……_____, わたしのへやにはなにもないんですけど。
A: あっ, じゃあ, そこにしましょうよ。
B: はい。

絵をかける

えをかける

put a picture on the wall

せまい

not spacious

2. A: このことについては山下さんは, どうおかんがえですか。
B: _____, わたしにはちょっとむずかしすぎますねえ。
A: そうですか。ほかのみなさんはどうでしょうか。
B: _____, どうでしょうねえ。

3. 文法練習

<1> “Verbs of giving and receiving” の練習 (I)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

カーリンさん

[A…学生 (女性) B…学生 (女性)]

A: それ，いいわね。どこで買ったの。

B: これ，買ったんじゃなくて，もらったの。

A: ふうん。だれに。

B: カーリンさんに。

A: そう。

1. 母
2. おとうと
3. 中村さん
4. クラブの後輩
5. 国の友だち

クラブ

club for student activity

後輩

こうはい

junior

<2> “The - て form of a verb+verbs of giving and receiving” の練習 (II)

会話を聞いて，例の答のように，下線のところに適当な言い方を入れて練習しなさい。

例 (会話) ルイン: 山田さん，これ，コピーしてくれない。

山田: ええ，いいわよ。

→ (答) (ぼくは) 山田さんにコピーしてもらいました。

1. 先生が_____ました。
2. 山田さんが_____ました。
3. 山田さんに_____ました。
4. 先生に_____ました。

5. おとうとに_____ます。
6. 山田さんが_____ました。
7. 山田さんが_____ました。
8. 大家さんに_____います。
9. 中村さんに_____ました。
10. 中村さんに_____ました。

<3> “The - て form of a verb+いく” の練習 (IV)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

ここをまっすぐ歩く

- A: あのう，文化センターはどこでしょうか。
 B: ああ，それはね，ここをまっすぐ歩いていくと，左側に見えますよ。
 A: 左側ですね。
 B: ええ。白い建物だからすぐわかると思います。
 A: あ，そうですか。どうも。

1. 公園を通る
2. この坂をのぼる
3. あの坂をおりる
4. アーケードを通る
5. あの道を左の方へ歩く

文化	ぶんか	culture
まっすぐ		straight
左側	ひだりがわ	left- hand side
公園	こうえん	park
坂	さか	slope
のぼる		go up
おりる		go down
アーケード		arcade

第 7 課

考えを言う

- きょうのはうまくいったんじゃないかと思いますが。
- わたしにはまだむずかしいんじゃないでしょうか。
- 日本の習慣ではふつうだれにでも「また来てください」って言うんじゃない。

会 話

会話 1 研究室で

木下： リードの先輩

リード： 木下さん、やっと終わりました。

木下： あ、そう。大変だった。

リード： いえ。きょうのはうまくいったんじゃないかと思いますが。

木下： あ、そう。

リード： 木下さんのおかげです。

木下： いやいや。で、きょうの実験結果は来週リードさんが発表するんだよ。

リード： ええっ。わたしがするんですか。

木下： あたりまえだろう。だって、計画した人⁽¹⁾が発表することになってるんだから。

リード： うーん。でも、わたしにはまだむずかしいんじゃないでしょうか。

木下： いや、だいじょうぶ。リードさんならやれるよ。

リード： そうですか。じゃ、先輩、手伝ってくださいね。

木下： えっ。

会話 2 学生食堂で

山口： アリスの友だち

アリス： 山口さん，そこあいてる。

山口： あ，あいてるよ。どうぞ。

アリス： ありがとう。

山口： あ，きのう，うちのおふくろがね。

アリス： うん。

山口： また来てくださって言ったのに，アリスさんちっとも来ないって言ってたよ。

アリス： そう。でも，本当におじゃましてもいいのかしら。

山口： うん。うちは女の子がいないから，けっこう楽しみにしているみたいだよ。

アリス： 本当。

山口： うん。

アリス： 日本の習慣ではふつうだれにでも「また来てください」って言うんじゃない。

山口： うーん。でも，本当に来てほしいから言ってるっていう人も多いんだよ。

アリス： そうなの。

山口： そうだよ。

アリス： ふうん。

会話ノート

1. Vocabulary list

考えを言う	かんがえをいう	give/explain one's idea
-------	---------	-------------------------

<会話 1>

やっと		finally
うまくいく		work out all right
発表する	はっぴょうする	give a presentation, announce
あたりまえ		of course, no question, a matter of course
手伝う	てつだう	help, give a hand

<会話 2>

学生食堂	がくせいしょくどう	student cafeteria
あいている		be not taken, empty
おふくろ		=はは (おふくろ is usually used by men in an informal situation)
ちっとも～ない		not ~ at all
(お) じゃまする		visit, go and see
(～を) 楽しみにしている		be looking forward to ~
	(～を) たのしみにしている	
習慣	しゅうかん	custom
ふつう		usually, generally

2. Expression

(1) だって (because, since)

This word is used in informal conversation as a conjunction which is usually followed by a declaratory statement.

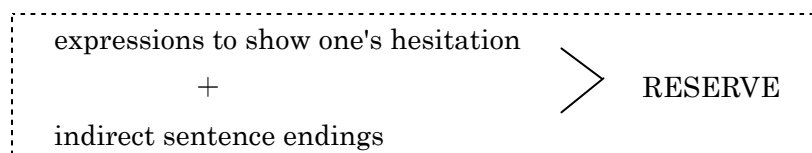
3. Aspects of the discourse

非直接的表現（ひちよくせつてきひょうげん）（2）

Indirect sentence endings

- （例） A： どちらのせつめいのほうがわかりやすいですか。
B： そうですね。あのう……こちらのほうがわかりやすいんじゃないか
と思いますけど。
A： ああ、やはりそうですか。
B： ええ。

In the conversation shown above, the speaker B gives his opinion by saying 「そうですね。あのう……こちらのほうがわかりやすいんじゃないかと思いますけど」, instead of saying 「こちらのほうがわかりやすいです」. In other words, B first uses an expression to show hesitation before stating his/her opinion, that is, 「そうですね。あのう……」. Secondly, he/she uses the indirect sentence ending 「……んじゃないかと思いますけど」 rather than finishing his/her statement with definite- sounding 「……です」. The speaker B in this way gives his/her opinion with reserve.



「……と思いますけど」

……と思いますけど or ……と思うんですけど (I think that …… but) is one sentence ending which indicates the speaker's reserve about expressing an opinion. By adding けど／けども／けれど／けれども／が to と思います, the speaker shows his/her readiness to listen to the listener's opinion.

When using よう (look like) or だろう (be probably) with …… と思いますけど it sounds much less definite :

- こちらのほうがわかりやすいように思いますけど。
こちらのほうがわかりやすいだろうと思いますけど。

In familiar speech, ……と思うけど or ……と思うんだけど is used :

こちらのほうがわかりやすいと思うけど。

In very formal situations, ……と思われそうです is sometimes used :

こちらのほうがわかりやすいと思われそうです。

「……んじゃないでしょうか」

……んじゃないでしょうか (I wonder if it is not ……) is another example of a reserved sentence ending. This should be said in a low, soft tone, and in a monologue – like way.

In familiar speech, ……んじゃないかなあ (male) , ……んじゃないかしら (female) , or……じゃない (male and female) is used

こちらのほうがわかりやすいんじゃないかなあ。

こちらのほうがわかりやすいんじゃない。

「……んじゃないかと思われそうです」

……んじゃないかと思われそうです (I wonder if it is not the case that …… but) is very often used to indicate the speaker's reserve about expressing an opinion. In familiar speech, ……んじゃないかと思うけど is used :

こちらのほうがわかりやすいんじゃないかと思うけど。

In very formal situations, ……んじゃないかと思われそうです is sometimes used :

こちらのほうがわかりやすいんじゃないかと思われそうです。

文 法

I . Expressions of desire

A. There are five sentence patterns describing “desire.” Their typical structures are given below.

1. [X が ほしい] “I want X”
2. [X を ほしがっている] “He/ She wants X”
3. [Sentence ending in the base form of a verb] +たい
“I want to do something”
4. [Sentence ending in the base form of a verb] +たがっている
“He/ She wants to do something”
5. Y に [Clause ending in the - て form of a verb] +ほしい／もらいたい
“I want Y to do something”

- (例) 1. 車がほしいです。
2. ルインさんは車をほしがっています。
3. 中国へ行きたいです。
4. ルインさんは中国へ行きたがっています。
5. ルインさんに中国へ行ってほしいと思います。
6. ルインさんに中国へ行ってもらいたいと思います。

B. ほしい and ほしがっている differ in that the former is used with the first person, while the latter with the third person. Note also that the direct object of ほしい is indicated by が, and that of ほしがっている, by を. ほしい acts as an - い adjective, and the final - い is conjugated in the same way as - い adjectives. ほしがっている is the - て form of the verb “ほしがる,” and is used to describe a desire which the third person has at the present time.

- (例) 1. わたしは日本語のいい辞書がほしいです。
2. 今は国へ帰りたくありません。
3. 中村さんは中国語を勉強したがっています。
4. アリスさんは東京へは行きたがっていません。

C. - たい and - たがっている are attached to a verb in its base form. They differ in the same way as mentioned above in “B.”

Note how they are conjugated in the following.

Verb		Verb + - たい / - たがっている	
Dictionary form	Base form	Affirmative	Negative
食べる	たべ	食べたい 食べたがっている	たべたくない
見る	み	見たい 見たがっている	みたくない
買う	かい	買いたい 買ったがっている	かいたくない
持つ	もち	持ちたい 持ちたがっている	もちたくない
来る	き	来たい 来たがっている	きたくない
する	し	したい したがっている	したくない

The direct object of a sentence preceding - たい is indicated by が or を. The direct object of a sentence preceding - たがっている is indicated by を.

- (例) 1. おいしいお茶が飲みたいです。
 2. 喫茶店には行きたくありません。
 3. 中村さんが話したがっています。
 4. ルインさんがテニスをやりたがっています。

[Note] Whether the direct object of a transitive sentence with - たい is indicated by が or を, is determined by the speaker's intention ; when a speaker's intention is focused on a particular thing he/she wants, が is used more often than を. When it is directed to an action he/she wants to take, を is preferable.

- (例) 1. お茶でもコーヒーでもなくて、水が飲みたいんです。
 2. 寒いので、窓をしめたいんですが、よろしいでしょうか。

- D. The idea “I want someone else (Y) to do something” is expressed by the pattern “Y - に [sentence ending in the - て form of a verb] +ほしい or +もらいたい.”
“Note that もらいたい changes to いただきたい, according to politeness.

- (例) 1. もっと勉強してほしいと思います。
2. 今度のパーティーには、ぜひ、あなたに来てもらいたいです。
3. ちょっと教えていただきたいことがあるんですが……。

- E. It would be very rude to directly ask a superior about his/her desire.

To avoid the use of an expression of desire is a good way to smooth communication with a superior. There are two ways to indirectly ask a superior about his/her desire. One is to use the pattern (おひとつ) いかがですか or (おひとつ) どうぞ. The other is to avoid using a verb with - たい and to choose another expression instead. Note the following.

- (例) 1. お茶でもいかがですか。
2. チョコレート、おひとつ、どうぞ。
3. これから喫茶店に行くんですが、先生もごいっしょに……。
4. 先生もごらんになってはいかがですか。

II. Expressions of reason and cause

- A. から is a conjunctive particle meaning “as,” “since” or “because.” It is used in the following pattern.

[Clause 1 から, Clause 2]

Clause 1 indicates reason for Clause 2. から follows a Clause 1, unlike the English conjunctions. The predicate in Clause 1 can be either its non-polite form or polite form, depending on the politeness of the sentence.

In Clause 1, any form of a predicate can appear, except a volitional form. から can be followed by any type of sentence, such as request, imperative, or invitational sentence.

- (例) 1. 熱があるから、きょうは学校を休みます。
2. よくわかりませんでしたから、もう一度説明してください。
3. ルインさんはお酒が好きだろうから、もう少し買っておこう。

In daily conversation, Clause 1 with から often comes after Clause 2.

- (例) 1. そろそろ始めましょう。ジョンソンさんはきょうは来ないようですから。
2. もう少しお待ちください。今、作っていますから。

B. ので is also a conjunctive particle, used in the same way as から.

ので sounds more polite than から. A predicate followed by ので is usually used in its non-polite form. But when a speaker feels that he/she must show politeness to a hearer, a polite form of a verb can be used before ので as a predicate. Be careful of using “noun+です” and “- な adjective+です” before ので, because です almost always changes to な, since の in ので can be considered as a noun. の in ので changes to ん in daily conversation.

- (例) 1. このごろ暑いので、夜なかなかねられません。
2. このかばんは便利なので、毎日使っています。
3. いいと思いましたので、お知らせしたんです。
4. できませんでした、時間がなかったんで。

[Note] 1. から shows a subjective reason, while ので might be used to state a reason objectively. On more formal occasions, it would be better to use ので.

2. When the predicate in Clause 2 indicates the speaker's request, intention, desire or supposition, it is better to avoid using ので, and to use から instead.

C. ため, a noun modified by a clause, shows a reason, purpose or benefit for the following clause, depending on the context. ため differs slightly from から and ので, ため is often used to show an unusual cause. It is often used in a formal situation.

- (例) 1. 大雪（おおゆき）のため、電車が2時間もおくれました。
2. 電車が2時間もおくれたために、うちあわせにまにあいませんでした。

3. 機械化（きかい化）がすすんだため、会社をやめる人がふえはじめました。

D. おかげ and せい, when preceded by a noun+no or a clause, are used to show a reason. おかげ meaning “thanks to, owing to” is used to express a speaker's satisfaction with the result or the conclusion. せい meaning “due to, on account of” is used to express a speaker's dissatisfaction with the result.

- (例) 1. アリスさんのおかげで、仕事がはやく終わりました。
2. 勉強しなかったせいで、けっかはよくありませんでした。

III. Adverbs (1)

A. Adverbs mainly modify a verb or an adjective. Adverbs also can modify another adverb. They are never conjugated.

- (例) 1. だんだん寒くなります。
2. 山田さんはとてもはやく走ります。

B. There are some special types of adverbs.

1. Adverbs which can be used as a noun as well

- (例) 1. a. あした栄へ行きます。(あした is used as an adverb.)
b. あしたはわたしの誕生日です。(あした is used as a noun.)
2. a. これはきょねん買った車です。(きょねん is used as an adverb.)
b. きょねんはたいへんな年でした。(きょねん is used as a noun.)

2. Two types of adverbs which are derived from adjectives

- い adjective	- な adjective
はやい → はやく	しずかな → しずかに
たかい → たかく	きれいな →きれいに
やすい → やすく	にぎやかな → にぎやかに

3. Japanese has abundant sound symbolisms called giongo (direct phonetic representations of actual sounds in everyday life) and gitaigo (phonetic representations of phenomena or human psychological states). They are all used as adverbs. Giongo and gitaigo are mainly used in spoken Japanese. These are normally used with or without “と,” depending on the word.

ぽたぽた (と)	drip-drip, drop-drop
ざあざあ (と)	pouring (rain)
ゆっくり (と)	slowly, at a slow speed
はっきり (と)	clearly, distinctly, exactly, definitely

C. Adverbs need not be placed just before the words which they modify. But it is better to place them there for clarification of meanings.

- (例) 1. アリスさんはずいぶん日本語がじょうずになりました。
2. アリスさんは日本語がずいぶんじょうずになりました。
3. ずいぶんアリスさんは日本語がじょうずになりました。

練習

1. 用法練習

<1> 「～んじゃないかと……」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

わたしにはむずかしい

[A…先生（男性） B…学生（女性）]

A： ねえ，アリスさん。

B： はい。

A： 今度の発表，どうするの。

B： はい，やってみたいとは思いますが……。

A： うん。

B： わたしにはむずかしいんじゃないかと……。

A： そんなことはないと思うよ。

B： そうですか。

1. わたしにはまだできない
2. 時間がたりない
3. じゅうぶんに準備ができない
4. 問題が大きすぎる
5. ひとりでは無理だ

発表	はっぴょう	presentation
準備	じゅんび	preparation
問題	もんだい	subject
無理な	むりな	impossible

<2> 「～んじゃないでしょうか」

会話の.....線の部分を絵の中のスポーツの名前にかえ, ____線の部分をそれぞれ A, Bの中から適当に選んでかえて練習しなさい。

A: エアロビクスっておもしろそうですね。

B: そうですね。でも, ちょっとたいへんんじゃないでしょうか。

A: そうですね。

B: ええ。

A	体にいい	やさしい	どこでもできる	おもしろい
	すぐおぼえられる		だれでもできる	体が強くなる

B	体に悪い	お金がかかりすぎる	つまらない	けがが多い
	あぶない	簡単にはできない	練習がきつい	

エアロビクス		aerobics
たいへんな		hard
やさしい		easy
簡単な	かんたん	simple, easy
体	からだ	health
(体が) 強くなる	(からだが) つよくなる	improve (one's health)
けが		injury
あぶない		dangerous
きつい		hard

<3> 「～ないんじゃない」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

掃除（を）する

[A…学生（女性） B…学生（女性）]

A： あの人たち，何やってるのかしら。

B： 掃除してるんじゃない。

A： そう，そうじゃないんじゃない。

1. 写真（を）見る
2. サッカー（を）する
3. 本棚（を）動かす
4. 看板（を）書き直す
5. 何か（を）練習する

掃除をする	そうじをする	clean
写真	しゃしん	photograph
サッカー		soccer
本棚	ほんだな	bookshelf
動かす	うごかす	move
看板	かんばん	sign
書き直す	かきなおす	rewrite
練習する	れんしゅうする	practice

2. 談話練習

場面練習

次の会話を練習しなさい。

<1>1) A: 日本語と中国語をくらべたら、やはり中国語のほうがむずかしいでしょうね。

B: そうですねえ……。あのう、それは、ならう人によってちがうんじゃないでしょうか。

A: ううん……。そうかもしれませんねえ。

B: ええ。

2) A: 日本語と中国語をくらべたら、やっぱり中国語のほうがむずかしいだろうね。

B: そうねえ……。でも、それは、ならう人によってちがうんじゃないかなあ。

A: ううん……。そうかも知れないねえ。

B: うん。

<2>1) A: とかいの生活といなかの生活とでは、どちらがいいでしょうねえ。

B: そうですねえ……。わたしは、やはりいなかがいいと思いますけど。

A: あ、そうですか。

B: ええ。

とかい

urban, city

生活

せいかつ

life

いなか

country side

2) A: とかいの生活といなかの生活と、どちらがいいと思う。

B: そうねえ……。ぼくは、やっぱりいなかがいいと思うけど。

A: あ、そう。

B: うん。

<3>1) A: あの人、きょう来と思います。

B: そうですねえ……。そのうち来るんじゃないかと思いますが。

A: そうですか。

そのうち

soon

2) A: あの人、きょう来と思う。

B: そうねえ……。そのうち来るんじゃないかと思うけど。

A: そう。

練習

<1>次の下線のところに、「んじゃないでしょうか」と「んじゃないかなあ」を入れてそれぞれ練習しなさい。

1. だれでもすぐできる_____。
2. このぐらいの説明では、わかってもらえない_____。
3. そうかんたんにどちらがいいときめるわけにはいかない_____。

<2>次の下線のところに、「と思いますが」と「と思うけど」を入れてそれぞれ練習しなさい。

1. きょうは、あめがふる_____。
2. あ的人是、ぜったいに来ない_____。
3. このしごとが今日中にできるということは、ありえない_____。

ぜったいに

positively

ありえない

impossible

今日中

きょうじゅう

(within) today

<3>次の下線のところに、「んじゃないかと思いますが」と「んじゃないかと思うけど」を入れてそれぞれ練習しなさい。

1. A: あの人にこのしごとできるでしょうか。
B: そう（です）ねえ。でもあの人ならできる_____。

2. A: そろそろけつろんを出しましょうよ。

B: そう（です）ねえ。でもこの問題は、もっとよくかんがえたほうがいい_____。

けつろんをだす

conclude

3. A: あの人がいませんけど、もう、ここできめてしましましょう。

B: そう（です）ねえ。でも、じぶんたちだけで、かんたんにきめてしまうわけにはいかない_____。

<4>次の下線のところに、「そうですね／そうねえ」、「と思いますけど／と思うけど」、「んじゃないでしょうか／んじゃないかなあ」のどれかを入れて練習しなさい。

A: 研究室でたばこをすうことについてどう思う。

B: _____, ぼくはかまわない_____。

A: そう、すわない人がいても。

B: まあ、その人がいいっていえばいい_____。

3. 文法練習

<1> “Expressions of desire” 'の練習 (I - D)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

やる

[A…先生 B…学生]

A: あれね，今日中にやってほしいんだけど……。

B: えっ，今日中ですか。

A: 無理かな。

B: はあ，ちょっと。

1. 直す
2. 作る
3. 買っておく
4. 持っていく
5. とってくる

無理な

むりな

impossible

直す

なおす

repair, mend, fix

とってくる

go (and) get

<2> “Expressions of reason and cause” の練習 (Ⅱ - B)

会話の下線のある部分を, 下の 1~5 の言い方にかえて練習しなさい。

ちょっと頭が痛かった

A: きのう, パーティーに行った。

B: ううん。 ちょっと頭が痛かったんで,

A: そう。

1. 急に友だちが来た
2. ちょっと寒けがした
3. ちょっと疲れていた
4. なんとなく気が向かなかった
5. 急に用事ができちゃった

急に	きゅうに	suddenly
寒けがする	さむけがする	feel a chill
疲れている	つかれている	be tired
なんとなく～		somehow, I don't know why, but～
気が向かない	きがむかない	be not in the mood
用事	ようじ	business

第 8 課

助言する

- 思いきって短くしたらどうですか。
- こっちにすれば。
- 聞いてみたら。

会 話

会話 1 研究室で

アリス： 先生，今よろしいでしょうか。

先生： うん。いいですよ。何ですか。

アリス： あのう，このあいだの論文，見てくださいましたか。

先生： うん。なかなか⁽¹⁾よかったですよ。がんばったね。

アリス： いえ……。

先生： うーん。ええと，どこにしまったかなあ。あ，ここ。ここ。あった。あった。

アリス： あのう，第2章のところがあまりよくないんじゃないかなあと思うんですけど。

先生： あ，ここね。うん，そうね。ちょっとごちゃごちゃしてるなあ，たしかに。

アリス： ええ。

先生： 思いきって短くしたらどうですか。次の章がメインなんだからね。

アリス： はい。じゃ，ちょっと書きなおして⁽²⁾みます。

先生： うん。あとはいいんじゃないですか。

アリス： はい。ありがとうございました。

会話 2 自転車売場で

長谷川： リードの友だち

長谷川： ねえ、どっちがいいと思う，これとこれ。

リード： そうね。この赤，いい色ね。

長谷川： でも，こっちもかっこいいと思わない。

リード： そうね。最近白いのがはやってるし……。

長谷川： どっちにしよう。迷っちゃうな。

リード： こっちの赤いほうが軽そうよ。

長谷川： そう。

リード： 坂のぼるのにはこっちのほうがいいんじゃない。⁽³⁾

長谷川： そうね。

リード： さびないって書いてあるし。こっちにすれば。

長谷川： うん。でも，ちょっと高いわね。もう少し安くならないかな。

リード： 聞いてみたら。

長谷川： うん。

会話ノート

1. Vocabulary list

助言する	じょげんする	advise, give advice
<会話 1>		
論文	ろんぶん	paper, thesis
しまう		put away
第 2 章	だいにしょう	Chapter 2
ごちゃごちゃする		be not clear, be confusing
思いきって～する	おもいきって～する	do something determinedly
短い	みじかい	short
短くする	みじかくする	make (something) short, shorten
章	しょう	chapter
メイン		main part, most important part
書きなおす	かきなおす	rewrite

<会話 2>

自転車	じてんしゃ	bicycle
長谷川	はせがわ	(family name)
ねえ。		Say ! Hey !
かっこいい		trendy, stylish
はやって (い) る		be in fashion
迷う	まよう	can't decide
軽い	かるい	light
坂	さか	slope
のぼる		go up, climb
さびる		rust

2. Expressions

- (1) なかなか (1. Quite 2. better than one expected)

It is necessary to be careful when using なかなか in an affirmative sentence, because it has the meaning 2. In a negative sentence なかなか doesn't have the meaning 2.

(2) Verb base+なおす

なおす means “repair” or “Inend” , but when preceded by a verb in the base form, it loses the original meaning and adds a nuance “over again” to the meaning of the preceding verb.

(3) ～ のに

“の” is a particle for nominalization, and “に” is a particle for purpose. When のに is used after the imperfective form of a verb, it means “for doing something.” For example, 食べるのに means “ for eating.”

3. Aspects of the discourse

Aizuchi (1)

Aizuchi are used as a signal to show that the listener is listening attentively and wants the speaker to go on. A flow of speech therefore consists not only of the speaker's utterances, but also of the Aizuchi uttered by an attentive listener. The absence of Aizuchi means that the listener has not understood or does not want to continue the conversation.

How to use Aizuchi

Aizuchi should be spoken softly and must be used at the right moment, namely exactly when the speaker expects it. A speaker asks for Aizuchi by slowing down at the end of a phrase and speaking with dangling intonation. This can be shown as follows.

Sometimes Aizuchi are used before the last part of the phrase is completed.

If a listener uses Aizuchi at the wrong moment, as shown in the following, the speaker will feel that the listener wants him/her to stop talking.

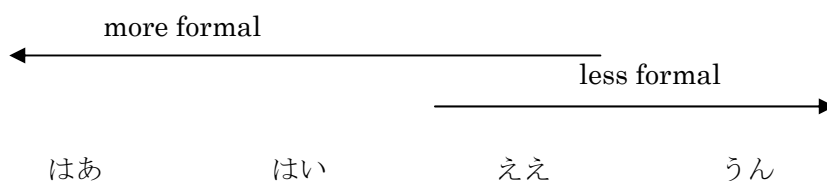
The right moment to use Aizuchi may be predicted partly by listening to expressions at the end of which a pause occurs, or which need the listener's agreement.

(例) A : あのう……。
 B : はい。
 A : すみませんが……。
 B : はい。
 A : ここはセンターのうけつけですね。
 B : はい, そうです。
 A : この授業をうけたいんですが……。
 B : はい。
 A : 何曜日の何時間目にあるんでしょうか。
 B : ええと, 火曜日の 1 時間目と木曜日の 1 時間目です。
 A : ああ, そうですか。どうも。

For those who find it extremely difficult to use verbal Aizuchi, nodding and appropriate facial expressions can also serve as Aizuchi, as long as one is not speaking on the phone!

「はあ」「はい」「ええ」「うん」

There are several expressions that are used as Aizuchi, either at the end of a sentence or between phrases. はい is very common ; it is polite, and can be used in formal situations. When trying to be very polite, sometimes はあ is used instead of はい. ええ is less polite than はい, and often is used in informal conversation. うん is used only in informal conversation when replying to a familiar person.



Sometimes these Aizuchi are repeated to show enthusiasm for the conversation as in はい, はい／ええ, ええ／うん, うん. It would be better, however, to avoid repetitive use of them in polite speech.

文 法

I. Verbs : なる and する

A. “なる” is an intransitive verb which basically means “become,” or “change.”

There are four patterns with なる :

1. a noun + に + なる (に is a conjugated form of だ)
2. a - な adjective in its - に form + なる
3. an - い adjective in its - く form + なる
4. a verb in its imperfective form + ように + なる

- (例) 1. 今年の 4 月に大学生になりました。
2. やっと元気になりました。
3. 文法がやさしくなりました。
4. 練習したら、はしが使えるようになりますよ。

The negative forms of the predicates mentioned above take the - く form before なる.

- (例) 5. 場所はセンターの 12 番教室じゃなくなりました。
6. さいきはひまじゃなくなってきました。
7. 勉強がおもしろくなくなりました。
8. 目が悪くなって、字が読めなくなりました。

The meaning of “なる” varies from context to context. Note the different meanings of “なる,” in the following.

- | | |
|-------------|---------------------------|
| “be” | (例) 大きくなったら、何になりますか。 |
| “come to” | (例) どうしてタバコをすうようになったんですか。 |
| “amount to” | (例) 2 に 3 をたすと、5 になります。 |
| “pass” | (例) あの人がなくなって 5 年になります。 |

B. “する” is a transitive verb of “なる,” and basically means “change” or “make.”

The syntactic relationship between these two verbs is given below.

〔Noun 1 - が Noun 2 - を 〔complement〕 する〕

〔Noun 2 - が 〔complement〕 なる〕

- (例) 1. a. 父親がむすこを医者にしました。
b. むすこが医者になりました。
2. a. ルインさんがドアの色を青くしました。
b. ドアが青くなりました。
3. a. 親が子供を歩けるようにしました。
b. 子供が歩けるようになりました。

The pattern 〔Verb ように する〕 often means “make an effort to do something,” when the verb used indicates action and is non- potential.

- (例) 1. ごはんを食べた後は、歯をみがくようにしています。
2. 毎日漢字をおぼえるようにしていますが、まだまだです。

II. Comparative sentences : より, ほど

The basic comparative sentence pattern is illustrated in the following.

〔Noun 1 - が／は Noun 2 - より adjective／adverb／verb〕

Here, より means “than,” and follows the word or words which are compared.

A phrase or clause can be followed by より.

- (例) 1. ミカンはバナナより好きです。
2. アリスさんはルインさんよりたくさん食べました。
3. アリスさんはルインさんよりやせています。
4. 思ったより、テストはかんたんでした。

In a negative sentence, ほど is used instead of より to indicate what is compared, and means “not so.” as. “A phrase or clause can also be followed by” ほど.

- (例) 1. この自転車は、あの自転車ほど高くありません。
2. ここでは雨は、日本ほどたくさん降りません。
3. テストは、思ったほどむずかしくありませんでした。

III. Adverbs (2)

Adverbs are roughly divided into four types as in the following.

- A. Adverbs showing time : いつも, すぐ (に), ときどき, たまに, さっき, さいきん, きのう, きょう etc.

- (例) 1. 山田さんはいつもたのしそうです。
2. あの二人はさいきん結婚したそうです。

- B. Adverbs showing the function of a predicate ;

1. negation : あまり, 全然, とても, なかなか, めったに etc.

- (例) 1. さしみはあまり好きじゃありません。
2. 日本語がなかなか上達しないんです。

2. guess : たぶん, きっと etc.

- (例) 1. あしたはたぶん雨になるだろうと思います。
2. 山田さんはきっと来るとと思います。

3. wish : ぜひ, どうぞ etc.

- (例) 1. ぜひわたしの家へ来てください。
2. どうぞおめしあがりください。

4. supposition : もし

- (例) もし山田さんに会ったら, つたえてください。

5. interrogation : いったい etc.

- (例) いったいどうしてこんなひどいことをしたんですか。

C. Adverbs which show the degree of an action or state which verbs or adjectives

express : ずいぶん, とても, 本当に, よく, なかなか, 少し, だいぶ, ひじょうに, もっと, ずっと, ちょっと etc.

- (例) 1. ずいぶん暑くなりましたね。
2. なかなかきれいに書けたでしょう。
3. もう少しゆっくり話してください。
4. 名古屋のことがだいぶわかるようになりました。
5. もっとずっと左のほうを見てください。

D. Adverbs which show a speaker's emotion : ついに, よく, やっぱり, わざわざ, せっかく, こんなに, あんなに etc.

- (例) 1. ついにわかる時がきました。
2. むずかしいことをよく言うことができましたね。
3. やっぱりだめでしたか。
4. わざわざ来てくださいますありがとうございます。
5. せっかく作ったのに, だれも食べてくれません。
6. こんなにたのんでも, だめですか。

IV. Aspect of the - て form of a verb + みる / みます

“みる” is used as an auxiliary verb with the - て form of a verb, meaning “make an attempt at doing something to see what it is like or what will happen.”

- (例) 1. ルイン : ちょっと頭が痛いんです。
中 村 : じゃあ, この薬を飲んでみませんか。
ルイン : はい。飲んでみます。
2. アリス : 次の電車は何時ですか。
ルイン : さあ。駅の人に聞いてみましょうか。

練習

1. 用法練習

<1>会話の下線のある部分を，下の1～5の言い方にかえて練習しなさい。

急ぐ

[A…先生（男性） B…ミン（ミャンマー人）]

A： ミンさん。

B： はい。

A： ぼく，今度，ミャンマーに行くことになってねえ。

B： えっ，いつからですか。

A： うーん，来月の中ごろかな。

B： そうですか。先生，ビザは。

A： まだだけど。

B： じゃあ，お急ぎにならないと……。

A： あ，そう。

1. すぐとる
2. すぐ大使館へ行く
3. すぐ旅行社にたのむ
4. すぐ申請する
5. すぐ手続きをする

中ごろ	なかごろ	(in the) middle of ～
ビザ		visa
とる		get
大使館	たいしかん	embassy
旅行社	りょこうしゃ	travel agency
申請する	しんせいする	apply
手続きをする	てつづきをする	follow the procedure

<2> 「～たらどうでしょうか」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 のことばにかえて練習しなさい。

右へ回す

[A…B の先輩（男性） B…学生（女性）]

A： これ，どうなってんの。全然動かないよ。

B： 右へ回してみたらどうでしょうか。

A： うん，やってみたんだけど……。

B： じゃ，もう少し強く押してみたら……。

A： うん。

1. 左へ回す
2. たたく
3. 引っぱる
4. あたためる
5. 持ち上げる

たたく		hit
引っぱる	ひっぱる	pull
あたためる		heat up
持ち上げる	もちあげる	lift

<3> 「～たら」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

なんだか頭が痛い，早く帰る

[A…学生（男性） B…学生]

A： あーあ。

B： どうしたの，いったい。

A： なんだか頭が痛いんだ。

B： そう。じゃあ，早く帰ったら。

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 朝から歯が痛い | 歯医者さんに行く |
| 2. なんだか勉強したくない | もう寝る |
| 3. また，この辞書（に）のってない | 新しいのを買う |

4. 山田さん（が）まだ来ない 電話してみる
5. この論文（は）漢字が多すぎる 山田さんにふりがなをつけてもらう

なんだか～
いったい

I don't know why, but ~
(lit.) what (how) on earth
(used for emphasis)

歯医者 (さん) はいしゃ (さん) dentist

<4>場面適用練習

次の会話は友だち同士の会話です。CD には A のことばが入っています。1～5 のあい
づちのあとに、例の B のような助言をつけ加えなさい。

あいづち

response

助言

じょげん

advice

つけ加える

つけくわえる

add

例 A: 日本語の論文，来週までに 100 ページも読まなきゃいけないなんて，できないよ，どうしよう。

B: そう。だれかに手伝ってもらったら。

1. ふうん, _____。
2. あ, そう, _____。
3. じゃあ, _____。

連絡する

れんらくする

get in touch, contact

4. そうねえ, _____。
5. あーあ, _____。

あ、いけない。

Oh, no!

2. 談話練習

場面練習

次の会話を練習しなさい。

<場面>まじめな人 (A) とじょうだんの好きな人 (B) の会話

A がつたえたいこと：「あしたはいそがしいからあさってにしてほしい」

B がやりたいこと：ぎもんの「はい」とりょうかいの「はい」をこうごにつ
かって A をからかうこと

A： あ の う， あ し た は ね，

B： はい。

A： あ し た は ね，

B： はい。

A： どうしてもね，

B： はい。

A： ど う し て も ね，

B： はい。

A： いそがしいから，

B： はい。

A： い そ が し い か ら，

B： はい。

A： あさってにね，

B： はい。

A： あ さ っ て に っ！

B： はい， はい。

A： もう……。

B： ごめん， ごめん， あさってでいいですよ。

まじめなひと

serious person

じょうだんのすきなひと

a person who likes a joke

ぎもん

interrogation

りょうかい

understanding

こうごに

by turns

からかう

tease

どうしても

at any cost

ごめん。

Sorry.

練習

<1>／のところに「ね」をいれて、やすみながら言いなさい。(Aのための練習)

1. あのう／きょうは／いそがしいですから／あしたに／していただきませんか。
2. あのう，きょうはいそがしいですから／あしたに／していただきませんか。
3. 上の1と2に「ね」を入れないで，やすみながらいいなさい。

<2>練習<1>の1から3をつかって次の練習をしなさい。(Bのための練習)

1. Aが「ね」と言ったら，それにあわせて「はい」を入れなさい。
2. Aが「ね」と言ったら，それにあわせて「ええ」を入れなさい。
3. Aが「ね」と言ったら，それにあわせて「うん」を入れなさい。
4. Aが「ね」と言ったら，それにあわせて「はあ」を入れなさい。

<3>練習<1>の1から3をつかって次の練習をしなさい。(A, Bのための練習)

1. Bが「はい」と言ったら次のことばを，「はい」と言ったら，言ったことばをもう一度はっきりとくりかえしなさい。
2. 「はあ」，「ええ」，「うん」についてもおなじ練習をしなさい。

<4>Aはじぶんのことばをつかって，Bはあいづちをつかって練習しなさい。

(A, Bのための練習)

3. 文法練習

<1> “Verbs : する and なる” の練習 (I)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

図が多い

[A…男性 B…女性]

A: ねえ，先週たのんだレポート，できた。

B: うーん，これなんだけど。

A: うーん，ずいぶん図を多くしたんだね。

B: そうじゃないのよ，多くなっちやったのよ。

A: そう。

1. 枚数が多い
2. 長い
3. 短い
4. むずかしい
5. 簡単な

図	ず	figure
レポート		report, paper
枚数	まいすう	number (s) of flat things
簡単な	かんたんな	simple, easy

<2> “Comparative sentences” の練習 (II)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

この店 (は) きたない，あっち

[A… 女性 B…女性]

A: この店，きたないわね。

B: うん，でもあっちほどじゃないんじゃない。

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. きょうの宿題 (は) 多い | きのう |
| 2. きょうのテスト (は) むずかしかった | 先週 |
| 3. けさ (は) 寒かった | ゆうべ |

4. この店 (は) おいしくない

生協

5. この食堂 (は) こんでいる

きのうのレストラン

ゆうべ

last night

パソコン

personal computer

<3> “The - て form of a verb+みる” の練習 (IV)

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

北海道へ行く

A： 北海道へ行ったことがありますか。

B： いいえ。前から，一度行ってみたいなあと思ってるんですけど……。

A： なかなか時間がない。

B： ええ，そうなんです。

1. この本 (を) 読む

2. 野球 (を) する

3. 船で旅行する

4. 富士山にのぼる

5. 歌舞伎 (を) 見る

北海道

ほっかいどう

(one of the Japanese islands)

野球

やきゅう

baseball

船

ふね

ship

旅行する

りょこうする

travel, take a trip

富士山

ふじさん

Mt. Fuji

のぼる

climb up, go up

歌舞伎

かぶき

Kabuki play

(traditional Japanese stage play)

第 9 課

申し出る

- 先生、それお持ちしようか。
- でも、お持ちします。
- 何かお手伝いできることがありましたら……。
- わたし、借りてきてもいいけど。

会 話

会話 1 研究室へ行く途中で

- ルイン： おはようございます。
- 先生： あ、おはよう。みんな待ってる。
- ルイン： ええ。先生がいらっしやらないんで休講かなと思ひまして……。
- 先生： いや、徹夜してちょっとね。でも、かばんおいたらすぐ行くから。
- ルイン： はい。先生、それお持ちしましょうか。
- 先生： いや。いいよ。いいよ。
- ルイン： でも、お持ちします。
- 先生： そう。わるいね。
- ルイン： いえ。先生、学会の準備、大変そうですね。
- 先生： うん。ゆうべやっと原稿ができあがってね。
- ルイン： そうですか。何かお手伝いできることがありましたら……。
- 先生： そうだね。じゃ、わるいけど、レジメをね。
- ルイン： ええ。
- 先生： 学会に間に合うようにコピーしといてくれないかな。
- ルイン： はい。何部ぐらい……。
- 先生： うーん、100部^①もあればいいと思うけど。
- ルイン： はい。じゃ、あとでコピーして研究室へお持ちします。
- 先生： うん。あの、金曜日ぐらいまででいいからね。
- ルイン： はい。

会話 2 研究室で

山口： アリスの友だち

山口： 困ったなあ。

アリス： どうかした。

山口： うん。井上先生の講演あさってなんだけど、プロジェクターがね、うまく写らないんだよ。

アリス： あ、こわれてた⁽²⁾っけ。

山口： うん。この間のゼミの時、調子悪かっただろ。

アリス： そういえばそうだったわね。

山口： さっきためしてみたんだけど、やっぱりだめみたいなんだよ。

アリス： そりゃ困ったわね。

山口： 修理にだすと時間かかると思うし。

アリス： わたし、借りてきてもいいけど。大川先生のところの。

山口： でも、貸してくれるかな。

アリス： それはだいじょうぶだと思うわ。

山口： じゃ、わるいけど、借りてきてくれる。

アリス： うん。いいわよ。

会話ノート

1. Vocabulary list

申し出る	もうしでる	offer some help
<会話 1>		
途中で	とちゅうで	on the way to
休講	きゅうこう	no class, class is called off
徹夜する	てつやする	stay up all night long
お持ちします。(1.7)	おもちします。	I'll hold it.
やっと		at last
原稿	げんこう	manuscript, paper
できあがる		be finished
レジメ		résumé
～に間に合うように	～にまにあうように	make (something) ready for ～
～部	～ぶ	copy
お持ちします。(1.17)	おもちします。	I'll take it.

<会話 2>

どうかした。		What's the matter?
プロジェクター		projector
写る	うつる	work (in the case of a screen)
こわれる		be broken, not working
ためす		try
～みたい		seems ～
修理にだす	しゅうりにだす	give (something) to get (it) repaired
貸す	かす	lend

2. Expressions

(1) Number+も (up to ～)

When a number+も is used in a conditional clause, も indicates “up to ～.”

(2) ～つけ

This is used at the end of an informal statement to confirm the information a speaker has either by talking to oneself or asking another for confirmation.

3. Aspects of the discourse

Aizuchi (2)

「そうですか」「そうですね」

- (例) A: きょうはあついですね。
B: そうですね。
A: 30度をこすみたいですよ。
B: あっ, そうですか。
A: ええ。

そうですね is used by the listener to agree with what the speaker said. It is pronounced in a falling tone ; the ね falls after rising slightly.

so ne ↘
 o desu

Polite そうですね becomes そうだね (male) or そうね (usually female) in familiar speech.

そうですか is used as a signal to show a listener's understanding of what the speaker said. It is pronounced with falling intonation. In familiar speech, そう, with a falling tone, is used in place of そうですか.

Both そうですね and そうですか with falling intonation serve to make a conversation go smoothly.

「なるほど」

なるほど is used to show that the listener has perfectly understood the speaker's logical explanation, and is used in a monologue-like way. It should be pronounced in a low tone and with falling intonation. It would be better to avoid using it in polite conversation. なるほど might be equivalent to "Oh, I see." in English.

- (例) A: いまいったようにすればできるでしょう。
B: なるほど。そうですね。

「そうですね」

そうですね, “It must be so,” which is used to express one's sympathy, is an appropriate phrase to be used as Aizuchi. Sometimes ね is prolonged to emphasize the feeling of sympathy.

(例) A: 漢字はむずかしくて, なかなかおぼえられません。

B: そうですね。

A: ええ。

文 法

I . Noun- modifying clause (1)

There are two types of noun- modifying clauses. The first type will be explained in this lesson, and the second one, in the next book. The typical first type is as in the following sentence.

ルインさんが読んだ本は、どんな本でしたか?

“What kind of book was it that Mr. Lwin had read?” (lit.)

The underlined part consists of two parts : a modifying clause and the modified noun.

modifying clause : ルインさんが読んだ

modified noun : 本

The modifying clause doesn't contain a direct object, but the modified noun “本” can be considered as a direct object of the verb “読んだ.” Thus the following can be considered as the base sentence.

ルインさんが本を読みました。

This base sentence can be transformed into modifying clause+modified noun, in the following way.

1. Shift the noun, which is the object of the verb, to the end of the sentence.
2. Delete the particle after the shifted noun.
3. Use が to indicate the subject of the clause.
4. Use the non- polite form of the verb.

Any noun in a base sentence can become a modified noun, if the semantic relationship between the clause and the modified noun is clear.

Note the following.

(例) 1. あそこに立っている人は、わたしの兄です。

(人が立っています。)

2. きのをわたしが乗った車は、ホンダの車です。

(きのをわたしが車に乗りました。)

3. さっき食堂で会った女の方は、だれですか。

(さっき食堂で女の人に会いました。)

4. 友だちと話すところは喫茶店です。

(友だちと喫茶店で話します。)

5. 山田さんが結婚する女の方は、とてもきれいです。

(山田さんが女の人と結婚します。)

6. おくさんが外国人の山田さんは、とてもやさしいです。
(山田さんのおくさんが外国人です。)

II. Conditional conjunctives : - ば, - たら and と

There are three kinds of conditional conjunctives. They are illustrated as follows.

(1) S1 - ば, S2.

(2) S1 - たら, S2.

(3) S1 と, S2.

[S1=Subordinate clause ; S2=Main clause]

A. Usage of the - ば form

The - ば form of G2 verbs can be obtained from their potential forms.

For - い adjective, replace the final - い by - ければ. です in 元気です or 学生です changes to なら.

Dictionary form		Potential form	- ば form
Verb	見る	みられる	みれば
	食べる	たべられる	たべれば
	買う	かえる	かえば
	話す	はなせる	はなせば
	待つ	まてる	まてば
	くる	こられる	くれば (Irreg.)
	する	できる	すれば (Irreg.)
- い adjective	高い	*	たかければ
	大きい	*	大きければ
	いい	*	よければ
- な adjective	ひまです	*	ひまなら
	元気です	*	げんきなら
Noun+です	学生です	*	学生なら
	病気です	*	病気なら

A clause with - ば indicates a general condition related to the following clause.

- (例) 1. 教科書を見れば、わかりますよ。
2. とおくからみれば、高そうですが、近くで見れば、そうでもありません。
3. 来年になれば、何かいいことがあるでしょう。

The - ば form expresses a present or future condition, but is never used with a main clause ending with the perfective form. It is wrong to say :

京都に行けば、きれいな庭が見られました。

The - たら form should be used instead.

京都に行ったら、きれいな庭が見られました。

The - ば form is used when a following main clause is a declarative statement. It is never followed by a request or invitational clause. It is wrong to say :

京都につけば、電話してください。
コーヒーがはいれば、始めませんか。

The - たら form should be used instead.

京都についたら、電話してください。
コーヒーがはいったら、始めませんか。

The - ば form can be used to coordinate two clauses in the following pattern.

[Noun 1 - も - ば form, Noun 2 - も predicate]

- (例) 1. 旅行には、アリスさんも行けば、ルインさんも行きます。
“Both Alicesan and Lwinsan are going on a trip.”
2. 文法もわからなければ、漢字もわかりません。
“Someone* doesn't know either grammar or Chinese characters.”
(“Someone” may be the speaker.)

B. Usage of the - たら form

The - たら form is obtained by adding - たら to the perfective affirmative form.

Dictionary form	- たら form
見る	みたら
食べる	たべたら
買う	かったら
待つ	まったら
くる	きたら
する	したら
高い	たかかったら
いい	よかったら
元気だ	げんきだったら
学生だ	学生だったら

A clause with the - たら form generally shows a temporal condition for the following main clause. - たら is almost equivalent to English “when, if” or “after.”

- (例) 1. 雨が降ったら、すずしくなりますよ。
2. 10分待って来なかったら、電話しましょう。
3. 高かったら、買うのをやめましょう。

The - たら form is mostly used in daily conversation, and is seldom used in formal written language. In a scientific essay or a paper, - ば or と is used to show a condition.

The - たら form can be used to express an unexpected fact.

- (例) 1. 外に出たら、雨が降っていました。
“When I went out, I found it had been raining.”
2. 朝起きたら、窓があいていました。
“When I got up in the morning, I found a window had been open.”

C. Usage of と

A clause with と is a conditional clause which indicates that the following clause is a natural or expected result of the condition.

- (例)
1. 冬になると，寒くなります。
 2. ボタンを押すと，自動的にあきます。
 3. 寒い日がつづく，かぜをひく人がふえてきます。

練習

1. 用法練習

<1> 「目上の人に申し出る場合」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

何かお手伝いできることがありましたら……

[A…先生（男性） B…学生]

A： さあ，これから，もうひとがんばりだなあ。

B： あのを，何かお手伝いできることがありましたら……。

A： そうだね，じゃ，お願いしようかな。

B： はい。

1. 私にできることがありましたら……。
2. 何でもおっしゃってくださいれば……。
3. 何かお役に立つことがありましたら……。
4. コピーするものがあればいたしますが……。
5. コンピューターに入れるものがあれば入れますが……。

目上の人	めうえのひと	superior
手伝う	てつだう	help, give a hand
さあ		well, now
ひと～		One ～
がんばる		try hard, do one's best
役に立つ	やくにたつ	can be of help

<2> 「～ましょうか」

会話の下線のある部分を，下の 1～5 の言い方にかえて練習しなさい。

来週のレポーター，決まる，する

[A…学生（女性） B…Aの先輩（女性）]

A： 来週のレポーター，もう決まりました。

B： ううん，まだなの。だれかしてくれないかなあと思ってるんだけど。

A： わたし，しましょうか。

B： そう，たすかるわ。じゃあ，お願い。

A： はい。

- | | | |
|--------------|-------|-----------|
| 1. レジメ | できあがる | (グラフを) 作る |
| 2. 会議の準備 | すむ | 手伝う |
| 3. パーティー券 | 売れる | 買う |
| 4. 切符の予約 | 終わる | やる |
| 5. この間話していた本 | 見つかる | さがす |

レジメ	résumé
グラフ	graph
パーティー券 パーティーけん	ticket for a party

<3> 「～ようか (the volitional form of a verb+か)」

会話の下線のある部分を, 下の 1～5 のことばにかえて練習しなさい。

紙, 取る

[A…学生 (女性) B…学生 (男性)]

A: これじゃあ, 紙たりないんじゃないの。

B: そうだねえ。じゃ, ぼくが取ってこようか。

A: 悪いけど, そうしてくれる。

B: うん, いいよ。

- | | |
|--------|-----|
| 1. ビール | 買う |
| 2. いす | 借りる |
| 3. 箱 | もらう |
| 4. 料理 | 作る |
| 5. データ | 集める |

悪いけど～	わるいけど～	I'm sorry to ask you, but～
箱	はこ	box

2. 談話練習

場面練習

次の会話を練習しなさい。

<1>A は B のともだち (すこしフォーマル)

- A: あの人, はりきってますね。
B: そうですね。
A: こんどけっこんするらしいですよ。
B: あ, そうですか。それで。
A: ええ。あいては山中さん。
B: ええっ。そうですか。
A: ええ。どうしてですか。
B: いや, あの……そうですか……。

はりきる

be in high spirits

あいて

betrothed, partner

<2>A は B のともだち (インフォーマル)

- A: ええと, レポートのしめきりは 30 日。そうだね。
B: そう。たしか 31 日じゃあ……。
A: あっ, そうそう 31 日。じゃあ, こんどの土曜日あたりいっしょにやらない。
B: そうねえ, 土曜日はちょっと……。
A: そう。じゃあ, 日曜日は。
B: そうね。日曜日なら。

しめきり

deadline

こんどの～

coming ～, next

練習

<1> 次の会話を練習しなさい。

1. A: 3時にあつまりましょうか。
B: そうですね。そうしましょう。
2. A: どれからはじめましょうか。
B: そうですねえ……。ルインさんきめてくださいよ。
3. A: あしたはやすみですよ。
B: あ, そうですか。
4. A: あしたはやすみでしょ。
B: ええ, そうですか。

<2> 次の会話をてきとうなイントネーションをつかって練習しなさい。

1. A: らいげつはしょうがくきん, 出ませんよ。
B: ええ, そうですか。
2. A: らいげつはしょうがくきん, 出ないよ。
B: あ, そう。

<3> 下線のところをじぶんでつくりなさい。

1. A: きょうはてつやで仕事しましょうか。
B: そうですね。_____
2. A: これからちょっと飲みに行かない。
B: そうね。_____

てつや

staying up all night

3. 文法練習

<1> “Noun- modifying clause” の練習 (I)

会話を聞いて、例のように下線のところに名詞修飾節 (noun- modifying clause) を入れて練習しなさい。

長野	ながの	(name of a prefecture)
ヒッチハイク		hitchhike

例 アリス： 夏休みはどこかへ行ったの。

ルイン： うん、長野へね。ヒッチハイクで。

アリス： へえ。

→ルインさんが夏休みにヒッチハイクで行ったところは長野です。

1. 引っ越す ひっこす move

ルインさんが_____アパートは本山です。

2. 地下街 ちかがい underground shopping area

ルインさんが_____シャツは 2000 円でした。

3. 妹 いもうと younger sister

ルインさんが_____女の人は妹さんです。

4. アルバイト		a part-time job
週 3 回	しゅうさんかい	three times a week

ルインさんが_____ところは栄です。

5. あちこち		here and there
出版社	しゅっぱんしゃ	publishing company

ルインさんが_____本は「日本の経済史」です。

6. アイスティー ice tea

ルインさんが_____ものはアイスティーです。

7. さっきから (lit.) since a little while ago
たまには occasionally, once in a while

ルインさんが_____ことは実験のことです。

- [illegible]

ルインさんが_____番組は「金曜ロードショー」です。

9. ルインさんが_____漢字は「書く」という字です。

10. ゆうべ last night
 ながびく drag on, be prolonged

ルインさんが_____わけは会議が長びいたからです。

<2> “The - たら form” の練習 (Ⅱ - B)

例にならって、下の動詞から適当なものを下線のところに入れて練習しなさい。必要なら適当なことばを補い (add) なさい。

例 (生協, デパート, 電気屋へ) 行ったら, ノートパソコンを安く売っていました。

1. _____, だれもいませんでした。
2. _____, 古い写真が出てきました。
3. _____, 山田さんが来ていました。
4. _____, 雨がふっていました。
5. _____, おなかがいたくなりました。

帰る	起きる	食べる
あける	入る	出る
行く	そうじしている	かたづけている

<3> 語形練習

例にならって動詞の形を練習しなさい。

例：食べる たべれば たべなければ たべたら たべなかったら

聞く	来る	会う	する
読む	行く	呼ぶ	買う
見る	死ぬ	取る	いる (need)
使う	わかる	通る	いる (be)
貸す	切る	変える	言う
借りる	着る	帰る	待つ
返す	作る	習う	

参考資料

1. 会話ノート「談話の諸相」（日本語版）
2. 文法（日本語版）

1. 会話ノート

談話の諸相

第1課

敬語(1)： 丁寧体・普通体

日常会話では丁寧体と普通体の二つの文体が使われます。

A. この二つの文体は文末の形によって区別されます。

1. 丁寧体

(例) A: きょうは、図書館へ行きますか。

B: いいえ、行きません。

2. 普通体

(例) A: きょう、図書館へ行く。

B: ううん。行かない。

	丁寧体	普通体
動詞	行きます 行きません 行きました 行きませんでした	行く 行かない 行った 行かなかった
- い形容詞	さむいです さむくありません さむかったです さむくありませんでした	さむい さむくない さむかった さむくなかった
- な形容詞	ひまです ひまじゃありません ひまでした ひまじゃありませんでした	ひまだ ひまじゃない ひまだった ひまじゃなかった
名詞＋断定助動詞	学生です 学生じゃありません 学生でした 学生じゃありませんでした	学生だ 学生じゃない 学生だった 学生じゃなかった

B. 丁寧体、普通体の選択は、話し手と聞き手の関係によります。

1. 聞き手が知人の場合、あるいは目上の人の場合は丁寧体を使います。
2. 聞き手が面識のない者の場合は丁寧体を使います。
3. 聞き手が友人の場合は普通体を使います。
4. 聞き手が肉親の場合は普通体を使います。

第2課

敬語(2)： 尊敬表現

尊敬表現は主に次の三つの場合に用います。

- A. 話題となる人物の行為に対して話し手が尊敬の気持ちを表す場合
- B. 話題となる人物の状態に対して話し手が尊敬の気持ちを表す場合
- C. 話題となる人物が所有しているものに対して話し手が尊敬の気持ちを表す場合

A の場合の尊敬表現

1. 不規則形（動詞）

辞書の形	尊敬の形
する	なさる
いる	いらっしゃる、おいでになる
来る	いらっしゃる、おいでになる
行く	いらっしゃる、おいでになる
言う	おっしゃる
見る	ごらんになる
食べる	めしあがる
飲む	めしあがる
着る	おめしになる
知っている	ご存じだ

2. 規則形（動詞）お＋動詞の連用形＋になる

辞書の形	尊敬の形
読む	お読みになる
書く	お書きになる
歩く	お歩きになる
買う	お買いになる

3. 規則形（動詞）お＋動詞の連用形＋です

辞書の形	尊敬の形
帰る	お帰りです
使う	お使いです
急ぐ	お急ぎです
呼ぶ	お呼びです

4. 規則形（動詞）受身形

辞書の形	尊敬の形
読む	読まれる
書く	書かれる

B の場合の尊敬表現

1. 接頭語「お」または「ご」＋形容詞

辞書の形	尊敬の形
わかい	おわかい
はやい	おはやい
きれいだ	おきれいだ
親切だ	ご親切だ

2. 接頭語「お」または「ご」＋形容詞の－て形＋いらっしゃる

辞書の形	尊敬の形
わかい	おわかくていらっしゃる
はやい	おはやくていらっしゃる
きれいだ	おきれいでいらっしゃる
親切だ	ご親切でいらっしゃる

C の場合の尊敬表現

1. 接頭語「お」＋和語

辞書の形	尊敬の形
住い	お住い
手紙	お手紙
名前	お名前

2. 接頭語「ご」＋漢語

辞書の形	尊敬の形
専門	ご専門
兄弟	ご兄弟

第3課

敬 語 (3) : 謙讓表現

謙讓表現は次の二つの場合に用います。

A. 話題の人（話し手を含む）を低く待遇することによって、その相手を高め、敬意を表す場合

（例）学生： 山田先生にお目にかかりたいんですが。

助手： ちょっとお待ちください。

B. 話題の人を低く待遇することによって、聞き手に敬意を表す場合

(例) 先生： あしたは学校に……。

学生： いいえ。うちにおります。

A の場合の謙譲表現

1. 不規則形（動詞）

辞書の形	謙譲の形
する	いたす
行く	まいる
行く	うかがう, おじゃまする
言う	もうしあげる
見る	はいけんする
会う	お目にかかる
聞く	うかがう
借りる	はいしゃくする
知っている（もの）	ぞんじている
知っている（人）	ぞんじあげている
もらう	いただく

2. 規則形（動詞）… お＋動詞の連用形＋する

辞書の形	謙譲の形
持つ	お持ちする
待つ	お待ちする
送る	お送りする
電話する	お電話する

(例) 1. 学生： へやでお待ちしていますから……。

先生： はい、わかりました。

2. 先生： 山田先生に電話した。

学生： はい、さきほどお電話しました。

B の場合の謙譲表現：

1. 「おる」…「いる」の謙譲の形

(例) 先生： 3 時ごろはどこに……。

学生： たぶん図書館にあります。

2. 「いたす」…「する」の謙譲の形

(例) 先生： もう知らせた。

学生： ええ、電話いたしました。

3. その他の動詞…「まいる」「いただく」「もうす」など

(例) 先生： 山田君。

学生： はい。ただいままいります。

「です」「あります」の謙譲の形：

1. 「でございます」…「です」の謙譲の形

(例) A： もしもし山田さんのおたくですか。

B： はい。山田でございます。

2. 「ございます」…「あります」の謙譲の形

(例) 1. くつ売場は 8 階でございます。

2. おそくなってもうしわけございません

第 4 課

「ね」について

「ね」は、話し手が自分の印象を表す文に使う終助詞です。これは、聞き手からの同意を求める働きを持ちます。この同意の「ね」は下降イントネーションとなります。

(例) A: さむくなりましたね。↓

B: ええ、そうですね。↓

話し手が自分の印象を強く言い表したい場合は、「ねえ」となります。

(例) A: さむくなりましたねえ。↓

B: ええ、ほんとうですねえ。↓

終助詞「ね」はまた、聞き手からの確認を求める働きを持ちます。この「ね」は上昇イントネーションとなります。

(例) A: ところで、あしたテストですね。

B: ええ、そうです。

終助詞「ね」は文末だけではなくて、文節末でも使うことができます。この「ね」は聞き手の注意を引く働きがあります。この「ね」は、主にくだけた会話の中で使い、あらたまった会話の中では使いません。

(例) A: きょうね。

B: うん。

A: 学校へ行ったらね。

B: うん。

A: 山田に会ったよ。

B: へえ。めずらしいね。

第5課

「よ」と「よね」について

「よ」

終助詞「よ」は、聞き手に知らせたい情報を伝える場合に使います。

(例) A: あしたボーリングに行かない。

B: うん、そうね。あつ、あしたは水曜日だよ。

A: あ、そうだ。やすみだ。

「よ」はまた、話し手の確信、主張を表す場合にも使います。

(例) A: きょうのテスト、あまりむずかしくなかったね。

B: そんなことないよ。

A: そう。

「よ」は目上の人に対して使うのは避けたほうがいいでしょう。また、友人に対しても「よ」を多用するのは控えたほうがよいでしょう。「よ」を多用する人は、居丈高な人に見えるかもしれません。

しかしながら、話し手の不安、自信欠如などを否定する場合に「よ」を使うと、聞き手に親近感を与えるかもしれません。この場合でも目上の人に対しては使わないほうがいいでしょう。

「よね」

「よね」は話し手が自分の主張について聞き手の同意を求める場合に使い、結果として、その主張を弱くする働きを持ちます。

(例) 1. A: 銀行のやすみは土曜日ですよ。

B: ええ、そうです。

A: じゃあ、あさってにしよう。

2. A: 銀行のやすみはいつでした。

B: ええと、土曜日ですよ。ねえ、山田さん。

C: ええ、そうです。

次の表は「よ」のくだけた場面での使い方を示しています。

男の人の話し方	女の人の話し方
行くよ	行くわよ
行ったよ	行ったわよ
いいよ	いいわよ
よかったよ	よかったわよ
きれいだよ	きれい(だわ)よ
きれいだったよ	きれいだったわよ
学生だよ	学生(だわ)よ
学生だったよ	学生だったわよ

第6課

非直接的表現 (1)

「そうですね」

意見を述べる前には、その意見が話し手にとって明確な時にも、「そうですね」を使うことがあります。「そうですね」は、話し手のためらい、慎みを示すことになります。

(例) A: この論文、どうでしたか。

B: そうですね。とてもわかりやすく、おもしろかったです。

A: ああ、そうですか。

この「そうですね」は、次のようなイントネーションで発音します。

そ
う ね
で す え

くだけた会話では「そうですね」のかわりに、男の人は「そうだね」、女の人は「そうね」を使うことが多いです。

「さあ」

意見を述べる前に「さあ」ということがよくあります。この「さあ」は、「わかりません」「しりません」のような表現と一緒に使います。この「さあ」は、低く、そして懸垂状態で終わります。

(例) A: どちらの辞書が使いやすいですか。

B: さあ、よくわかりませんが、こちらのほうが私にはいいですね。

A: ああ、そうですか。

「あのう」

「あのう」は、意見を述べる前だけではなく、話しかける時や依頼する時にも使います。「あのう」は、(1) 会話の開始を聞き手に知らせる働き、(2) 適切な言葉を搜している

ことを伝える働き，(3) 聞き手の時間を取るためのためらいを示す働き，があります。

(1) と (2) の機能は，「ええと」と同じだが，(3) の機能は「ええと」とは異なっています。

第 7 課

非直接的表現 (2)

非直接的文末表現

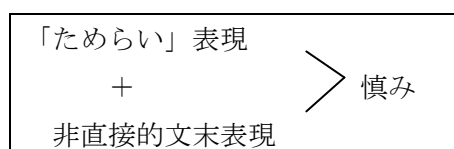
(例) A： どちらの説明のほうがわかりやすいですか。

B： そうですね。あのう，こちらのほうがわかりやすいんじゃないか
思いますけど。

A： ああ，やはりそうですか。

B： ええ。

上記の会話で，話し手 B は「わかりやすいです」という明確な言い方を避けて，「わかりやすいんじゃないかと思いますけど」という非直接的な言い方をしています。B は，「そうですね」「あのう」を使って慎みを示すと同時に，非直接的な文末表現を使用して，意見・主張を柔らかくしています。



「……んじゃないかと思いますけど」：

これは，前に述べたように，意見を述べる時によく使用する文末表現です。くだけた会話では，「……んじゃないかと思うけど」を使います。あらたまった場面では，「……んじゃないかと思われそうですけど」を使うこともあります。

第 8 課

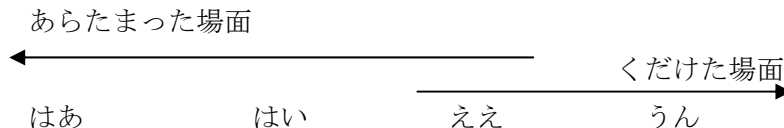
相槌 (1)

円滑な会話には，話し手の発話だけではなく，聞き手の相槌が必要です。相槌は，聞き手が話をよく聞いているという事実を話し手に伝える働きを持っています。それによって話し手も積極的に話すことになるでしょう。

(例) A: あのう。
 B: はい。
 A: すみませんが。
 B: はい。
 A: ここはセンターの受付ですね。
 B: はい、そうですが。
 A: この授業を受けたいんですが。
 B: はい。
 A: 何曜日の何時間目にあるんでしょうか。
 B: ええと、火曜日の 1 時間目と木曜日の 1 時間目です。
 A: ああ、そうですか。どうも。

「はあ」、「はい」、「ええ」、「うん」

相槌としてよく使うものには、「はい」「ええ」「うん」があります。「はい」「ええ」は丁寧な相槌で、あらたまった場面で使用します。この二つを比較すると、「はい」のほうがもっとあらたまった感じを与えるでしょう。「はい」の代りに「はあ」が使われることもあります。これら四つの相槌と場面の関係は次のように図示できるでしょう。



相槌を打つ時

相槌はたいてい話が終った時にうちます。話し手が終助詞「ね」などを使って聞き手の同意を求めている時や、聞き手の反応を確かめようとしている時にも、相槌を打つ必要があります。話の内容がよくわかっている時や、会話に積極的に参加している時には、話が終る少し前に相槌を打つこともあります。しかし、いつもあまり早く相槌を打つのはよくありません。「話をやめてください」という合図と解釈されることがあります。

第 9 課

相槌 (2)

「そうですか」「そうですね」

「そうですか」「そうですね」には会話を円滑にすすめる働きがあります。

- (例) A: きょうは暑いですね。
B: そうですね。
A: 30度をこすみたいですね。
B: あっ，そうですか。
A: ええ。

「そうですね」は、話し手が述べたことに同意を示す時に使います。イントネーションは次のようになります。

そ ね
う で す

くだけた会話では、男の人は「そうだね」、女の人は「そうね」ということが多いです。「そうですか」は、話し手が述べたことを聞き手が了解したことを伝えます。くだけた会話では「そうㇿ」となります。

「なるほど」

「なるほど」は、話し手の論理的な説明を了解したことを伝えます。ひとり言のような言い方をします。目上の人の前では使わないほうがいいでしょう。

- (例) A: 今言ったようにすればできるでしょう。
B: なるほど。そうですね。

「そうでしょうね」

これも相槌の一つで、同情を伝える働きがあります。同情の気持ちが強い時には、「ね」を長く発音します。

- (例) A: 漢字はむずかしくて、なかなかおぼえられません。
B: そうでしょうね。
A: ええ。

2. 文 法

第 1 課

I. 単文

単文には、次の 4 種類があります。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 動詞文 | (例) 学生が日本語を話します。 |
| 2. 形容詞文 (1) | (例) 漢字がむずかしいです。 |
| 3. 形容詞文 (2) | (例) 目がきれいです。 |
| 4. 名詞文 | (例) 友だちが外国人です。 |

次に、動詞文を例にとって、文について説明しましょう。

- A. 文は、一つまたはそれ以上の名詞句と動詞一つからなっています。名詞＋助詞を名詞句といい、名詞句はいつも動詞の前に置かれます。動詞は文の終りにきます。動詞は、待遇関係、時制、法、態などによって形が変わります。しかし、主語の人称、数、性によって形が変わることはありません。

- (例) 1. 雨がふりました。
2. 山田さんは本を読んでいます。
3. ルインさんにしかられました。
4. もっと日本語を勉強しろ。

- B. 動詞を否定形にすれば否定文になります。

- (例) 1. 山田さんは本を読みません。
2. 雨はふりませんでした。

- C. 疑問文を作るためには平叙文の終りに助詞の「か」をつけます。疑問文には疑問詞のない疑問文と疑問詞のある疑問文の 2 種類があります。

- (例) 1. ルイン：きのう雨がふりましたか。
アリス：はい、ふりました。

2. ルイン：きのう雨がふりましたか。
アリス：いいえ、ふりませんでした。
3. ルイン：誰が電話しましたか。
アリス：山田さんです。
4. ルイン：どうやって行きましたか。
アリス：タクシーで行きました。

日常生活では助詞の「か」はよく省略されますが、その時には述語の最後の母音が昇り調子で発音されます。

II. 主語, 目的語, 述語

次の1～4は他動詞文の文型です。最初の名詞が文の主語で, 2番目の名詞が目的語です。

1. [名詞が 名詞を 述語]

- (例) 1. 学生が日本語を勉強する
2. 友だちがテレビを見る
3. 山田さんが中国語を話す

2. [名詞が 名詞に 述語]

- (例) 1. 山田さんがともだちに会う
2. 中村さんが山田さんのおじにあたる
3. わたしが母に似ている

3. [名詞に 名詞が 述語]

- (例) 1. 山田さんにテニスができる
2. 中村さんにプログラムがわかる
3. 山田さんにきれいな奥さんがある

4. [名詞が 名詞が 述語]

- (例) 1. 妹がリンゴが好きだ

Ⅲ. 動詞の活用： 一段活用動詞，五段活用動詞，不規則動詞

動詞は活用によって一段活用動詞，五段活用動詞，不規則動詞の三つに分類することができます。「- る」で終わる動詞の多くは一段活用の動詞です。不規則動詞は「来る」と「する」で，その他の動詞は五段活用動詞です。

以下の表は動詞の活用を示したものです。どのように活用しているか調べてみましょう。

一段活用動詞

見る	みます	みた	みない	みなかった	みて
いる	います	いた	いない	いなかった	いて
変える	かえます	かえた	かえない	かえなかった	かえて
着る	きます	きた	きない	きなかった	きて
かける	かけます	かけた	かけない	かけなかった	かけて

五段活用動詞

聞く	ききます	きいた	きかない	きかなかった	きいて
ぬぐ	ぬぎます	ぬいだ	ぬがない	ぬがなかった	ぬいで
読む	よみます	よんだ	よまない	よまなかった	よんで
死ぬ	しにます	しんだ	しなない	しななかった	しんで
呼ぶ	よびます	よんだ	よばない	よばなかった	よんで
帰る	かえります	かえった	かえらない	かえらなかった	かえって
いる	いります	いった	いらない	いらなかった	いって
切る	きります	きった	きらない	きらなかった	きって
使う	つかいます	つかった	つかわない	つかわなかった	つかって
返す	かえします	かえした	かえさない	かえさなかった	かえして
行く	いきます	いった	いかない	いかなかった	いって

不規則動詞

来る	きます	きた	こない	こなかった	きて
する	します	した	しない	しなかった	して
なさる	なさいます	なさった	なさらない	なさらなかった	なさって
くださる	くださいます	くださった	くださらない	くださらなかった	くださって

Ⅳ. 時制： 完了形と未完了形

日本語の時制とは発話時を基準にして、動詞によって示されるある事柄が発話時のことであるか、それより前であるか後であるかを問題にします。

英語のように現在、過去、未来という三つの時制を持つ言語もあります。現在、過去、未来をあらわすそれぞれの形を持っているのです。

ところが日本語には時制を表わす方法は二つしかありません。単文の中で、動詞が「-る」または「-う」で終わっていれば現在または未来を表わし、「-た」「-だ」で終わっている場合は過去を表わします。

- (例) 1. 作ります。
2. あした作ります。
3. 毎日作ります。
4.きのう作りました。

しかし、これは従属節においても同じというわけではありません。従属節の中では、この 2 つの形態は、行為が完了しているか未完了であるかを表わしているのです。「-た」「-だ」は行為の完了を表わし、辞書形（終止形）は未完了を表わします。次の例で、完了、未完了の違いを考えてみましょう。

- (例) 1. うちを出た時に電話がありました。
2. うちを出る時に電話がありました。
3. あした来た人にあげます。
4. あした来る人にあげます。

この教科書では、現在、過去、未来ということばは使われていません。かわりに「-た」「-だ」については完了、辞書形（終止形）については未完了ということばを使っています。

A. 未完了形の用法

1. 一般的な規則や習慣的な動作を表わす

- (例) 1. $3+2$ は 5 になります。
2. わたしは毎朝 7 時に起きます。

2. 現在の状態を表わす

- (例) 1. 今日は大学は休みです。
2. 図書館の左に白い建物があります。

3. 未来の動作や状態を表わす

- (例) 1. あした図書館へ行きます。
2. 来週国へ帰ります。

B. 完了形の用法

1. 過去の動作をあらわす

- (例) 1.きのう仕事が終わりました。
2. 先日中村さんに会いました。

2. 過去の状態をあらわす

この場合は状態動詞だけが使われます。

- (例) 1. きのうはカバンの中にありましたけど……。
2. 先週東京にいました。

第2課

I. 動詞と助詞： 助詞の用法

A. 移動を表す動詞…「出る」、「入る」、「通る」など

1. 出発点は「を」で示されます。

- (例) 1. 次の駅で電車をおりてください。
2. この春大学を出ました。
3. 9時ごろ家を出るつもりです。
4. 先月会社をやめました。

2. 到達点は「に」で示されます。

- (例) 1. バスに乗って、デパートに行きました。
2. あの店に入りましょう。
3. ポストに手紙を入れました。
4. 3時に大学に着きました。

3. 経過点は「を」で示されます。

- (例) 1. このバスは公園前を通りますか。
2. この道をまっすぐ行ってください。
3. 次の角を左に曲がると、スーパーがあります。

B. 相互行為を表わす動詞…「結婚する」、「別れる」など
相互的な行為は次の文型で表わされます。

[名詞が 名詞と 動詞]

- (例) 1. 中村さんが外国の女性と結婚したそうです。
2. お茶を飲んだあと、友達と別れました。
3. 山田さんが知らない人とけんかしていますよ。
4. きみの言ったことはわたしの考えていることと違います。

C. 言ったことや考えたことを表わす動詞…「言う」、「思う」など
言ったことや考えたことを表わす動詞の前には「と」が使われます。

- (例) 1. きこのう学校で「ばか」と言われました。
2. ちょっとむずかしいと思います。
3. もっといいやり方はないだろうかと考えました。
4. とてもおこっていることを、はらが立つと言います。

D. 存在を表わす動詞

存在を表わす場合には次の文型が使われます。

[名詞 1 に 名詞 2 が 動詞]

- (例) 1. 図書館にたくさん本があります。
 2. エレベーターの前に中村さんがいるでしょう。
 3. ここにはいろいろな人がいます。
 4. わたしにいい考えがあります。

II. 自動詞と他動詞

A. 自動詞

目的語をとらない動詞を自動詞といいます。自動詞は主語について、その動作や状態を説明するものです。

B. 他動詞

目的語をとる動詞を他動詞といいます。他動詞というのは、目的語である人や物に対する動作をあらわすものです。

C. 次に自動詞、他動詞を示しておきます。

自動詞	他動詞
- aru 上がる (あがる) 止まる (とまる) 見つかる (みつかる) 助かる (たすかる) 閉まる (しまる) 始まる (はじまる) 変わる (かわる)	- eru 上げる (あげる) 止める (とめる) 見つける (みつける) 助ける (たすける) 閉める (しめる) 始める (はじめる) 変える (かえる)
- u 開く (あく) 届く (とどく) 立つ (たつ)	- eru 開ける (あける) 届ける (とどける) 立てる (たてる)
- ru 乗る (のる) 寄る (よる)	- seru 乗せる (のせる) 寄せる (よせる)

- eru 出る（でる） 冷める（さめる） ぬれる	- asu 出す（だす） 冷ます（さます） ぬらす
- eru 冷える（ひえる） 増える（ふえる）	- yasu 冷やす（ひやす） 増やす（ふやす）
- iru 起きる（おきる） 降りる（おりる） 落ちる（おちる）	- osu 起こす（おこす） 降ろす（おろす） 落とす（おとす）
- ru 帰る（かえる） 通る（とおる）	- su 帰す（かえす） 通す（とおす）
- reru 倒れる（たおれる） よごれる 現れる（あらわれる） こわれる	- su 倒す（たおす） よごす 現す（あらわす） こわす
- eru 売れる（うれる） とれる 切れる（きれる）	- u 売る（うる） とる 切る（きる）

Ⅲ. 名詞の接続

A. 助詞「と」は二つ以上の名詞をつなぎ、必要なものをすべて示す時に使われます。

（例）Q. きのうだれが来たんですか。

A. アリスさんとルインさんとローラさんが来ました。

B. 助詞「か」は、二つのうちのどちらか一つを示す時に使われます。

（例）Q. この仕事はいつまでにすればいいんでしょうか。

A. あしたかあさってまでにはお願いします。

C. 助詞「や」は、二つまたはそれ以上の名詞を代表的な例としてあげる場合に使われ、その他に言われていないものがまだあることを表わします。

- (例) 1. 東京や大阪などの大都市では人口集中が大きな問題になっています。
2. とうふやお寿司はあまり好きじゃありません。

D. 「とか」は二つかそれ以上のものを例として示すのに使います。

- (例) Q. どこか行ってみたいところがありますか。
A. そうですね。京都とか奈良なんかへ行ってみたいですね。

第3課

I. その他の助詞の用法

A. 動作・作用の行われる場所は「で」で示されます。

- (例) 1. 図書館で本を読んでいます。
2. 今年から新しい会社で働いています。

B. 動作・作用の行われる時は「に」で示されます。

- (例) 1. 4月10日に帰ります。
2. あした9時に来ます。

きょうあした、今晚のような時を表わす語句のいくつかは「に」がいりません。

- (例) 1. あしたもう一度やりましょう。
2. 今晚うちに来ませんか。

C. 継続的に行われる動作・作用の範囲または時間的範囲を示すときは「～から～まで」を使います。

- (例) 1. 毎日9時から5時まで仕事をします。
2. 日本から中国まで何時間ぐらいかかりますか。

D. 移動の方向は「へ」で示されます。

- (例) 1. とおくへ行ってはいけません。
2. このかばんをあちらへ持って行ってください。

「まで」と「へ」の違い…「まで」は動作・作用の行われる範囲を示しますが、「へ」は方向だけを示します。

E. 到着点は「に」で示されます。

- (例) 1. 3時にこちらに来てください。
2. はやく国に帰りたいと思います。

F. 「までに」「まで」で表わされる範囲内のある時点に、動作・作用が行われことを示します。

- (例) 1. 6時までに出してください。
2. 来週の水曜日までにこの仕事を終わろうと思います。

G. 方法・手段は「で」で示されます。

- (例) 1. 日本語で話すのは、たいへんなことです。
2. バスで行きましょうか。歩いて行きましょうか。

II. 名詞句の構造 (1)

「名詞1の名詞2」の形は、最初の名詞が2番目の名詞を修飾していることを表わします。

- (例) 1. 日本語の本
2. 中村さんの車
3. 山田さんの説明

助詞「の」それ自身には特別な意味はなく、ただ二つの名詞をつなぐはたらきをしています。文の意味は最初の名詞と次にくる名詞との意味的關係によって決まります。次にあげるのはその例です。

1. 最初の名詞が2番目の名詞の属性を示す

- (例) 1. 茶色の車
2. 緑色のスカート

2. 最初の名詞が 2 番目の名詞の主語になっている

- (例) 1. 中村さんの説明 (中村さんが説明をする)
2. 山田さんの話し方 (山田さんが話す)

3. 最初の名詞が 2 番目の名詞の目的語になっている

- (例) 1. 漢字の説明 (漢字を説明する)
2. はしの使い方 (はしを使う)

4. 最初の名詞が 2 番目の名詞の所有者をあらわす

- (例) 1. わたしの辞書
2. 佐藤さんの家

5. 最初の名詞が話者と 2 番目の名詞とのあいだの関係を示す

- (例) 1. 先生の中村さん
2. 友だちの山田さん

6. 最初の名詞が 2 番目の名詞のある場所を示す

- (例) 1. 東京の大学
2. フィリピンのマニラ

“名詞 1 の名詞 2” の形は文脈によっていろいろな解釈がなりたちますが、その正確な意味は文脈によって決まります。

Ⅲ. 動作の相 (1) : 動詞の - て形 + いる / ある

動作の相とは動詞の表わすことがらが、ある時間の幅、経過の中のどういう位置 (完了

しているのか、継続しているのかというような)にあるのかを表わそうとする動詞の一形式と定義されています。日本語には動作の相を示す方法はいくつかありますが、ここでは、「-て形+いる」と「-て形+ある」がどんな働きをするのかを勉強します。

A. 「動詞の - て形+いる」

いるの前には自動詞も他動詞もどちらも使われ、次のような意味を表わします。

1. 継続または進行中の動作

- (例) 1. 雨がふっています。
2. おとうとは今、勉強しています。

2. 習慣的または繰り返される動作

- (例) 1. わたしは毎朝ジョギングをしています。
2. ときどき気をつけて見っていますが、まだ見つかりません。

3. 過去のある時点でおこった動作の結果の存続

- (例) 1. 先生は結婚しています。
2. わたしは東京に住んでいます。

4. 人や物の状態, 性質

- (例) 1. 窓があいています。
2. この道は曲っています。

5. 経験

- (例) 1. その話なら、わたしももう聞いています。
2. 京都にはもう3回行っています。

B. 「動詞の - て形+ある」

「ある」の前には他動詞だけがきて、次のように使われます。

1. だれかがした動作の結果が現在の状態に続いていることを表わします。

(例) 1. 窓があけてあります。

2. A: となりのへやのストーブはきえていますか。

B: はい。けしてあります。

2. 動作の主体にふれていない受身文として使われます。

(例) この本には、2時間かかると書いてあります。

第4課

I. 形容詞: -い形容詞と-な形容詞(形容動詞)

日本語には「あたらしい」とか「ふるい」の「-い形容詞」と「きれいな」とか「しずかな」の「-な形容詞」があります。この呼び方はそれぞれの連体形から来たものです。

A. 活用

活用は次のとおりです。表は活用部分だけです。語幹は書いてありません。

		-い形容詞	-な形容詞
丁寧体	未完了形	肯定形	-いです
		否定形	-くありません
	完了形	肯定形	-かったです
		否定形	-くありませんでした
普通体	未完了形	肯定形	-い
		否定形	-くない
	完了形	肯定形	-かった
		否定形	-くなかった
連用形 -て形 条件形			-く
			-くて
			-ければ
			-に
			-で
			-なら

(注) 形容詞「いい」の語幹は、後に来る形態によって「い-」になったり「よ-」になったりします。

- (例) 1. このサラダはとてもおいしいです。
2. 漢字はむずかしくありません。
3. テストはあまりむずかしくなかったと言っていました。
4. よくあそび、よく勉強しましょう。
5. 頭が痛くて勉強できません。
6. きょういそがしければ、あしたにしましょう。

B. 用法

形容詞は意味によってふたつのグループに分けられます。名詞（主語）がひとつ使われる形容詞と、名詞がふたつ（主語、目的語）使われる形容詞です。前者を客観性形容詞、後者を主観性形容詞と呼ぶことにします。

1. 客観性形容詞

客観性形容詞は物や人の性質、状態を表します。たとえば、「この花がきれいです」「あの建物はとても高いです」のようにです。この形容詞は次のように使われます。

[名詞 - が + 形容詞]

- (例) 1. 頭が痛いです。
2. 目が悪くて、よく見えません。
3. 中村さんの車はとても高かったそうです。
4. テストはあまりむずかしくありませんでした。

2. 主観性形容詞

主観性形容詞には人間の感情や判断を表わすものと、人間と物の関係を表わすものがあります。どちらも [名詞 1 - が + 名詞 2 - が + 形容詞] か、[名詞 1 - が + 名詞 2 - に + 形容詞] のように使われます。

- a. [名詞 1 - が + 名詞 2 - が + 形容詞] … うれしい、にくい、ほしい、こわい、いやだ、じょうずだ、へただ、好きだ、きらいだ、など。

- (例) 1. ぼくはこの話がとてもうれしい。
2. わたしはお金がほしいんです。

3. 中村さんはこの仕事がいやだそうです。
4. 山田さんはテニスがじょうずです。
5. 佐藤さんはすもうがきらいだそうです。

b. [名詞 1 - が＋名詞 2 - に＋形容詞] … つよい, よわい, いい, わるい, てきとうだ, ひつようだ, など。

- (例) 1. 中村さんが数字につよいことはだれでも知っています。
2. たばこは体に悪いと言われています。
 3. 漢字が少ないほうが彼にはてきとうだと思います。
 4. パスポートには写真がひつようです。

II. 名詞句の構造 (2): 形容詞＋名詞

形容詞は修飾する名詞の前に来ます。修飾語として使われる「- い形容詞」は「普通体」です。「- な形容詞」も修飾する名詞の前では「普通体」になりますが, 例外が一つあります。名詞の前が「- だ」の時は「- な」に変わるのです。

- (例) 1. くろい花を見ました。
2. しずかな人が好きです。
 3. たのしかったころを思い出します。
 4. あまりむずかしくない本をさがしています。
 5. 数学につよい中村さんといっしょだから, だいじょうぶです。
 7. ピクニックにひつようなものはもう買いましたか。

III. 動詞の - て形＋おく／おきます

A. 「将来のために事前に準備する」という意味があります。

- (例) 1. お客さんが来るから, ケーキを買っておきました。
2. あしたテストがあるのでよく勉強しておきましょう。

B. 「なにかをそのままにする」という意味もあります。

- (例) 1. A: このノートパソコン, どうしましょうか。

- B: そこにおいておいてください。
2. A: ルインさん、おこっているんですが……。
- B: いまはそのままにしておきましょう。

IV. 動詞の - て形 + しまう / しまいます

A. 動作の完了を表わし、「何かをしおわった」という意味です。

- (例) 1. きのう借りた本はもう読んでしまいました。
2. この仕事は 6 時までに終わってしまいましょう。

B. 話し手が直面している状態にたいして、話し手の意図的ではない動作を表わします。

- (例) 1. 教科書をわすれてしまいました。
2. とてもおいしかったので、食べすぎてしまいました。

C. 「動詞の - て形 + しまう」の縮約形は「動詞 + ちゃう、じゃう」です。

- (例) 1. もう食べちゃいました。
2. もう読んじゃった。

V. 完了形のいろいろな用法

第 1 課で説明した用法のほかに、完了形は話し手のいろいろな感情を表わす文の中で使われます。

A. 話し手がわすれていたことの回想、想起

- (例) 1. あしたのパーティーは何時からでしたか。
2. わすれていました。来週の月曜日はテストがあったんです。
3. ルインさんは今年 35 才でしたよね。

B. 強い提案・依頼

- (例) 1. (お店で) さあ、買った、買った。

2. (こどもに) さあ, 帰った, 帰った。

C. 話し手の期待の実現

- (例) 1. (さがしていたものを見つけた時) あっ, この中にあった。
2. (さがしている人を見つけた時) トイレにいました。

第5課

I. 文の種類

A. 命令文

日本語には話し手が聞き手になにかするように指示したり, 命令したり, 頼んだりする言い方がいくつかあります。

1. 話し手がほかのひとになにかをするように命令する時, 命令形が使われます。命令形は次のとおりです。

一段活用動詞		五段活用動詞		変格活用動詞	
見る	見ろ／見よ	聞く	聞け	くる	こい
いる	いろ／いよ	行く	行け	する	しろ／せよ
起きる	おきろ／おきよ	かえる	かえれ		
降りる	おりろ／おりよ	あそぶ	あそべ		

命令文の例を次に示します。

- (例) 1. やる前によく考えろ。
2. 授業におくれないようにしろ。

2. 否定の命令形は動詞の辞書形に「な」をつけます。

- (例) 1. ここにごみを捨てるな。
2. 窓から顔を出すな。

3. これらの言い方は、非常に親しい友達と話す時や命令する時にだけ使われます。目上の人に話す時には使ってはいけません。しかし、引用文中ではよく使われます。

- (例) 1. はやくおきろと言われました。
2. この部屋でたばこをすうなと言われました。

また指示文でよく使われます。

- (例) 1. () の中に助詞を入れよ。
2. 次の文のまちがいをなおせ。

B. 依頼文

人に頼む時に使います。

1. 「動詞の - て形＋ください」が一番よく使われる表現です。

- (例) 1. 名前はローマ字で書いてください。
2. このボタンをおしてください。

2. 否定の依頼は次のとおりです。

- (例) 1. ここにかばんをおかないでください。
2. 英語で話さないでください。

3. ていねい度とあらたまり度によっていろいろな言い方があります。

普通体	丁寧体
書いて	書いてください
書いてくれ	書いてくれませんか
書いてくれない	書いてもらえませんか
書いてもらえない	書いてくださいますか
	書いてくださいませんか
	書いていただけませんか
	書いていただけないでしょうか

4. 「お＋動詞＋ください」

この表現はよく知らない人に何かをすすめる時に使われます。

- (例) 1. どうぞお持ちください。
2. おかけになってお待ちください。

C. 勧誘・提案文

1. 話し手も含めておこなう行動について人にすすめたり，提案したりする時，次のような表現が使われます。

- (例) 1. そろそろ出かけましょうか。
2. 食事に行きましょうか。

2. 上の 1. の例の普通体は次のとおりです。

- (例) 1. そろそろ出かけようか。
2. 食事に行こうか。

勧誘・提案文の動詞の活用を下に示します。

一段活用動詞		五段活用動詞		変格活用動詞	
見る	見よう	聞く	きこう	くる	こよう
いる	いよう	行く	いこう	する	しよう
起きる	おきよう	帰る	かえろう		
降りる	おりよう	あそぶ	あそぼう		

II. 間接話法

間接話法は主文に埋め込まれた名詞節で，動詞の修飾語として機能します。次に示すようなことを表現する時に使われます。

1. 考えていることや，考えたことを表現する時
2. 他の人に聞いたことを表現する時
3. 読んだり聞いたりしてわかったことを表現する時

A. 平叙文の間接話法

文中に埋め込まれた平叙文は文の主動詞の前に来て、助詞「と」で示されます。埋め込み文の中の動詞はほとんど普通体です。

- (例) 1. とてもむずかしいと思います。
2. 中村さんはもう帰っただろうと思います。
3. あしたもう一度電話すると言っていました。
4. 何もわからないと書いてありました。

B. 疑問文の間接話法

文中に埋め込まれた疑問文も文の主動詞の前に来ます。疑問詞のある疑問文は助詞「か」で示され、疑問詞のない疑問文は「かどうか」で示されます。

- (例) 1. どこへ行ったかわかりません。
2. アリスさんが話したかどうかわかりません。
3. 何が悪かったか聞いてみてください。
4. おいしいかどうか確かめました。

「か」は平叙文の間接話法を示す助詞「と」の前に来ることがあります。

- (例) 1. どこへ行ったのかと思いました。
2. びょうきなのかと言われました。
3. むずかしくないかと聞かれました。

C. 命令文の間接話法

文中に埋め込まれた命令文も文の主動詞の前に来ます。

1. 動詞の命令形＋と
2. 動詞の辞書形＋ように

たとえば「来てください」と言われて、これを他の人に話す時、次のように言います。

1. 来いと言われました。

2. 来るように言われました。

- (例) 1. ごご 3 時に始めるように言われました。
2. もっと勉強しろと言われました。
3. がんばれと言ってやりました。

Ⅲ. 名詞句の構造 (3): 数量詞 (数詞+助数詞) の+名詞

A. 数字

日本語には 2 種類の数詞があります。A タイプと B タイプです。A タイプの数詞は漢語系で、B タイプの数詞は和語系です。付録を参照してください。

B. 数量詞

数量詞は数字に、～まい、～さつ、～こななどの助数詞を加えたものです。数量詞は修飾する名詞の前に来ます。しかし、「数量詞+の+名詞」の名詞句が「が」、「を」に続く時は、数量詞は「名詞が」あるいは「名詞を」の後に来ます。

- {[数量詞の名詞] が 動詞} → [名詞が 数量詞 動詞]
{[数量詞の名詞] を 動詞} → [名詞を 数量詞 動詞]

- (例) 1. 3 さつの本を読みました。→ 本を 3 さつ読みました。
2. 5 人の学生が来ました。→ 学生が 5 人来ました。

矢印の左側の文は文法的には正しいですが、右側の文のほうが自然です。しかし、名詞の属性を示す数量詞の場合は元の位置から移動しません。

- (例) 1. 200 ページの本を読みました。(200 ページある本です。)
2. 200 グラムの肉を食べました。(200 グラムの重さの肉です。)

第 6 課

I. 授受動詞

日本語の授受動詞には 3 種類の型があります。「あげる」、「くれる」、「もらう」です。この 3 種類の用法はだれが、だれからものを受け取るかによって使い分けられます。

- A. 与える側が第 1 人称で、受ける側が第 2 人称か、第 3 人称の時は「あげる」が使われます。

- (例) 1. 子供に切手をあげました。
2. これ、友だちにあげてもいいでしょうか。

話し手が、聞き手自身が人に物を与えることについて聞く時も「あげる」が使われます。

- (例) 1. あのコンサートの切符だれにあげたんですか。
2. アリスさんにあげた本って、なんでしょうか。

- B. 与える側が第 2 人称か第 3 人称で受ける側が第 1 人称の時は「くれる」か「もらう」が次のような文型で使われます。

[与える側 が 受ける側 に くれる]
[受ける側 が 与える側 に もらう]

- (例) 1. 友だちがくれた辞書を使っています。
2. 友だちに辞書をもらいました。

話し手が、聞き手自身が人から物を受け取るについて聞く時、「くれる」と「もらう」が使われます。

- (例) 1. (あなたは) 中村さんにコピーをもらいましたか。
2. その時計は山田さんが (あなたに) くれたんですか。

- C. 話し手が第 3 者のものの授受について話す時、「あげる」か「もらう」が次のような文型で使われます。

[与える側 が 受ける側 に あげる]
[受ける側 が 与える側 に もらう]

- (例) 1. 山田さんはアリスさんにケーキをあげたそうです。
2. この本は和田さんがバンバンさんにあげた本です。
3. ルインさんは中村さんにこの手紙をもらったんですか。

この時、受ける側が話し手の側に属する時は B. で示した文型が使われます。

- (例) 1. 中村さんはおとうとにチョコレートをくれました。
2. いもうとはアリスさんにペンをもらいました。
3. よく知らない人がルインさんにはがきをくれたそうです。

D. 「あげる」、「くれる」、「もらう」はそれぞれていねいな言い方があります。与える側が目上の時は「くれる」、「もらう」は「くださる」、「いただく」に変わります。受ける側が目上の時は「あげる」は「さしあげる」に変わります。受ける側が目下とか、動植物の時は「あげる」は「やる」に変わります。

- (例) 1. きょう、先生が辞書をくださいました。
2. となりのおくさんにケーキをいただきました。
3. 国から送ってきたおかしを大家さんにさしあげました。
4. 毎朝、花に水をやります。

II. 動詞の - て形 + 助動詞「もらう」、「くれる」、「あげる」

「あげる」、「もらう」、「くれる」は動詞の後に続き、助動詞として使われます。人に恩恵を与えたり、受けたりすることを表現するために使われます。「あげる」、「もらう」、「くれる」の用法の違いは上に説明したことと同じです。

A. 恩恵者が第 1 人称で、受け手が第 2 人称または第 3 人称の時、「～てあげる」が使われる。

[恩恵者 が + 受け手 に + 動詞の - て形 + あげる]

- (例) 1. 山田さんに本をかしてあげました。
2. きょうルインさんのおくさんにセーターを買ってあげました。

B. 恩恵者が第 2 人称、または第 3 人称で、受け手が第 1 人称の時、「～てくれる」、「～てもらう」が下のような文型で使われます。

[恩恵者 が 受け手 に 動詞の - て形 + くれる]

[恩恵者 が 受け手 に 動詞の - て形 + もらう]

- (例) 1. 山田さんが本をかしてくれました。
2. 山田さんに本をかしてもらいました。

C. 話し手が第 3 人称について話す時,「～てあげる」,「～てもらう」が次のように使われます。

[恩恵者 が 受け手 に 動詞の - て形 + あげる]

[受け手 が 恩恵者 に 動詞の - て形 + もらう]

- (例) 1. 山田さんがアリスさんに手紙を書いてあげたそうです。
2. アリスさんが山田さんに手紙を書いてもらったそうです。

また, 受け手が話し手の側に属する時は, B で述べた文型が使われます。

- (例) 1. 山田さんが弟にテニスのやり方を教えてくれました。
2. 弟が山田さんにテニスのやり方を教えてもらいました。

D. 「～てあげる」,「～てくれる」,「～てもらう」はそれぞれいねい体があります。恩恵者が目上の時,「～てくれる」,「～てもらう」はそれぞれ「～てくださる」,「～ていただく」に変わります。

- (例) 1. 先生が本をかしてくださいました。
2. 先生に本をかしていただきました。

恩恵を受ける人が目上の時は,「～てあげる」は「～てさしあげる」に変えられます。しかし, 恩恵者が話し手自身の時は「～てさしあげる」は使わないで,「お+動詞の語幹+する」を使うといいでしょう。

- (例) 1. 山田さんが先生に写真を見せてさしあげました。
2. 先生に写真をお見せしました。

Ⅲ. 名詞句の構造 (4)

連体詞は常に修飾する名詞の前に来る不変化語です。

- | | | |
|---------|----------|---------------|
| 1. この 本 | 2. こんな 時 | 3. ある 日 |
| その | そんな | 来たる（きたる）8月15日 |
| あの | あんな | 去る（さる）6月 |
| どの | どんな | |
-
- | | |
|-------------|-----------|
| 4. 各人（かくじん） | 5. たった 1つ |
| 本人（ほんにん） | ほんの 少し |
| | あらゆる 人びと |

IV. 動詞の - て形＋くる／いく

A. 「動詞の - て形＋くる」は「ある状態に至る」という意味です。

- (例) 1. あめがふってきました。
 2. 日本語が話せるようになってきました。
 3. 9月にはずずしくなってきました。

B. 「動詞の - て形＋くる」は過去から現在までの動作の継続を表現するためにも使われます。

- (例) 1. いろいろ話してきましたが、これで終わります。
 2. 2年間勉強してきましたが、まだよくわかりません。
 3. いろいろなところを見てきましたが、ここがいちばんいいです。

C. 「動詞の - て形＋いく」は現在からの動作の継続を表現するために使われます。

- (例) 1. これからもっと勉強していくつもりです。
 2. もっとあつくなっていくだろうと思います。
 3. これからはひとりでがんばっていこうと思います。

第7課

I. 願望の表現

A. 「願望」をあらわす文型には次の五つのものがあります。

1. [X がほしい]
2. [X をほしがっている]
3. [動詞の語幹で終わる文] +たい
4. [動詞の語幹で終わる文] +たがっている
5. Y に [動詞の - て形で終わる文] +ほしい／もらいたい

- (例) 1. 車がほしいです。
2. ルインさんは車をほしがっています。
3. 中国へ行きたいです。
4. ルインさんは中国へ行きたがっています。
5. ルインさんに中国へ行ってほしいです。
6. ルインさんに中国へ行ってもらいたいと思います。

B. 「ほしい」と「ほしがっている」は、「ほしい」が第1人称といっしょに使われるのに対して「ほしがっている」は第3人称といっしょに使われるという点が違います。「ほしい」の直接目的語は「が」によってしめされるのに対して、「ほしがっている」は「を」で示されることに注意してください。「ほしい」は「-い形容詞」のような働きをし、終りの「い」は「-い形容詞」と同じように活用します。「ほしがっている」は動詞の「ほしがる」の「-て形」で第二者が現在持っている願望を表わします。

- (例) 1. わたしは日本語のいい辞書がほしいです。
2. 今は国へ帰りたくありません。
3. 中村さんは中国語を勉強したがっています。
4. アリスさんは東京へは行きたがっていません。

C. 「-たい」と「-たがっている」は動詞の語幹に接続します。この二つには B. で述べたのと同じ違いがあります。

次の表で活用のしかたを見てください。

動詞		語幹 + -たい / -たがっている	
辞書形	語幹	肯定	否定
食べる	食べ	食べたい 食べたがっている	食べたくない
見る	見	見たい	見たくない

買う	買い	見たがっている 買いたい 買ったがっている	買いたくない
持つ	持ち	持ちたい 持たがっている	持ちたくない
くる	き	来たい 来たがっている	来たくない
する	し	したい したがっている	したくない

文の中で「- たい」の前にある直接目的語は「が」か「を」によって示されます。
文の中で「- たがっている」の前にある直接目的語は「を」で示されます。

- (例) 1. おいしいお茶が飲みたいです。
2. 喫茶店には行きたくありません。
3. 中村さんが話したがっています。
4. ルインさんがテニスをやりたがっています。

(注) 「- たい」のある他動詞文の直接目的語が「が」で示されるか「を」で示されるかは話者の意識で決められます。話者の意識が自分が望む特定の事柄に向けられている時、「を」よりも「が」のほうがよく使われます。自分がしたい行為に向けられている時、「を」のほうが使われます。

- (例) 1. お茶でもコーヒーでもなくて、水が飲みたいです。
2. 寒いので、まどをしめたいんですが、よろしいでしょうか。

D. 「私はだれかほかの人 (Y) に何かをしてもらいたい」ということを、「Y に [動詞の形で終る文] + ほしい」か「もらいたい」という文型で表わす時、丁寧さの度合いによって「～てもらいたい」は「～ていただきたい」に変えられます。

- (例) 1. もっと勉強してほしいと思います。
2. 今度のパーティーには、ぜひ、あなたに来てもらいたいんです。
3. ちょっと教えていただきたいことがあるんですが……。

E. 目上の人にその人の望みを直接たずねるのは非常に不作法です。願望についての表現

の使用をさけることは、目上の人との意志の疎通を円滑にするためによいことです。目上の人望みを間接的にたずねる方法が二つあります。一つは「何か（おひとつ）いかがですか」か「何か（おひとつ）どうぞ」という表現を使うことで、もう一つは「- たい」をつけた動詞の使用をさけ、そのかわりに何か別の表現を使うことです。下の例を見てください。

- (例) 1. お茶でもいかがですか。
2. チョコレート，おひとつ，どうぞ。
3. これから喫茶店に行くんですが，先生もごいっしょに……。
4. 先生もごらんになってはいかがですか。

II. 理由と原因についての表現

- A. 「から」は「ので」または「なぜなら」の意味を持つ接続助詞です。次のような文型で使われます。

[節 1 から，節 2]

「節 1」は「節 2」のための理由を示します。「から」は英語の接続助詞と違って「節 1」のあとに接続します。「節 1」の述部は，文の丁寧さの度合いによって，普通体か丁寧体かのどちらを使ってもかまいません。「節 1」には，意志を示す形の動詞以外はどんな形の述語でも使用できます。「から」のあとにはどんな型の文でも（たとえば依頼文，命令文，勧誘の文など）続けることができます。

- (例) 1. 熱があるから，きょうは学校を休みます。
2. よくわかりませんでしたから，もう一度説明してください。
3. ルインさんはお酒が好きだろうから，もうすこし買っておこう。

日常会話では，「から」を伴った「節 1」が「節 2」のあとに来ることがよくあります。

- (例) 1. そろそろ始めましょう。ジョンソンさんはきょうは来ないようですから。
2. もう少しお待ちください。今，作っていますから。

- B. 「ので」も接続助詞で，「から」と同じように使われます。「ので」は「から」より丁寧に聞こえます。「ので」の前にある述語はたいい普通体です。しかし，話し手が聞き手に対して丁寧さを示すべきだと感じる時には「ので」の前に述語の丁寧形を

使ってもかまいません。「ので」の前に「名詞＋です」や「- な形容詞＋です」を使う時には注意してください。「ので」の「の」は名詞だと考えることができるので、たいていの場合に、「です」は「な」に変わるからです。「ので」の「の」は日常会話では「ん」に変わることがあります。

- (例) 1. このごろあついで、夜なかなかねられません。
2. このかばんは便利なので、毎日使っています。
3. いいと思いましたので、お知らせしたんです。
4. できませんでした、時間がなかったんで。

- (注) 1. 「ので」が理由を客観的に述べるのに使われることが多いのに対して、「から」は主観的理由を示します。よりあらたまった場合には「ので」を使ったほうがよいと思われます。
2. 「節 2」の述語が話者の依頼、意志、願望や推測などを示すものである時には、「ので」を使うのをさけて、その代わりに「から」を使います。

C. 節で修飾される名詞の「ため」は、文脈によっては、そのあとに続く節のための理由、目的や利益になることなどを示します。「ため」は「から」や「ので」と少し違います。「ため」は日常的でない原因を示すためによく使われます。次のようなややあらたまった場合に使われるのです。

- (例) 1. 大雪（おおゆき）のため、電車が 2 時間もおくれました。
2. 電車が 2 時間もおくれたために、うちあわせにまにあいませんでした。
3. 機械化（きかい）がすすんだため、会社をやめる人がふえはじめました。

D. 「おかげ」と「せい」も、「名詞＋の」節に接続する時、理由を示すために使われます。「おかげ」は結果や結論についての話者の満足を表わす時に使われ、「せい」は結果についての話者の不満足な気持を表わすために使われます。

- (例) 1. アリスさんのおかげで、仕事がはやく終わりました。
2. 勉強しなかったせいで、結果はよくありませんでした。

Ⅲ. 副 詞 (1)

- A. 副詞は主に動詞や形容詞を修飾しますが、別の副詞を修飾することもあります。副詞に語尾変化はありません。

- (例) 1. だんだんさむくなります。
2. 山田さんはとてもはやくはしります。

- B. 特別な種類の副詞もあります。

1. 名詞としても使われる副詞

- (例) 1. a. あした栄へ行きます。 (「あした」は副詞)
b. あしたは私の誕生日です。 (「あした」は名詞)
2. a. これはきょねん買った車です。 (「きょねん」は副詞)
B. きょねんはたいへんな年でした。 (「きょねん」は名詞)

2. 形容詞から作られる二種の副詞

- い形容詞

はやい → はやく
たかい → たかく
やすい → やすく

- な形容詞

しずかな → しずかに
きれいな →きれいに
にぎやかな → にぎやかに

3. 日本語には擬音語（日常生活の中に実際にある音を聞こえるままに文字で書き表したもの）と擬態語（さまざまな現象や人間の心理状態を感じられるまま音声的に書き表したもの）と呼ばれる音象徴語が豊富にあります。これらはすべて副詞として使われています。擬音語と擬態語は主に話しことばとして使われますが、語によって助詞の「と」が使われたり使われなかったりします。

ぽたぽた（と）
ざあざあ（と）
ゆっくり（と）
はつきり（と）

- C. 副詞は、必ずしもそれが修飾する語のすぐ前に置かれる必要はありませんが、意味を明確にするためには、そこに入れるほうがよいと言えます。

- (例) 1. アリスさんはずいぶん日本語がじょうずになりました。

2. アリスさんは日本語がずいぶんじょうずになりました。
3. ずいぶんアリスさんは日本語がじょうずになりました。

第8課

I. 動詞： 「なる」と「する」

A. 「なる」は基本的には「変化する」という意味を持つ自動詞です。
「なる」を使った文型は四つあります。

1. 名詞＋に＋なる（「に」は「だ」の変化した形）
2. - な形容詞の「- に形」＋なる
3. - い形容詞の「- く形」＋なる
4. 動詞の未完了形＋ように＋なる

- (例) 1. 今年の4月に大学生になりました。
2. やっと元気になりました。
3. 文法がやさしくなりました。
4. 練習したら、はしが使えるようになりますよ。

上に述べた述語の否定形は「なる」の前の語を「- く形」にすればできます。

- (例) 5. 場所はセンターの12番教室じゃなくなりました。
6. さいきはひまじゃなくなってきました。
7. 勉強がおもしろくなくなりました。
8. 目が悪くなって、字が読めなくなりました。

「なる」の意味は文脈によって変わります。次にあるのは「なる」のいろいろな意味です。

- (例) 1. 大きくなったら、何になりますか。
2. どうしてタバコをすうようになったんですか。
3. 2に3をたすと、5になります。
4. あの人がなくなって5年になります。

B. 「する」は「なる」の他動詞です。この二つの動詞の（統語論的）関係は下の通りです。

[名詞 1 が 名詞 2 を [補語] する]

[名詞 2 が [補語] なる]

- (例) 1. a. 父親がむすこを医者にしました。
b. むすこが医者になりました。
2. a. ルインさんがドアの色を青くしました。
b. ドアが青くなりました。
3. a. 親が子供を歩けるようにしました。
b. 子供が歩けるようになりました。

[動詞＋ように＋する] は使われている動詞が動作を示し、また可能形ではない時、「何かをするために努力する」ということを意味することがよくあります。

- (例) 1. ごはんを食べた後は、歯をみがくようにしています。
2. 毎日漢字をおぼえるようにしていますが、まだまだです。

II. 比較文： より，ほど

基本的な比較を示す文型は次の通りです。

[名詞 1 が／は 名詞 2 より 名詞／副詞／動詞]

「より」は比較する語のあとに来ます。「より」は句や節にも接続します。

- (例) 1. ミカンはバナナより好きです。
2. アリスさんはルインさんよりたくさん食べました。
3. アリスさんはルインさんよりやせています。
4. 思ったより、テストはかんたんでした。

否定文では、比較するものを示すために「より」の代りに「ほど」が使われます。「ほど」は句や節にも接続します。

- (例) 1. この自転車は、あの自転車ほど高くはない。
2. ここでは雨は、日本ほどたくさん降りません。

3. テストは、思ったほどむずかしくありませんでした。

Ⅲ. 副詞 (2)

副詞は次に記すように、大きく四つの種類に分けられます。

- A. 時を示す副詞： いつも、すぐ (に)、ときどき、たまに、さっき、さいきん、きのう、きょう、など

- (例) 1. 山田さんはいつもたのしそうです。
2. あの二人はさいきん結婚したそうです。

- B. 述語の働きを示す副詞：

1. 否定： あまり、ぜんぜん、とても、なかなか、めったに、など

- (例) 1. さしみはあまり好きじゃありません。
2. 日本語がなかなか上達しないんです。

2. 推測： たぶん、きっと、など

- (例) 1. あしたはたぶん雨になるだろうと思います。
2. 山田さんはきっと来るとと思います。

3. 希望： ぜひ、どうぞ、など

- (例) 1. ぜひ私の家へ来てください。
2. どうぞおめしあがりください。

4. 仮定： もし

- (例) もし山田さんに会ったら、つたえてください。

5. 疑問： いったい、など

(例) いったいどうしてこんなひどいことをしたんですか。

- C. 動詞や形容詞が表わす動作や状態の程度を示す副詞： ずいぶん、とても、ほんとうに、よく、なかなか、少し、だいぶ、ひじょうに、もっと、ずっと、ちょっと、など

- (例) 1. ずいぶん暑くなりました。
2. なかなかきれいに書けたでしょう。
3. もう少しゆっくり話してください。
4. 名古屋のことがだいぶわかるようになりました。
5. もっとずっと左のほうを見てください。

- D. 話者の気持（感情）を示す副詞： つい、よく、やっぱり、わざわざ、せっかく、こんなに、あんなに、など

- (例) 1. ついにわかる時が来ました。
2. むずかしいことをよく言うことができましたね。
3. やっぱりだめでしたか。
4. わざわざ来てくださいますありがとうございます。
5. セっかく作ったのに、だれも食べてくれません。
6. こんなにたのんでも、だめですか。

IV. 動詞の - て形 + みる / みます

「みる」は「動詞の - て形」といっしょに助動詞として使われ、「どんなものか、また何が起こるかを見るために何かをしてためす」という意味を表わします。

- (例) 1. ルイン： ちょっと頭が痛いんです。
中村： じゃあ、この薬を飲んでみませんか。
ルイン： はい。飲んでみます。
2. アリス： 次の電車は何時ですか。
ルイン： さあ。駅の人に聞いてみましょうか。

第9課

I. 名詞修飾節 (1)

名詞修飾節には二つの型があります。ここでは第 1 の型について述べます。次の文にあるのがその代表的な例です。

レインさんが読んだ本は、どんな本でしたか。

下線のあるところは修飾する節と修飾される名詞との二つの部分でできています。

修飾する節： レインさんが読んだ

修飾される名詞： 本

修飾する節には直接目的語が含まれていませんが、修飾される名詞の「本」が「読んだ」という動詞の直接目的語だと考えられます。このことから、次にあるのが基本文だと言えます。

レインさんが本を読みました。

この基本文は次のような順で修飾する節と修飾される名詞に変わります。

1. 動詞の目的語の名詞を文の終りに移動させる。
2. 移動させた名詞の後ろにある助詞を取り去る。
3. 節の主語を示すために助詞「が」を使う。
4. 普通体の動詞を使う。

修飾する節と修飾される名詞との間にある意味上の関係がはっきりしていれば、基本文の中にあるどんな名詞でも修飾される名詞になります。

次の例を見てください。

(例) 1. 大学につとめている先生は、わたしの兄です。

(先生が大学につとめています)

2. きのをわたしが乗った車は、ホンダの車だ。

(きのをわたしが車に乗りました)

3. さっき食堂で会った女の人は、だれですか。

(さっき食堂で女の人に会いました)

4. 友だちと話すところは喫茶店です。

(友だちと喫茶店で話します)

5. 山田さんが結婚する女の人は、とてもきれいです。

(山田さんが女の人と結婚します)

6. おくさんが外国人の山田さんは、とてもやさしいです。

(山田さんのおくさんが外国人です)

II. 仮定接続詞： 「- ば」、「- たら」と「と」

仮定接続詞は三つあり、つぎのように分けられます。

A. S1 - ば, S2.

B. S1 - たら, S2.

C. S1 と, S2.

[S1=従属節; S2=主節]

A. 「- ば」の用法

五段活用動詞の「- ば」の形は可能性から作ることができます。「- い形容詞」は終わりにある「い」を「ければ」にかえ、「元気です」とか「学生です」などの「です」は「なら」に変えます。

品 詞	辞書形	可能形	- ば形
動 詞	見る	みられる	みれば
	食べる	たべられる	たべれば
	買う	かえる	かえば
	話す	はなせる	はなせば
	待つ	まてる	まてば
	くる	こられる	くれば (Irreg.)
	する	できる	すれば (Irreg.)
- い形容詞	高い	*	たかければ
	大きい	*	大きければ
	いい	*	よければ
- な形容詞	ひまです	*	ひまなら
	元気です	*	げんきなら
名詞+です	学生です	*	学生なら
	病気です	*	病気なら

「- ば」のある節は、それに続く節に関連した一般的な条件を示します。

(例) 1. 教科書を見れば、わかりますよ。

2. 遠くからみれば高そうですが、近くでみれば、そうでもありません。

3. 来年になれば、何かいいことがあるでしょう。

「- ば」の形は現在や未来の条件（仮定）を表わします。そして、動詞の完了形が述語になっている主節とは、いっしょに使われることはありません。次の文はまちがいです。

京都に行けば、きれいな庭が見られました。

上の文の場合には「- たら」形を使うべきです。

京都に行ったら、きれいな庭が見られました。

「- ば」形は、あとに続く主節が、単にある事実を述べるものである時に使われます。あとに続く主節は依頼や勧誘を示すものではありません。次のように言うのはまちがいです。

京都につけば、電話してください。
コーヒーがはいれば、始めませんか。

このような場合には「- たら」形を使うべきです。

京都についたら、電話してください。
コーヒーがはいったら、始めませんか。

「- ば」形は次のような文型で二つの節を合わせるために使うことができます。

[名詞 1 も - ば形, 名詞 2 も 動詞 (述語)]

- (例) 1. 旅行には、アリスさんも行けば、ルインさんも行きます。
2. 文法もわからなければ、漢字もわかりません。

B. 「- たら」形は動詞の完了肯定形に「- ら」をつけ加えて作ることができます。

辞書形	- たら形
見る	みたら
食べる	たべたら

買う	かったら
待つ	まったら
くる	きたら
する	したら
高い	たかかったら
いい	よかったら
元気だ	げんきだったら
学生だ	学生だったら

「- たら」形のある節は、ふつう、それに続く主節の時間的な条件（仮定）を示します。

- (例) 1. 雨がふったら、すずしくなりますよ。
 2. 10 分待って来なかったら、電話しましょう。
 3. 高かったら、かうのをやめましょう。

「- たら」形はだいたい日常会話の中で使われ、あらたまった書きことばの中で使われることはほとんどありません。科学的なレポートや論文などでは条件を示すのに「- ば」や、「- と」が使われます。「- たら」形は次の例のように予期しなかったことを表わすのに使うことができます。

- (例) 1. 外に出たら、雨が降っていました。
 2. 朝おきたら、窓があいていました。

C. 「と」の用法

「と」のある節はそれに続く節が当然のことか、条件から予期される結果とかを示す条件節です。

- (例) 1. 冬になると、寒くなります。
 2. ボタンを押すと、自動的にあきます。
 3. 寒い日がつづく、かぜをひく人がふえてきます。